

# 小値賀町個別施設計画

---

令和 3 年 3 月  
長崎県小値賀町

# 目次

第1章 個別施設計画の策定方針 .....	3
1 計画の背景と目的 .....	3
2 計画の位置づけ .....	3
3 計画期間 .....	4
4 対象施設 .....	4
5 小値賀町の現状 .....	13
1. 人口について .....	13
2. 保有する公共施設 .....	14
3. 財政状況 .....	15
6 公共施設マネジメントの基本方針 .....	16
1. 実情に合った公共施設の規模と配置 .....	16
2. 公共施設を大切に使う .....	17
3. 長寿命化へ向けて .....	18
4. 防災施設の整備 .....	19
7 施設の状況及び評価の方法 .....	20
1. 現状の把握 .....	20
2. 方向性の決定方法 .....	20
8 方向性判断フローの結果と施設の方針 .....	25
(1) 庁舎・交通施設 .....	25
(2) 医療・保健施設 .....	27
(3) 消防施設 .....	29
(4) 福祉施設 .....	31
(5) 衛生・清掃施設 .....	33
(6) 水道施設 .....	35
(7) 産業施設 .....	37
(8) 社会教育施設 .....	40
(9) その他施設 .....	43
今後検討を行う施設リスト .....	46
9 今後に向けて .....	48
1. 公共施設等総合管理計画の見直し .....	48
2. 庁内組織体制の強化 .....	48
3. 町民参加 .....	48
4. 個別施設計画の見直し .....	49
第2章 施設カルテ .....	50

(1) 庁舎・交通施設.....	50
(2) 医療・保健施設.....	64
(3) 消防施設.....	80
(4) 福祉施設.....	108
(5) 衛生・清掃施設.....	120
(6) 水道施設.....	132
(7) 産業施設.....	150
(8) 社会教育施設.....	192
(9) その他施設.....	216
巻末資料 劣化状況調査表.....	242

# 第1章 個別施設計画の策定方針

## 1 計画の背景と目的

小値賀町は離島という地理的特殊性もあり、人口に対して保有する公共施設の総量が多く、その多くが老朽化の問題を抱えています。特に、昭和40年代後半から60年代にかけて庁舎、社会教育施設、消防施設等の公共施設が集中的に整備されたため、今後、多額の修繕・更新費用の確保が喫緊の課題となっています。

さらには人口減少や少子・高齢化に伴う社会的な必要性の変化や災害対策の強化、環境への配慮などから、必要とされる公共施設等の種類や規模、仕様がこれまでとは異なっており、今後も変化していくことが予測されています。このような状況においては、公共施設等を町の貴重な資源として捉え、それらの利用環境の計画的な整備や管理を行うとともに、費用対効果の視点から建物の長寿命化及び利活用の促進や再編・廃止などを総合的かつ統括的に行う「公共施設マネジメント」の考え方が重要になります。

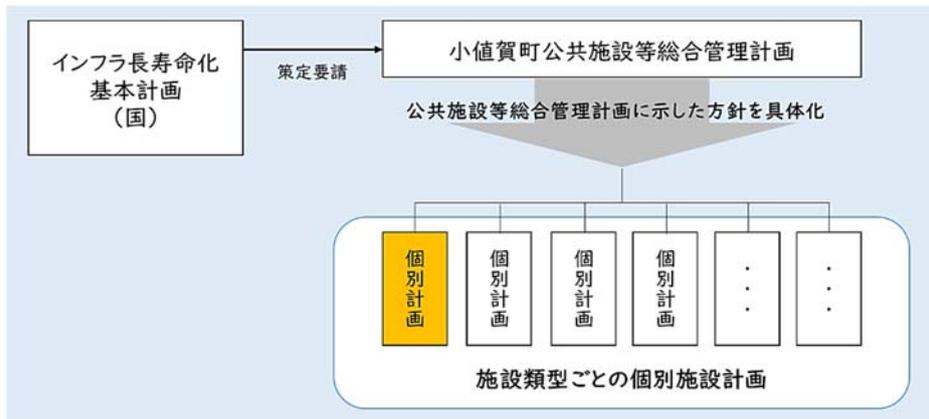
本計画は、この公共施設マネジメントを推進することにより、厳しい財政状況の中にあっても将来に向けて公共サービスへの影響を最小限に抑え「安全・安心で快適な公共施設の提供」を目指し、社会的な必要性の変化や住民の需要動向に対応した整備を行い、「次世代に負担を残さない最適な公共サービスの実現」を図っていくための基本方針と具体的計画を示すものです。

また、施設の利用状況や劣化状態を客観的データを用い「見える化」することにより、公共施設が抱える問題を行政と町民とで共有し、施設の統廃合や多機能化について、大局的な視点から考え、具体策を講じるための第1歩とします。

## 2 計画の位置づけ

『小値賀町公共施設等総合管理計画』では、公共施設の管理方針等を定めた行動計画が示されました。

本計画は、施設類型ごとに将来像を検討し具体的な行動計画を示す「施設類型ごとの実施計画」となります。



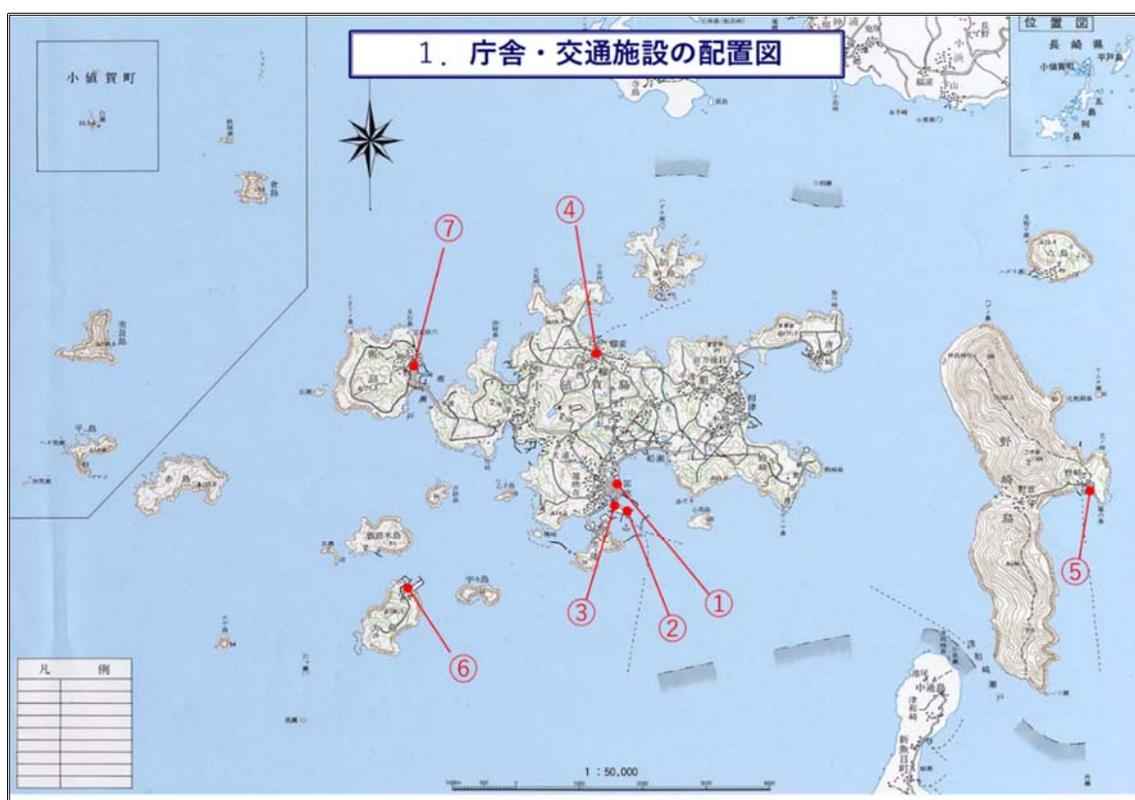
### 3 計画期間

計画期間は令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)までの10年間とし、計画開始後5年を目途に計画内容の見直しを実施することとし、社会状況の変化や総合計画等の他の計画との整合を図りながら必要な変更を加えます。また5年後の見直しとは別に、必要があれば適宜計画内容の変更を行います。さらに、令和3年度には本計画の内容に沿って小値賀町公共施設等総合管理計画の見直しを実施する予定です。

### 4 対象施設

本計画の対象範囲は、本町が保有する下記の公共施設等とします。

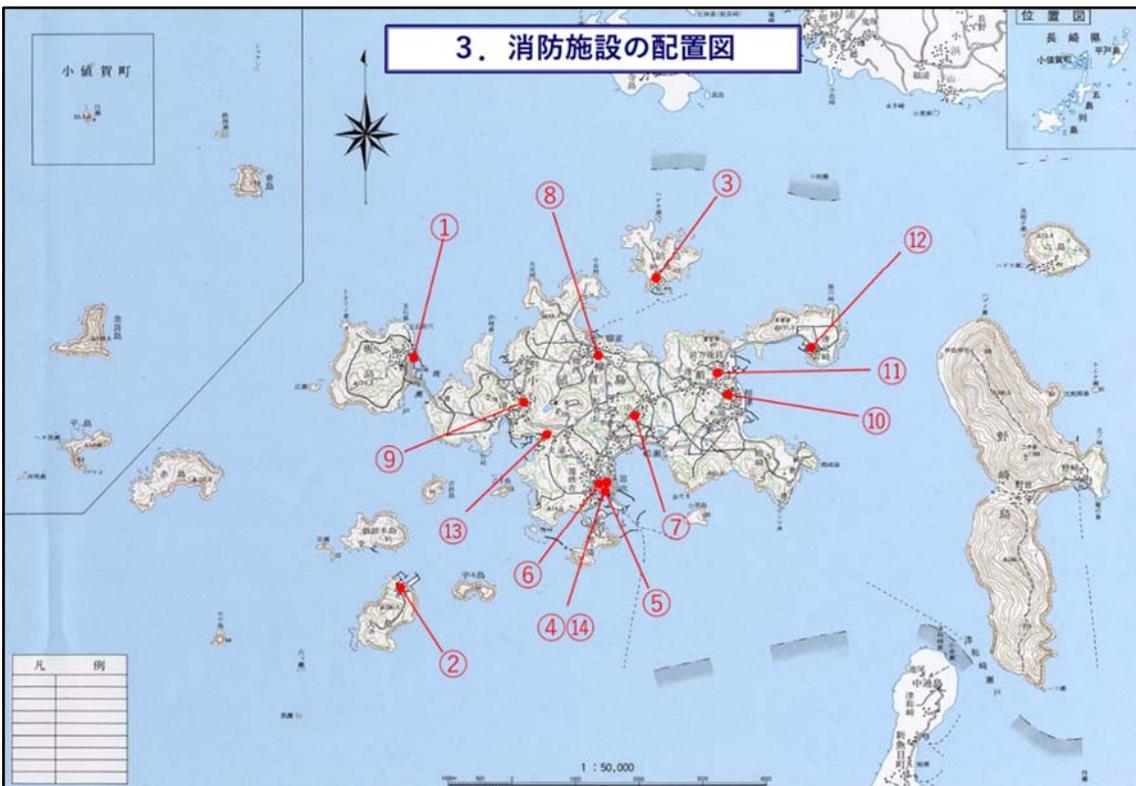
1. 庁舎・交通施設					
No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	面積
1	小値賀町役場庁舎	庁舎	総務課	1989年	2,442㎡
2	小値賀港新ターミナル	交通施設	総務課	2003年	870㎡
3	離島待合所(笛吹)	交通施設	総務課	1980年	130㎡
4	柳港離島待合所	交通施設	総務課	1982年	18㎡
5	野崎待合所	交通施設	総務課	1989年	12㎡
6	大島離島待合所	交通施設	総務課	1992年	18㎡
7	斑バス待合所	交通施設	総務課	1983年	21㎡



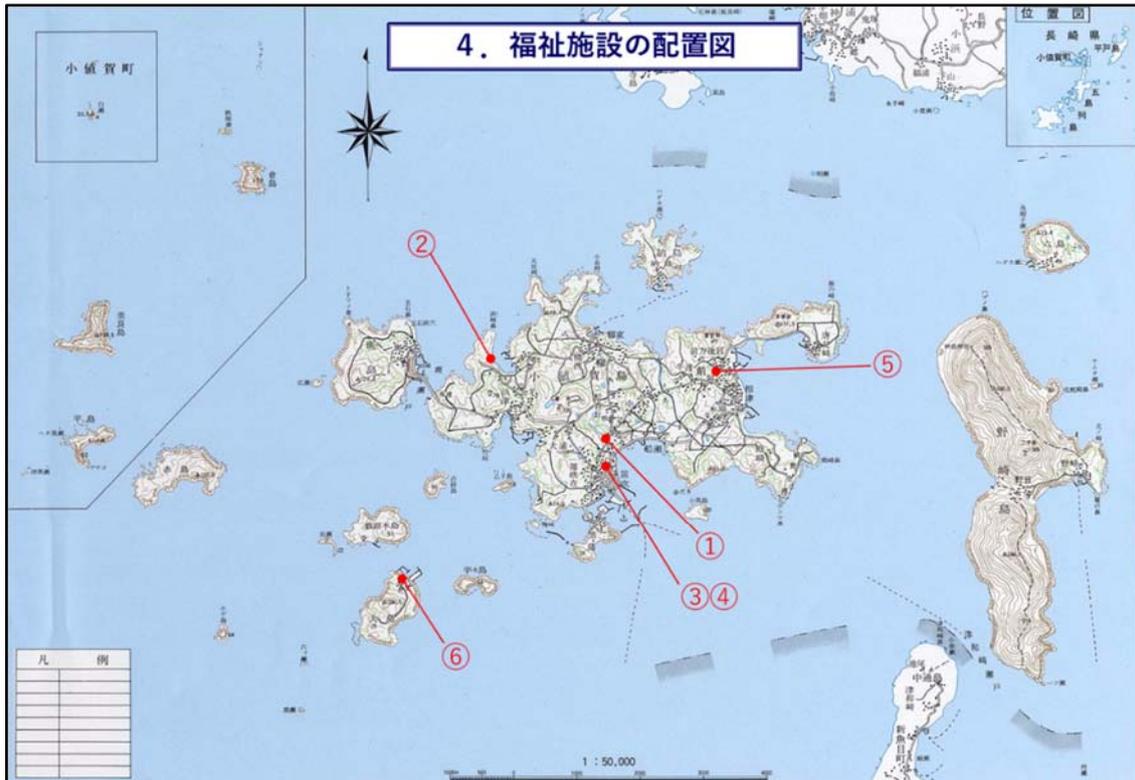
2. 医療・保健施設					
No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	面積
1	医師住宅A	医療・保健施設	総務課	1984年	108㎡
2	医師住宅B	医療・保健施設	総務課	1984年	108㎡
3	医療保健職員住宅 (A棟)	医療・保健施設	総務課	2011年	62㎡
4	医療保健職員住宅 (B棟)	医療・保健施設	総務課	2011年	62㎡
5	医療保健職員住宅 (C棟)	医療・保健施設	総務課	2011年	62㎡
6	医療保健職員住宅 (D棟)	医療・保健施設	総務課	2011年	62㎡
7	診療所	医療・保健施設	診療所	1984年	1,237㎡
8	健康管理センター	医療・保健施設	住民課	1984年	476㎡



3. 消防施設					
No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	面積
1	斑在消防詰所	消防・防災施設	総務課	1939年	17㎡
2	大島消防詰所	消防・防災施設	総務課	1939年	26㎡
3	納島消防詰所	消防・防災施設	総務課	1939年	37㎡
4	第1分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1978年	55㎡
5	第2分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1974年	54㎡
6	第3分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1984年	51㎡
7	第4分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1987年	51㎡
8	第5分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1983年	50㎡
9	第6分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1980年	43㎡
10	第7分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1981年	50㎡
11	第8分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	2002年	65㎡
12	第9分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1983年	33㎡
13	第10分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1979年	43㎡
14	第1分団消防詰所トイレ	消防・防災施設	総務課	1996年	3㎡



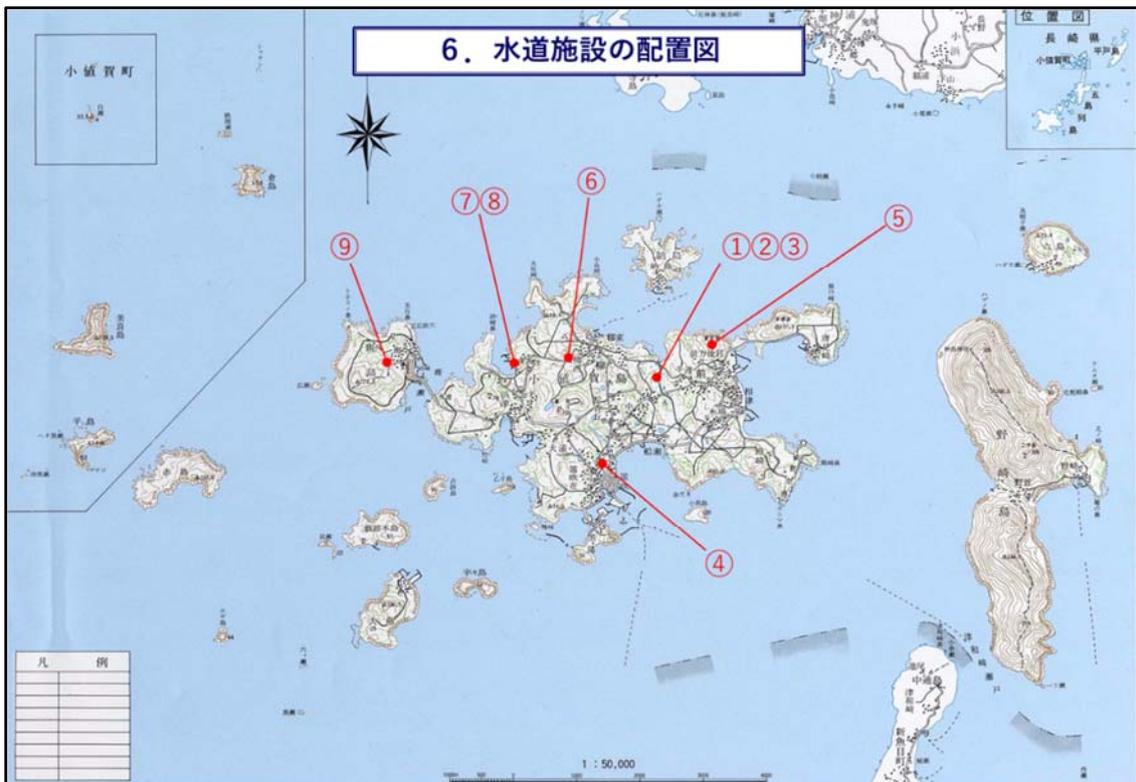
4. 福祉施設					
No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	面積
1	こども園舎	こども園	福祉事務所	1993年	681㎡
2	白浜海水浴場関連施設（シャワー室・トイレ）	児童福祉施設	福祉事務所	2001年	43㎡
3	小値賀町地域福祉センター	老人福祉施設	福祉事務所	1994年	1,968㎡
4	小値賀町高齢者生活福祉センター（たんぼぼ荘）	老人福祉施設	福祉事務所	2001年	967㎡
5	前方ふれあい館	老人福祉施設	福祉事務所	2001年	114㎡
6	大島和楽苑	老人福祉施設	福祉事務所	2000年	95㎡



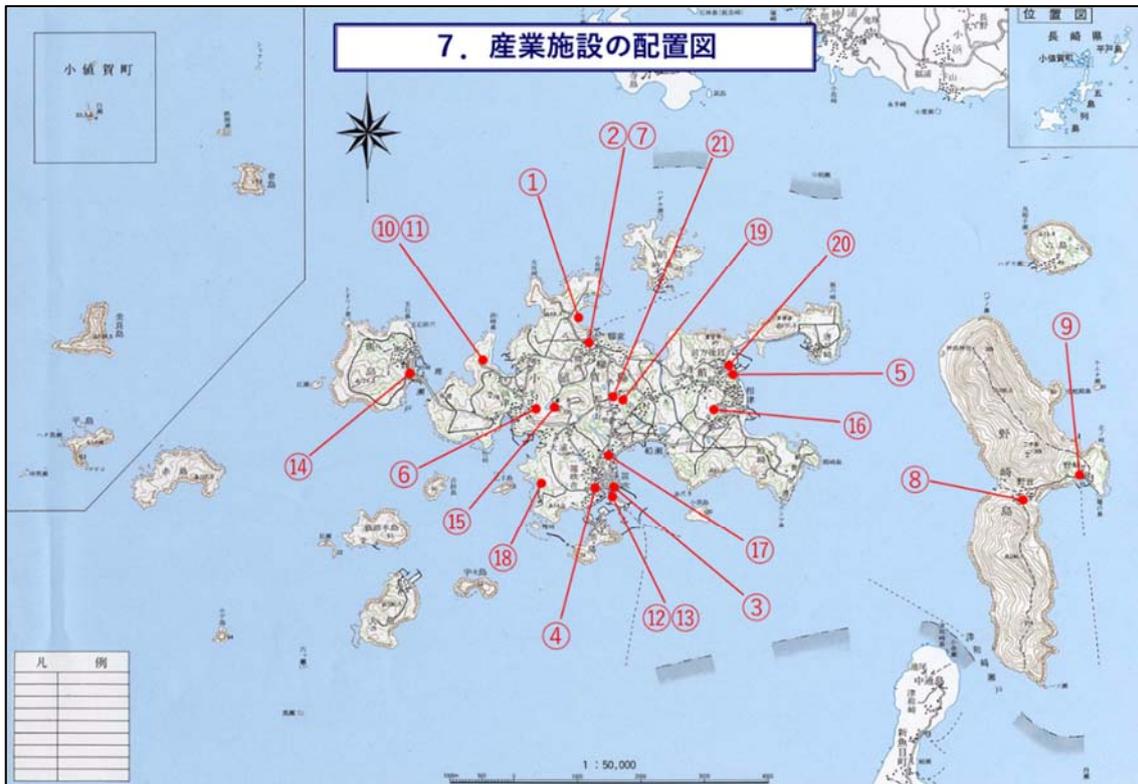
5. 衛生・清掃施設					
No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	面積
1	小値賀町葬斎場	衛生施設	建設課	1991年	547㎡
2	小値賀町ごみ焼却場	清掃施設	建設課	1992年	452㎡
3	不燃物プラットフォーム	清掃施設	建設課	1992年	62㎡
4	ストックヤード	清掃施設	建設課	2001年	199㎡
5	資源物保管用ストックヤード	清掃施設	建設課	1988年	271㎡
6	小値賀町し尿処理場	清掃施設	建設課	1994年	1,151㎡



6. 水道施設					
No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	面積
1	中村第一浄水場機械室	水道施設	建設課	1980年	190㎡
2	中村第二浄水場 空気調整室	水道施設	建設課	2001年	12㎡
3	中村送水ポンプ室	水道施設	建設課	1964年	37㎡
4	上の坂ポンプ・電気計装室	水道施設	建設課	1986年	23㎡
5	前方配水池電気計装室	水道施設	建設課	1998年	13㎡
6	柳配水池電気計装室	水道施設	建設課	1999年	13㎡
7	赤尾ポンプ・電気計装室	水道施設	建設課	1967年	12㎡
8	浜津配水池電気計装室	水道施設	建設課	1998年	13㎡
9	斑配水池電気計装室	水道施設	建設課	1998年	13㎡



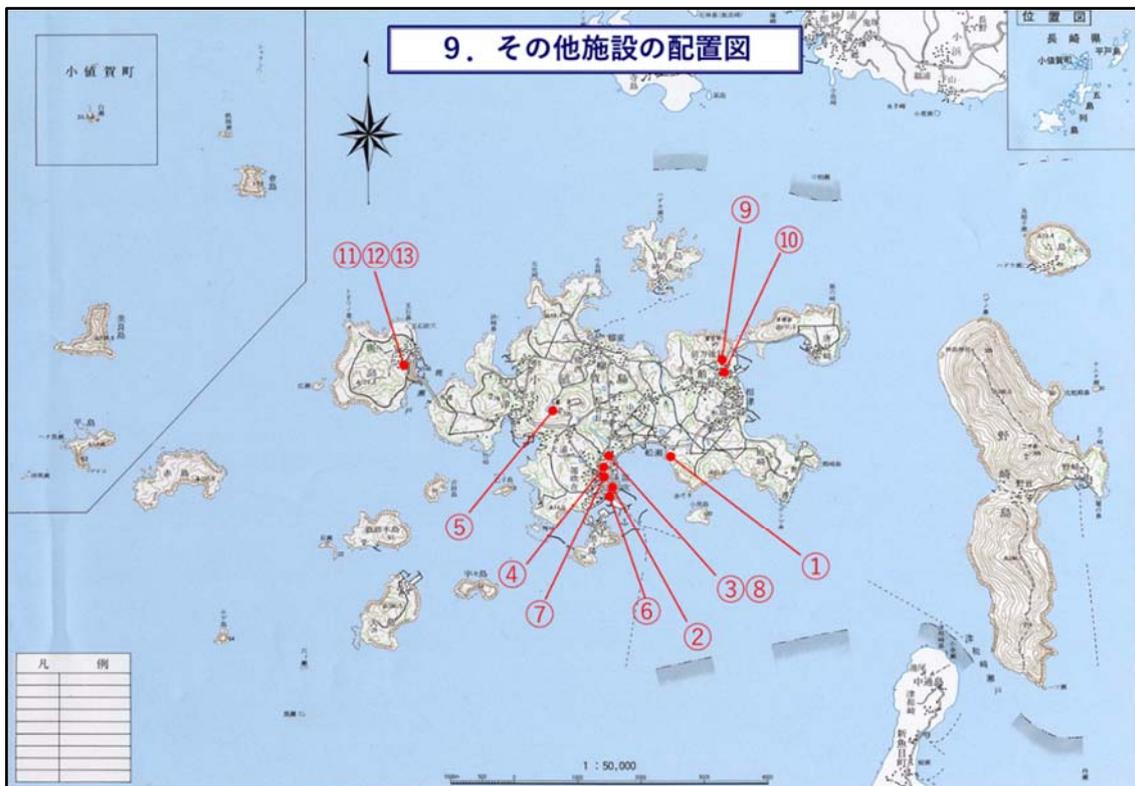
7. 産業施設					
No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	面積
1	柿の浜海水浴場関連施設（シャワー室・更衣室・トイレ等）	観光施設	産業振興課	2002年	61㎡
2	古民家島暮らし体験交流館 こんどう邸（親家）	観光施設	産業振興課	1850年	278㎡
3	古民家島暮らし体験交流館 はまだ邸（先小路）	観光施設	産業振興課	1905年	95㎡
4	古民家島暮らし体験交流館 まつなが邸（鮑集・日月庵）	観光施設	産業振興課	1876年	245㎡
5	地産地消古民家レストランふじまつ	観光施設	産業振興課	1851年	422㎡
6	古民家島暮らし体験交流館 たもと邸（小白山）	観光施設	産業振興課	1927年	218㎡
7	古民家島暮らし体験交流館 近藤達男邸（一期庵一会庵）	観光施設	産業振興課	不明	193㎡
8	野崎島自然学塾村 宿泊室棟	観光施設	産業振興課	1964年	491㎡
9	野崎島ビジターセンター	観光施設	産業振興課	2016年	123㎡
10	浜崎鼻ゴルフ場管理棟	観光施設	産業振興課	1989年	48㎡
11	浜崎鼻公衆便所	公園施設	産業振興課	1965年	9㎡
12	漁民研修センター	水産施設	産業振興課	1981年	952㎡
13	あわび館	水産施設	産業振興課	1996年	759㎡
14	アワビ種苗センター	水産施設	産業振興課	1993年	520㎡
15	岳の内揚水機場	農業施設	産業振興課	1999年	79㎡
16	殿崎揚水機場	農業施設	産業振興課	1999年	74㎡
17	水管理システム施設中央管理事務所	農業施設	産業振興課	2000年	70㎡
18	堆肥舎 格納庫棟	農業施設	産業振興課	2002年	150㎡
19	小値賀町獣医師住宅	住宅	産業振興課	1993年	118㎡
20	前方農村婦人の家	農業施設	産業振興課	1978年	421㎡
21	小値賀町農産物加工場	農産物加工施設	産業振興課	2016年	209㎡



8. 社会教育施設					
No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	面積
1	小値賀町離島開発総合センター	社会教育施設	教育委員会	1974年	1,453㎡
2	斑地区住民センター	社会教育施設	教育委員会	1972年	233㎡
3	浜津地区住民センター	社会教育施設	教育委員会	1976年	234㎡
4	柳地区住民センター	社会教育施設	教育委員会	1977年	394㎡
5	納島地区住民センター	社会教育施設	教育委員会	1979年	171㎡
6	六島公民館	社会教育施設	教育委員会	1980年	119㎡
7	中村地区住民センター	社会教育施設	教育委員会	1980年	187㎡
8	小値賀町歴史民俗資料館	社会教育施設	教育委員会	1988年	360㎡
9	小値賀町ふれあいプラザ	社会教育施設	教育委員会	1991年	815㎡
10	小値賀町総合運動公園体育館	社会体育施設	教育委員会	1995年	2,630㎡
11	総合運動公園 多目的グラウンド倉庫WC	社会体育施設	教育委員会	1995年	72㎡
12	小値賀町若者交流センター	社会体育施設	教育委員会	1997年	699㎡



9. その他施設					
No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	面積
1	船瀬海水浴場サービスハウス	漁港施設	建設課	2003年	76㎡
2	短期滞在住宅	住宅	総務課	1966年	87㎡
3	宮崎町②空家活用住宅	住宅	総務課	1959年	97㎡
4	セミナーハウス	その他	総務課	1991年	106㎡
5	岳の内トイレ	その他	総務課	2004年	14㎡
6	漁協横公衆便所	その他	総務課	1982年	6㎡
7	地域活動支援センター憩いの家	その他	総務課	1979年	124㎡
8	土地改良区・担い手公社事務所	その他	総務課	1991年	245㎡
9	旧前方駐在所	その他	総務課	1984年	66㎡
10	旧前方保育所	その他	総務課	1967年	254㎡
11	旧斑小学校 管理教室棟	その他	総務課	1970年	913㎡
12	旧斑小学校 体育館	その他	総務課	1976年	747㎡
13	旧斑小学校 給食室	その他	総務課	1971年	56㎡



※公営住宅・漁港施設・下水道施設に関しては既に個別施設計画策定済みの為、今回の計画には含まれません。学校関係施設に関しては別途令和2年度中に策定します。

※中心となる施設に付属する施設及びごく小規模で危険性のない施設は除外しています。

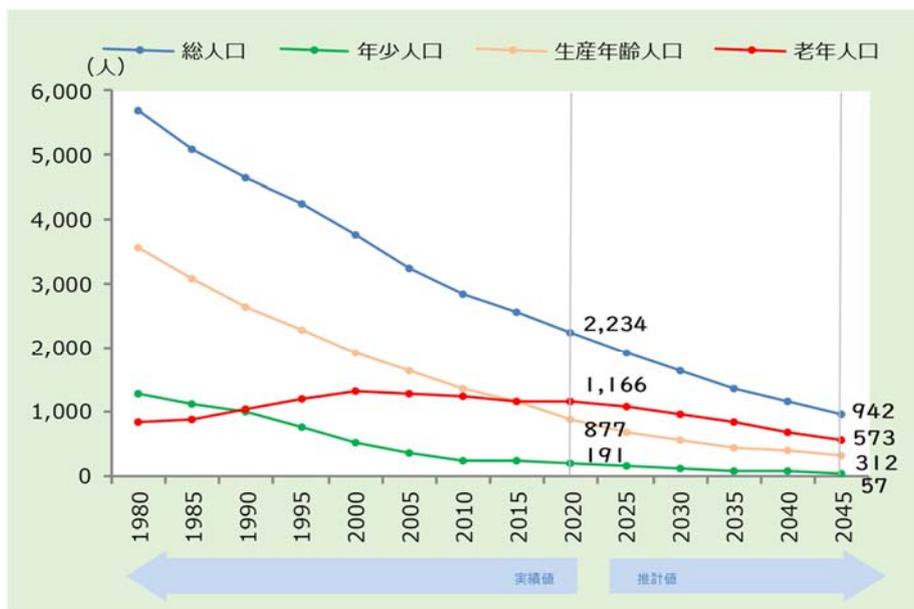
## 5 小値賀町の現状

### 1. 人口について

#### ◆人口 1,000 人時代を見据えて◆

町の人口は 1950 年の 10,968 人をピークに以降高度経済成長の影響等により人口流出が始まり、その後一貫して少子高齢化・人口減少の傾向が続いています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2020 年時点での小値賀町の総人口は 2,234 人となっていました。2020 年 10 月に実施された国勢調査の地方集計をもとにすると、2020 年の総人口は 2,291 人となっています（※総務省が公表する人口速報集計結果と地方集計は相違があり得ます）。また、同じく国立社会保障・人口問題研究所の推計で見ると、2045 年には総人口が 1000 人を下回ると予測されています。

少子化対策・移住対策に関する施策を推し進めるとともに、今後は「人口 1000 人」時代を見据えた公共施設の在り方を現実的に考えていく必要があると言えます。



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

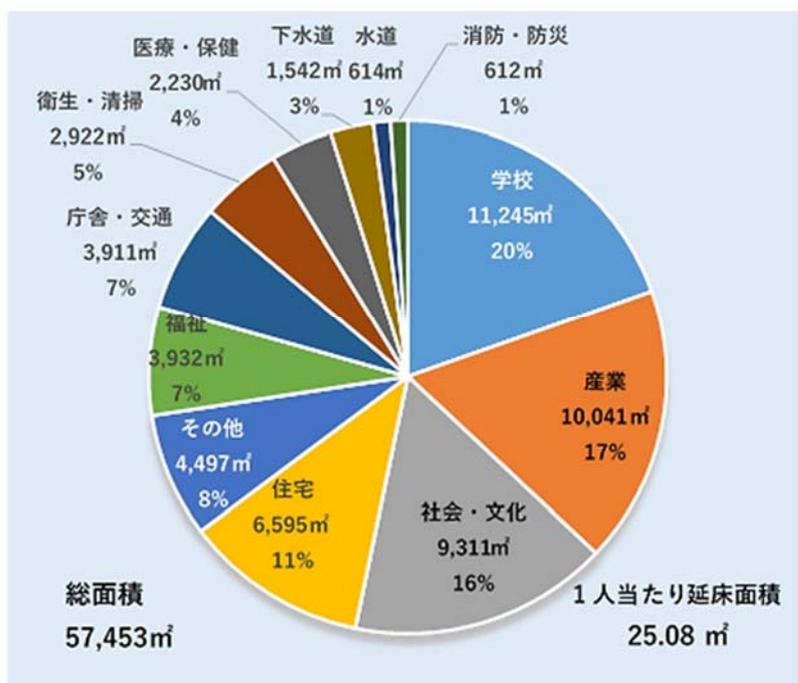
【注記】2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ(平成30年3月公表)に基づく推計

年度	総人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
1980	5,684	1,281	3,568	835
1985	5,101	1,130	3,097	874
1990	4,651	988	2,640	1,023
1995	4,238	745	2,293	1,200
2000	3,765	533	1,909	1,322
2005	3,268	358	1,631	1,279
2010	2,849	232	1,380	1,237
2015	2,560	229	1,162	1,169
2020	2,234	191	877	1,166
2025	1,913	161	666	1,086
2030	1,632	119	558	955
2035	1,376	97	452	827
2040	1,156	77	382	697
2045	942	57	312	573

## 2. 保有する公共施設

### ◆人口に対して過大な施設保有量◆

類型別公共施設面積



小値賀町が所有する公共施設の総数は 284、延床面積は 57,443 m<sup>2</sup>です。類型別に見ると、小中学校を含む「学校関係施設」、農業・漁業・観光業等に関連した「産業関係施設」、地区住民センターや総合運動公園体育館を含む「社会教育・文化関係施設」の割合が多くなっています。

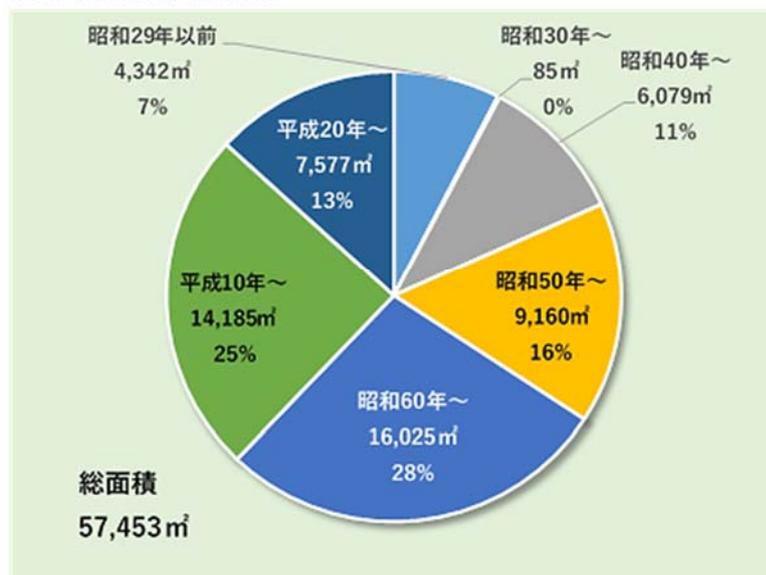
2020 年国勢調査報告数値である総人口 2,291 人を用い、町民

1 人当たりの公共施設延床面積を求めると、25.08 m<sup>2</sup>となります。これは全国平均の 3.42 m<sup>2</sup> (『全国自治体公共施設延床面積データ』東洋大学 PPP 研究センター 2012 年) と比べるとおよそ 7.3 倍にあたり、人口に対して過大に公共施設を保有している現状が見えてきます。

### ◆更新・大規模修繕を迎える施設◆

次に建築年代別延床面積を見てみると、昭和 40 年代～50 年代にかけて離島開発センター及び地区住民センター等の社会教育施設や教員住宅等の学校関係施設が整備され、その延床面積は全体の 26.5% を占めています。これらの施設に関しては、建設後 40 年～50 年が経過したものが多く、今後、更新や長寿命化工事に対して

建築年度別床面積割合



多額の費用が必要となってきます。

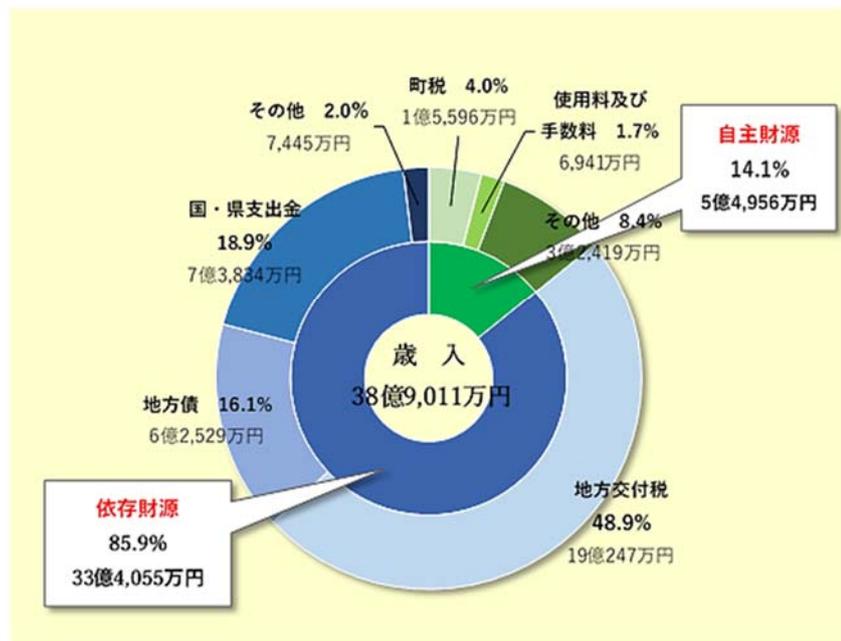
また、昭和 60 年代～平成 10 年代にかけて整備された施設は全体の 52.6%にのぼり、役場庁舎や総合運動公園体育館などの大型施設がこの時期に建設されました。これらの施設に関しては、建物の長寿命化へ向けた大規模修繕等にかかる費用が今後多額になると予想されます。

### 3. 財政状況

#### ◆小値賀町の財源◆

小値賀町の令和元年度（2019年度）歳入の内訳を見ると、自主財源の占める割合が 14.1%と非常に低くなっています。今後少子高齢化・人口減少が進めば、自己財政力は更に縮小します。他方、地方交付税等の依存財源の割合は 85.9%と高く、そのうち 16%を地方債が占めています。通常

令和元年度歳入内訳



公共施設を建設・修繕する際は、多額の費用が必要となるため、地方債を借入れて財源を確保しています。過疎対策事業債等の有利な財政措置のある地方債を利用するように努めてはいますが、地方債の額が増えれば、それだけ将来の財政負担の増大に繋がることになります。

#### ◆上昇する実質公債費比率◆

地方公共団体の財政状況を表す指標のひとつに『実質公債費比率』というものがあります。これは地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものになります。実質公債比率が低いほど、財政状況が健全である、と言えます。この割合が 18%以上になると地方債を起す際に総務大臣等の許可が必要となり、25%（早期健全化基準）以上になると一定の地方債の起債が制限され、35%（財政再生基準）以上になると、さらに制限の度合いが高まります。

小値賀町の平成 30 年度（2018年度）の実質公債費比率は 5.0%と、全国の市町村の平均値である 6.1%を下回っています。しかし、当町の実質公債費比率は今後大幅に上昇するこ

とが予測され、現時点での予測に基づくと、令和 8 年度（2026年度）には 15%を超えることが見込まれており、起債の際に許可が必要となる 18%に近づくこととなります。比率上昇の要因としては、診療所建設事業（R1～R3）にかかる地方債の償還が始まることが挙げられます。また、診療所建設事業の他にも地域福祉センター改修事業（H29～H30）、小値賀港新ターミナルバリアフリー工事（H30～R2）等、近年の大型事業実施にあたり多額の地方債を借り入れていることも影響しています。

このような財政状況を考慮すると、実質公債費比率上昇の直接的な原因となる公共施設の建設や改修に関しては、将来の財政負担とのバランスを図りながら、慎重に計画・実施していく必要があります。

実質公債費比率の現状と将来予測



## 6 公共施設マネジメントの基本方針

小値賀町における人口減少や公共施設の保有状況及び財政状況を踏まえ、本計画内での公共施設マネジメントの中心となる考え方を以下に示します。

### 1. 実情に合った公共施設の規模と配置

「5 小値賀町の現状」で触れたとおり、全国平均 3.42 m<sup>2</sup>に対して、町民 1 人当たりの公共施設延床面積はその約 7.3倍、25.08 m<sup>2</sup>と非常に大きく、人口規模に対して公共施設過多の状態にあります。そのため、今後限られた財政資源を有効活用し最適な公共サービスを維持していくためには、管理運営可能な施設数を見極め、財源を投資すべき公共施設を選択してい

く必要があります。

#### ■新規の施設整備は実施しない

小値賀町公共施設等総合管理計画でも示されているように、新規の施設整備は原則行いません。ただし、町の将来の持続可能性に資する施設整備は例外とします。その場合、施設の建設費・維持管理費・解体費等のトータルコストを最小化できる構造等仕様を選択するものとします。

#### ■集約化・多機能化・転用・廃止等の推進

既存の施設に関しては、更新よりも既存施設の長期利用（長寿命化）を優先します。

また、その設置目的に拘らず、現在の利用状況や老朽化の状態と照らし合わせ、稼働率及び行政サービス規模に応じた適切な規模・立地を勘案して、集約化・多機能化・転用・廃止等を計画的に実施していきます。

具体的には、建物の老朽化度・利用率・維持管理費等を点数化し、客観的な視点から施設評価を行い、今後の方向性を決める上での基礎とします。

#### ■部局横断的な施設の活用・配置

施設データを一元的に管理し全庁的に共有することで、部局の垣根を越えて、公共施設全体の最適な活用・配置を柔軟に検討していきます。

## 2. 公共施設を大切に使う

---

限られた財源の中で最適な公共サービスを実現していくためには、公共施設を貴重な町の資源と捉え、ひとつひとつの施設を大切に管理していくことが重要です。そのためには、これまでの「老朽化した施設は 30～40 年で建て替える」、といった言わば「使い捨て」のような考え方から脱却する必要があります。適切な時期に適切な修繕や設備の更新等を行うことで、大規模な修繕や建替えを最小限に抑えることが出来、鉄筋コンクリート造の建物であれば 100 年以上、木造の建物であっても 60 年以上使い続けることが可能とされています。

これらの方針を実現していくためには、日々の清掃や点検が非常に重要になってきます。

#### ■ 清掃の実施

汚れた建物は利用者に嫌悪感を与え、建物自体を粗末に扱わせるきっかけとなる可能性があります。用途や使用状況に合わせて適切な頻度で清掃を行い、施設を常にきれいで気持ちの良い状態に保ちます。

#### ■ 定期点検の実施

##### ①職員による点検

毎年、インフラ施設以外の全ての公共施設（ごく小規模な施設や危険性のない施設は除く）を対象に、建物の劣化箇所を確認する「劣化状況調査」を実施します。修繕が必要な箇所を早期に発見し、予防的な修繕等を実施（予防保全）することで、出来るだけ大規模修繕や更新を回避し、同時に施設を健全な状態に保ちます。

劣化状況調査で得られた情報をもとに、今後の修繕計画を再検討し、次年度予算編成に活用します。緊急性のあるものに関しては、早急に修繕・交換等を実施します。また、調査結果を毎年記録していくことで、大規模修繕の時期を検討する際の判断材料とします。

調査の際は、巻末資料の劣化状況調査表を用いて点検を行います。点検項目については、現状に則した最適なものにするため、毎年見直しを行っていきます。

## ② 専門家による点検

小値賀町では平成 29 年～令和 2 年にかけて、主要施設を中心に、専門家による「老朽化調査」を実施してきました。今後も施設の安全性を確保するため、不特定多数の人が使用する施設や防災関係施設を対象に、専門家による点検を定期的実施していきます。

## 3. 長寿命化へ向けて

---

施設を長期間使用していくためには、清掃・点検に加えて、計画的な修繕の実施が重要になります。

### ■ 目標耐用年数

鉄筋コンクリート造施設の物理的耐用年数は 100 年以上とされていますが、四方を海に囲まれた小値賀町では、塩害により施設の劣化速度が上昇することを考慮し、鉄筋コンクリート造施設の目標使用年数を 80 年と設定します。それ以外の木造施設や鉄骨造施設に関しては、60 年とします。

ただし、既に建設から 40 年以上が経過し、これまでの適切なメンテナンスの不足や用途及び環境の変化等により、機能不全が生じている施設に関しては、目標耐用年数到来以前であっても、適切な時期に建て替えを検討します。

### ■ 修繕の周期

大規模修繕の周期は 20 年を目安とします。そこに各施設の劣化状況や利用状況、年度ごとの事業費のバランス等を加味し、個別施設計画上の修繕時期を決定します。

### ■ 計画的な更新・修繕

個別施設計画で定めた大規模修繕や更新予定年度の遅くとも 3 年前には、施設の劣化状況を詳しく調査し、当該施設の管理担当課内で、大規模修繕や更新を予定通り実施するかを再度検討します。劣化状況が想定よりも軽微であれば、修繕時期や更新時期を遅らせます。

### ■ 劣化箇所を放置しない

施設の寿命を延ばす上で、適切な時期に適切な修繕を実施することは非常に重要です。点検の結果判明した劣化箇所に関しては、緊急性の有無を判断し、緊急性のあるものに関しては計画上の修繕時期の到来前であっても工事等必要な処置を実施します。特に、利用者や周辺住民に危険を及ぼす可能性のある劣化、放置した場合建物の劣化を進行させる可能性のある損傷（雨漏りや窓の破損等）に関しては早急に対応します。

#### 4. 防災施設の整備

---

近年、ゲリラ豪雨や大型台風の多発により、以前と比べて防災施設の重要性が増しています。非常時に町民の安全を確保するため、地域防災計画で避難所に指定されている施設に関しては、優先して防災機能強化工事や修繕工事を実施していきます。

## 7 施設の状況及び評価の方法

各施設の方向性については、施設類型ごとに所管課で決定します。方向性決定の流れは以下に示すとおりです。

### 1. 現状の把握

まず現状を把握し、施設類型ごとにデータを整理します。

#### ①老朽化の状況

個別施設計画の対象施設に対して点検を実施し、現在の老朽化の状態を把握します。

老朽化調査実施済の施設に関してはその結果を用い、未実施の施設に関しては巻末資料の劣化状況調査表を用いた点検を実施し、老朽化の状態を確認します。

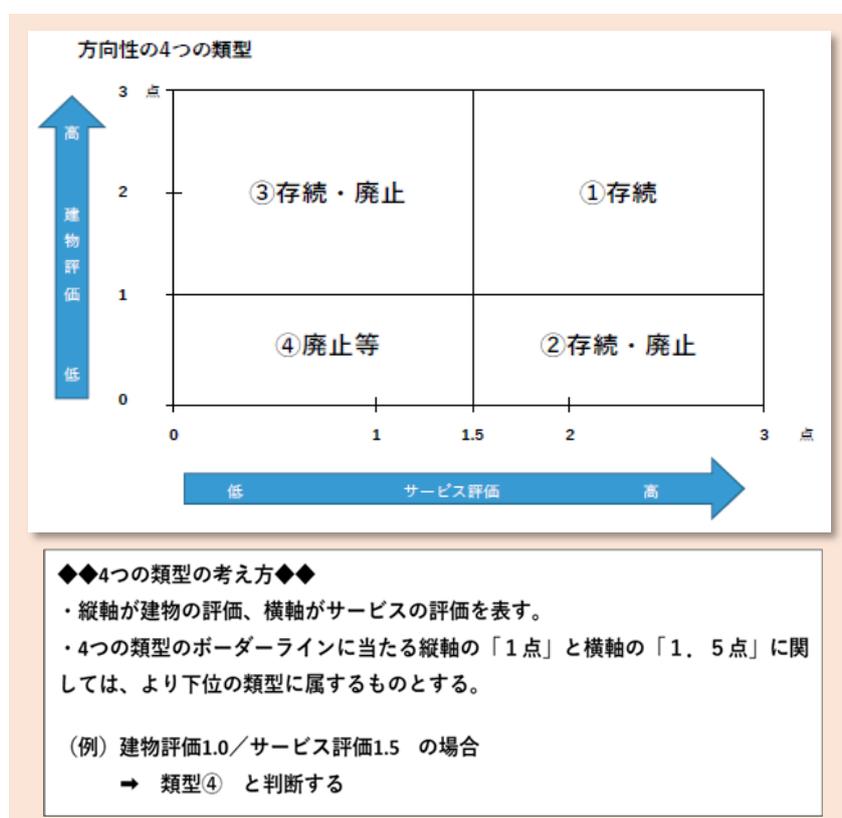
#### ②利用状況・維持管理費

各施設の稼働日数や利用者数、維持管理費等を整理し、ソフト面の状況を確認します。

### 2. 方向性の決定方法

#### ①方向性判断フロー

建築年数等から割り出した「建物（ハード）評価」と利用者数率等から割り出した「サービス（ソフト）評価」を各々3段階に点数化し、4つの類型に分けます。



4つの類型を基に、今後の事業方針や利用者の意見等を踏まえ、施設の方向性を決定します。

#### 方向性の例について

類型	存廃	方向性	選択肢	説明
①	存続	継続維持	現状維持	現状のまま維持・管理する。
			運営改善	運営方法・使用料等の見直しを行う。
			長寿命化	法定耐用年数を超えて施設を維持するための対策を図る。目標60年以上。
		更新検討	建替え	施設を取り壊し、同じ土地に同様の機能の施設を新築する。
			規模縮小して建替え	施設を取り壊し、同じ土地に同様の機能の施設を規模を縮小して新築する。
		利用検討	多機能化	別の目的の施設の機能を取り入れる。
			集約化	同じ目的の複数の施設を一つに集約する。
			転用	施設機能を廃止し、多用途へ転用する。
		その他	その他	
②	存続	維持継続	現状維持	現状のまま維持・管理する。
			運営改善	運営方法・使用料等の見直しを行う。
			長寿命化	法定耐用年数を超えて施設を維持するための対策を図る。目標60年以上。
		更新検討	建替え	施設を取り壊し、同じ土地に同様の機能の施設を新築する。
			規模縮小して建替え	施設を取り壊し、同じ土地に同様の機能の施設を規模を縮小して新築する。
		利用検討	多機能化	別の目的の施設の機能を取り入れる。
			集約化	同じ目的の複数の施設を一つに集約する。
			転用	施設機能を廃止し、多用途へ転用する。
		その他	その他	
	廃止	用途廃止	民間譲渡	民間業者等に売却等する。
			機能移転	機能を移転させ、施設は取り壊す。
			除却	機能を廃止し、施設を取り壊す。
		その他	その他	
	存続・廃止	今後検討	今後検討	施設の存続・廃止について検討していく。
	③	存続	維持継続	運営改善
長寿命化				法定耐用年数を超えて施設を維持するための対策を図る。目標60年以上。
更新検討			規模縮小して建替え	施設を取り壊し、同じ土地に同様の機能の施設を規模を縮小して新築する。
			多機能化	別の目的の施設の機能を取り入れる。
利用検討			集約化	同じ目的の複数の施設を一つに集約する。
			転用	施設機能を廃止し、多用途へ転用する。
その他		その他		
廃止		用途廃止	民間譲渡	民間業者等に売却等する。
			地域移管	地元地域に移管する。
			除却	機能を廃止し、施設を取り壊す。
		その他	その他	
存続・廃止	今後検討	今後検討	施設の存続・廃止について検討していく。	
④	廃止等	用途廃止	民間譲渡	民間業者等に売却等する。
			除却	機能を廃止し、施設を取り壊す。
		その他	その他	

## ≪ 評価点の算出方法 ≫

評価項目

区分	評価項目
建物(ハード)	①老朽化状況 ②耐震性能
サービス(ソフト)	①年間利用者率 ②年間稼働日数率 ③1人当たりコスト

■ 建物の総合評価点 = ①と②の平均点

■ サービスの総合評価点 = ①～③の平均点

### ◆◆評価の考え方◆◆

各施設を建物(ハード)とサービス(ソフト)の両面から評価する。

具体的な評価項目は上記の通り。

各項目を3点満点とし、建物の総合評価点とサービスの総合評価点をそれぞれ3点満点で算出する。

なお、役場庁舎・消防詰所・公衆トイレ等、サービス評価に適さない施設については、建物(ハード)のみを評価する。

## 建物評価基準

■ 老朽化状況 ■

建物評価点 1

施設の残寿命年数を計算し、建物の評価を出す。(3点満点)

計算式でマイナス評価となった場合は0点とする。

構造	耐用年数
鉄骨鉄筋コンクリート造	50年
鉄筋コンクリート造	
鉄骨コンクリート造	
無筋コンクリート造	38年
鉄骨造	
木造	24年

<計算方法>

★耐用年数 - (現年度 - 築年度) = 残寿命年数

★(残寿命年数 / 耐用年数) × 3点 = 建物評価点

(例) 1989年度築 鉄骨鉄筋コンクリート造

50年 - (2020年度 - 1989年度) = 19年

(19年 / 50年) × 3点 = 1.14点

■耐震性能■

建物評価点 2

評価点	建築年度
3	新耐震基準以降（1981年度（昭和56年度））
2	1971年度（昭和46年度）～1980年度（昭和55年度）
1	1970年度（昭和45年度）以前

※複数の棟がある施設は、主体建物の建築年度から評価する。（主体建物とは、施設を構成している建物の棟のうち、代表となる棟。）

※新耐震基準以降の建物とは、1981年（昭和56年）6月1日以降に計画通知を取得した建物。

評価点	条件
+1	耐震化対象となる棟のすべてが耐震化対応済み
	耐震化対象となる棟の一部が耐震化対応済み

サービス評価基準

◆◆サービス評価の考え方◆◆

- ・町民や旅行者の利用する施設を一般的公共施設と分類し、下記のとおり3つの項目から評価する。
- ・住宅や貸事務所に関しては2つの項目から評価する。

<一般的公共施設の場合>

サービス評価点 1

サービス評価点 2

サービス評価点 3

指標 評価点	①年間利用者数率	②年間稼働日数率	③1人あたりコスト
	年間利用者数／人口	年間稼働日数／365日	対象施設の平均値に対する割合
3	200%以上	65%以上	60%未満
2	70%以上200%未満	35%以上65%未満	60%以上150%未満
1	70%未満	35%未満	150%以上

<住宅及び貸事務所の場合>

サービス評価点 1

サービス評価点 2

指標 評価点	①年間利用率	②1戸当たりのコスト
	利用日数／365日	対象施設の平均値に対する割合
3	90%以上	30%未満
2	50%以上90%未満	30%以上65%未満
1	50%未満	65%以上

## ②方向性についてコメント

今後の方向性について、施設類型ごとに詳しく記述します。

## ③今後 10 年間の事業計画

決定された各施設の方向性に沿って、今後 10 年間の事業計画を作成します。

大規模修繕工事や更新工事の周期の目安は以下の表のとおりです。

種別	周期	内容
建替え	60～80年	現在の施設を取り壊し、同規模の施設を建設。
建替え(規模縮小)	60～80年	現在の施設を取り壊し、より小規模の施設を建設。
建替え(移設)	60～80年	現在の施設は残し、別の場所に同規模の施設を建設
長寿命化改修	40年	60年以上の使用を想定し、改修を実施。
大規模修繕①外部+内部+設備	20年	外部(屋根・外壁・躯体等)、内部(内壁・床等)、設備(空調設備・ボイラー等)の修繕。
大規模修繕②外部+内部	20年	外部(屋根・外壁・躯体等)、内部(内壁・床等)の修繕。
大規模修繕③外部のみ	20年	外部(屋根・外壁・躯体等)の修繕。
大規模修繕④設備のみ	20年	設備(空調設備・ボイラー等)の修繕。

工事種別の周期に関しては「平成 31 年度 建築物のライフサイクルコスト((財)建築保全センター)」を参考にしています。また、概算事業費に関しては、「平成 31 年度 建築物のライフサイクルコスト((財)建築保全センター)」及び過去に当町で実施された類似工事の単価を参考に算出しています。

## 8 方向性判断フローの結果と施設の方針

### (1) 庁舎・交通施設

#### 1. 方向性判断表

No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	建物 評価点	サービス 評価点	方向性判断フロー 結果(類型)	今後10年間の方向性の検討結果	
								存廃	方向性
1	小値賀町役場庁舎	庁舎	総務課	1989年	2.1	-	①存続	存続	継続維持
2	小値賀港新ターミナル	交通施設	総務課	2003年	2.5	3.0	①存続	存続	継続維持
2	離島待合所(笛吹)	交通施設	総務課	1980年	1.3	3.0	①存続	存続	更新検討
3	柳港離島待合所	交通施設	総務課	1982年	1.5	2.3	①存続	存続	継続維持
4	野崎待合所	交通施設	総務課	1989年	1.5	2.7	①存続	存続・廃止	今後検討
5	大島離島待合所	交通施設	総務課	1992年	1.5	2.7	①存続	存続	継続維持

#### 2. 方向性について

- ・小値賀町役場庁舎については、現状を維持しつつ、長寿命化へ向けて、必要な修繕工事を実施する。
- ・小値賀港新ターミナルに関しては、利用率が非常に高いため、現状を維持しつつ、令和5年度に天井照明器のLED化、塩害により劣化した外部の建具及び外置式の設備機器、クラックや爆裂を起こしている屋根、内部の雨漏り等について大規模改修を行う。
- ・離島待合所(笛吹)については、雨漏りなどが多発しており応急処置を施して利用している状況であるが、今後も大島、六島地区住民の利用はもとより野崎島への観光客の利用が多く見込めることから規模を縮小し立替を計画する。
- ・大島離島待合所については、現状を維持しつつ必要な修繕工事を実施して行く。
- ・柳港離島待合所については、現状を維持しつつ必要な修繕工事を実施して行く。
- ・野崎待合所については、現状を維持しつつ、今後はビジターセンターとの集約化について検討を行う。

### 3. 今後10年間の事業計画

単位：千円

No.	施設名	項目	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	合計
1	小値賀町役場庁舎	工事種別 金額									長寿命化改修 280,000		280,000
2	小値賀港新ターミナル	工事種別 金額			大規模修繕① 40,000								40,000
3	羅島待合所（笛吹）	工事種別 金額				建替え(柳蔭縮小) 29,000							29,000
4	柳港羅島待合所	工事種別 金額											0
5	野崎待合所	工事種別 金額											0
6	大島羅島待合所	工事種別 金額											0
合計			0	0	40,000	29,000	0	0	0	0	280,000	0	349,000

## (2) 医療・保健施設

### 1. 方向性判断表

No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	建物 評価点	サービス 評価点	方向性判断フロー 結果(類型)	今後10年間の方向性の検討結果	
								存廃	方向性
1	医師住宅A	医療・保健施設	総務課	1984年	1.5	2.5	①存続	存続	利用検討
2	医師住宅B	医療・保健施設	総務課	1984年	1.5	3.0	①存続	存続	利用検討
3	医療保健職員住宅(A棟)	医療・保健施設	総務課	2011年	2.4	2.0	①存続	存続	継続維持
4	医療保健職員住宅(B棟)	医療・保健施設	総務課	2011年	2.4	2.5	①存続	存続	継続維持
5	医療保健職員住宅(C棟)	医療・保健施設	総務課	2011年	2.4	2.0	①存続	存続	継続維持
6	医療保健職員住宅(D棟)	医療・保健施設	総務課	2011年	2.4	2.0	①存続	存続	継続維持
7	診療所	医療・保健施設	診療所	1984年	1.9	3.0	①存続	存続	利用検討
8	健康管理センター	医療・保健施設	住民課	1984年	1.9	1.7	①存続	存続・廃止	更新検討

### 2. 方向性について

- ・ 医師住宅については、新診療所完成後も応援医師や実習生などの滞在住宅として利用予定。ただ、新診療所敷地内に新たに医師住宅の建設も予定されているため、その後の利用については、他の施設として転用するなどの検討が必要。
- ・ 現診療所については、新診療所完成後も健康管理センターが現在の場所に残る予定だが、現診療所建物の利活用方法については、今後、様々な選択肢を考慮に入れ幅広く検討していく。
- ・ 現時点では、新診療所建設後も健康管理センターの機能は現在の場所（現診療所と同じ建物）に残る予定だが、今後は他施設への機能移転等を検討していく。

### 3. 今後10年間の事業計画

単位：千円

No.	施設名	項目	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	合計
1	医師住宅A	工事種別 金額											0
2	医師住宅B	工事種別 金額											0
3	医療保健職員住宅 (A棟)	工事種別 金額											0
4	医療保健職員住宅 (B棟)	工事種別 金額											0
5	医療保健職員住宅 (C棟)	工事種別 金額											0
6	医療保健職員住宅 (D棟)	工事種別 金額											0
7	診療所	工事種別 金額	建替え(移設) 260,000	建替え(移設) 532,600									793,000
8	健康管理センター	工事種別 金額											0
<b>合計</b>			260,000	532,600	0	0	0	0	0	0	0	0	792,600

### (3) 消防施設

#### ①方向性判断表

No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	建物 評価点	サービス 評価点	方向性判断フロー 結果(類型)	今後10年間の方向性の検討結果	
								存廃	方向性
1	斑在消防詰所	消防・防災施設	総務課	1939年	0.5	-	②存続・廃止	存続	継続維持
2	大島消防詰所	消防・防災施設	総務課	1939年	0.5	-	②存続・廃止	存続	継続維持
3	納島消防詰所	消防・防災施設	総務課	1939年	0.5	-	②存続・廃止	存続	継続維持
4	第1分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1978年	1.0	-	②存続・廃止	存続	継続維持
5	第2分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1974年	1.0	-	②存続・廃止	存続	継続維持
6	第3分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1984年	1.5	-	①存続	存続	継続維持
7	第4分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1987年	1.5	-	①存続	存続	継続維持
8	第5分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1983年	1.5	-	①存続	存続	継続維持
9	第6分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1980年	1.0	-	②存続・廃止	存続	継続維持
10	第7分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1981年	1.5	-	①存続	存続	継続維持
11	第8分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	2002年	1.9	-	①存続	存続	継続維持
12	第9分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1983年	1.5	-	①存続	存続	継続維持
13	第10分団消防詰所	消防・防災施設	総務課	1979年	1.0	-	②存続・廃止	存続	継続維持
14	第1分団消防詰所トイレ	消防・防災施設	総務課	1996年	2.3	-	①存続	存続	継続維持

#### ②方向性について

- ・斑、大島、納島の消防詰所については、分団がない地区（二次離島）でもあるため火災や災害が発生した場合の拠点となることから現状を維持しつつ、必要な修繕工事を実施していく。
- ・各分団の消防詰所に関しては、現状を維持しつつ、分団の再編も含め今後の小値賀町消防団について総合的に協議したうえで、施設の統廃合等を検討していく。特に第6分団詰所に関しては、ため池に面した施設でもあることから、地盤が弱く施設の移設等を検討していく。
- ・第1分団消防詰所トイレについては、公園付近に設置していることや町民、観光客等の利用も見込まれるため、現状を維持しつつ、適宜修繕工事を実施していく。

### ③今後10年間の事業計画

単位：千円

No.	施設名	項目	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	合計
1	現在消防詰所	工事種別 金額											0
2	大島消防詰所	工事種別 金額											0
3	納島消防詰所	工事種別 金額											0
4	第1分団消防詰所	工事種別 金額											0
5	第2分団消防詰所	工事種別 金額											0
6	第3分団消防詰所	工事種別 金額											0
7	第4分団消防詰所	工事種別 金額											0
8	第5分団消防詰所	工事種別 金額											0
9	第6分団消防詰所	工事種別 金額					15,000 建替え						15,000
10	第7分団消防詰所	工事種別 金額											0
11	第8分団消防詰所	工事種別 金額											0
12	第9分団消防詰所	工事種別 金額											0
13	第10分団消防詰所	工事種別 金額											0
14	第1分団消防詰所トイレ	工事種別 金額											0
<b>合計</b>			0	0	0	0	15,000	0	0	0	0	0	15,000

## (4) 福祉施設

### ①方向性判断表

No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	建物 評価点	サービス 評価点	方向性判断フロー 結果(類型)	今後10年間の方向性の検討結果	
								存廃	方向性
1	こども園舎	こども園	福祉事務所	1993年	2.2	1.7	①存続	存続	継続維持
2	白浜海水浴場関連施設(シャワー室・トイレ)	児童福祉施設	福祉事務所	2001年	1.8	1.3	③存続・廃止	存続・廃止	その他(廃止)
3	小値賀町地域福祉センター	老人福祉施設	福祉事務所	1994年	2.2	2.7	①存続	存続	継続維持
4	小値賀町高齢者生活福祉センター(たんぼば荘)	老人福祉施設	福祉事務所	2001年	2.4	2.7	①存続	存続	継続維持
5	前方ふれあい館	老人福祉施設	福祉事務所	2001年	1.8	1.7	①存続	存続	継続維持
6	大島和楽苑	老人福祉施設	福祉事務所	2000年	1.8	1.7	①存続	存続	継続維持

### ②方向性について

- ・こども園舎については、平成30年度に屋根の修繕、令和元年度に内装と空調の修繕を実施しており、今後も施設の活用を続ける。
- ・白浜海水浴場関連施設については、児童福祉施設としての利用がほとんどないため所管課としては廃止の方向で考えているが、軽微な修繕のみで使用できる状態であるため、取り壊しは行わず、所管課の変更を検討する。
- ・地域福祉センターについては、今後も利用を継続する。
- ・高齢者生活福祉センターについては、今後も利用を継続するが、今計画期間内での大規模改修(空調設備等)を想定している。
- ・前方ふれあい館については、今後も利用を継続する。施設の稼働率が低いので、今後地域住民の通いの場としての利用を促していく。
- ・大島和楽苑については、今後も利用を継続する。今後地区住民の減少によるニーズの低下が想定されるため、施設の修繕は軽微なものにとどめる。

### ③今後10年間の事業計画

単位：千円

No.	施設名	項目	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	合計
1	こども園舎	工事種別 金額											0
2	白浜海水浴場関連施設(シャワー室・トイレ)	工事種別 金額											0
3	小値賀町地域福祉センター	工事種別 金額											0
4	小値賀町高齢者生活福祉センター(たんぼぼ荘)	工事種別 金額		大規模修繕④ 20,000									20,000
5	前方ふれあい館	工事種別 金額											0
6	大島和楽苑	工事種別 金額	大規模修繕③ 1,000										1,000
合計			1,000	20,000	0	0	0	0	0	0	0	0	21,000

## (5) 衛生・清掃施設

### ①方向性判断表

No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	建物 評価点	サービス 評価点	方向性判断フロー 結果(類型)	今後10年間の方向性の検討結果	
								存廃	方向性
1	小値賀町葬斎場	衛生施設	建設課	1991年	2.1	1.7	①存続	存続	継続維持
2	小値賀町ごみ焼却場	清掃施設	建設課	1992年	2.2	2.0	①存続	存続・廃止	用途廃止
3	不燃物プラットホーム	清掃施設	建設課	1992年	2.2	2.7	①存続	存続	継続維持
4	ストックヤード	清掃施設	建設課	2001年	2.3	2.7	①存続	存続	継続維持
5	資源物保管用ストックヤード	清掃施設	建設課	1988年	1.7	-	①存続	存続	更新検討
6	小値賀町し尿処理場	清掃施設	建設課	1994年	2.2	1.7	①存続	存続・廃止	利用検討

### ②方向性について

- ・小値賀町葬斎場については、町内唯一の葬斎場である。令和2年から3年にかけて改修を実施しており、建物の老朽化対策を行っている。また、通夜機能についても強化を行う。
- ・小値賀町ごみ焼却場については、可燃ごみの町外搬出を計画しており、焼却機能の休止後、建物の転用又は廃止について検討して行く。
- ・不燃物プラットホームについては、ごみ焼却場と一体となった建物であり、焼却場の廃止又は転用に伴い、改修について検討して行く。
- ・ストックヤードについては、令和3年度に屋根の防水工事を予定しており、現状を維持しつつ必要な修繕工事を実施して行く。
- ・資源物保管用ストックヤードについては、出荷前のプラスチックやPETボトル等資源物の保管用倉庫として使用している。老朽化調査の中で、建物の腐食が指摘されていることから、当面は小規模修繕等で対処しながら、将来的には建替えを検討して行く。
- ・小値賀町し尿処理場については、下水処理場でのし尿等受入れを検討しており、受入れ可能であれば、し尿処理場の機能を下水処理場に移行した上で、建物の転用又は廃止について検討して行く。

### ③今後10年間の事業計画

単位：千円

No.	施設名	項目	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	合計
1	小値賀町葬斎場	工事種別 金額	大規模修繕① 42,000										42,000
2	小値賀町ごみ焼却場	工事種別 金額											0
3	不燃物プラットホーム	工事種別 金額			大規模修繕③ 20,000								20,000
4	ストックヤード	工事種別 金額	大規模修繕③ 11,000										11,000
5	資源物保管用ストックヤード	工事種別 金額								建替え 30,000			30,000
6	小値賀町し尿処理場	工事種別 金額											0
<b>合計</b>			53,000	0	20,000	0	0	0	0	30,000	0	0	<b>103,000</b>

## (6) 水道施設

### ①方向性判断表

No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	建物 評価点	サービス 評価点	方向性判断フロー 結果(類型)	今後10年間の方向性の検討結果	
								存廃	方向性
1	中村第一浄水場機械室	水道施設	建設課	1980年	1.0	-	②存続・廃止	存続	継続維持
2	中村第二浄水場 空気調整室	水道施設	建設課	2001年	2.4	-	①存続	存続	継続維持
3	中村送水ポンプ室	水道施設	建設課	1964年	0.5	-	②存続・廃止	存続	継続維持
4	上の坂ポンプ・電気計装室	水道施設	建設課	1986年	1.7	-	①存続	存続	継続維持
5	前方配水池電気計測室	水道施設	建設課	1998年	2.1	-	①存続	存続	継続維持
6	柳配水池電気計装室	水道施設	建設課	1999年	2.4	-	①存続	存続	継続維持
7	赤尾ポンプ・電気計装室	水道施設	建設課	1967年	0.5	-	②存続・廃止	存続	継続維持
8	浜津配水池電気計装室	水道施設	建設課	1998年	2.3	-	①存続	存続	継続維持
9	斑配水池電気計装室	水道施設	建設課	1998年	2.3	-	①存続	存続	継続維持

### ②方向性について

- ・中村第一浄水場機械室については、令和2年度に老朽化調査を実施している。その結果、鉄骨（柱・筋かい）壁等が老朽化しているため、修繕が必要であり、修繕しつつ現状維持する。
- ・中村送水ポンプ室・赤尾ポンプ電気計装室については、一部老朽化が見受けられるが、簡易水道事業の維持に不可欠な施設であるため、必要な修繕を施しながら現在の施設を維持管理していく。
- ・その他の水道施設についても、今後も利用を継続する。

### ③今後10年間の事業計画

単位：千円

No.	施設名	項目	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	合計
1	中村第一浄水場機械室	工事種別 金額	大規模修繕② 5,000										5,000
2	中村第二浄水場 空気調整室	工事種別 金額											0
3	中村送水ポンプ室	工事種別 金額											0
4	上の坂ポンプ・電気計装室	工事種別 金額											0
5	前方配水池電気計装室	工事種別 金額											0
6	柳配水池電気計装室	工事種別 金額											0
7	赤尾ポンプ・電気計装室	工事種別 金額											0
8	浜津配水池電気計装室	工事種別 金額											0
9	坂配水池電気計装室	工事種別 金額											0
<b>合計</b>			5,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000

## (7) 産業施設

### ①方向性判断表

No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	建物 評価点	サービス 評価点	方向性判断フロー 結果(類型)	今後10年間の方向性の検討結果	
								存廃	方向性
1	柿の浜海水浴場関連施設(シャワー室・更衣室・トイレ等)	観光施設	産業振興課	2002年	1.9	2.0	①存続	存続	継続維持
2	古民家島暮らし体験交流館 こんどう邸(親家)	観光施設	産業振興課	1850年	0.5	1.3	④廃止	存続・廃止	継続維持
3	古民家島暮らし体験交流館 はまだ邸(先小路)	観光施設	産業振興課	1905年	0.5	1.0	④廃止	存続・廃止	継続維持
4	古民家島暮らし体験交流館 まつなが邸(鮑集・日月庵)	観光施設	産業振興課	1876年	1.0	1.7	②存続・廃止	存続・廃止	継続維持
5	地産地消古民家レストランふじまつ	観光施設	産業振興課	1851年	0.5	2.3	②存続・廃止	存続・廃止	継続維持
6	古民家島暮らし体験交流館 たもと邸(小白山)	観光施設	産業振興課	1927年	0.5	1.3	④廃止	存続・廃止	継続維持
7	古民家島暮らし体験交流館 近藤達男邸(一期庵一会庵)	観光施設	産業振興課	不明	0.5	1.0	④廃止	存続・廃止	継続維持
8	野崎島自然学塾村 宿泊室棟	観光施設	産業振興課	1964年	0.5	2.7	②存続・廃止	存続・廃止	継続維持
9	野崎島ビジターセンター	観光施設	産業振興課	2016年	2.8	2.7	①存続	存続	継続維持
10	浜崎鼻ゴルフ場管理棟	観光施設	産業振興課	1989年	1.5	2.3	①存続	廃止	用途廃止
11	浜崎鼻公衆便所	公園施設	産業振興課	1965年	0.5	-	②存続・廃止	廃止	用途廃止
12	漁民研修センター	水産施設	産業振興課	1981年	1.8	1.3	③存続・廃止	存続・廃止	今後検討
13	あわび館	水産施設	産業振興課	1996年	2.3	2.3	①存続	存続	利用検討
14	アワビ種苗センター	水産施設	産業振興課	1993年	1.5	-	①存続	存続	利用検討
15	岳の内揚水機場	農業施設	産業振興課	1999年	2.4	-	①存続	存続	継続維持
16	殿崎揚水機場	農業施設	産業振興課	1999年	2.4	-	①存続	存続	継続維持
17	水管理システム施設中央管理事務所	農業施設	産業振興課	2000年	2.4	-	①存続	存続	継続維持
18	堆肥舎 格納庫棟	農業施設	産業振興課	2002年	1.9	-	①存続	存続	継続維持
19	小値賀町獣医師住宅	住宅	産業振興課	1993年	1.5	3.0	①存続	存続	その他(存続)
20	前方農村婦人の家	農業施設	産業振興課	1978年	1.2	1.7	①存続	存続	利用検討
21	小値賀町農産物加工場	農産物加工施設	産業振興課	2016年	2.8	-	①存続	存続	継続維持

## ②方向性について

### 【観光関係施設】

- ・ 柿の浜海水浴場関連施設については、現状維持に努める。
- ・ 古民家島暮らし体験交流館、地産地消古民家レストラン及び野崎島自然学塾村は、指定管理委託している。各施設の長寿命化を図るとともに、古民家関連施設については場合によっては民間譲渡の可能性も検討する。
- ・ 野崎島ビジターセンターについても、現在指定管理委託している。平成28年度建設・平成29年度オープンの新しい施設であり、現時点で大規模な改修は予定していない。
- ・ 浜崎鼻ゴルフ場管理棟及び公衆便所については、実際に利用している「浜友会」に譲渡する方向で協議を進める。

### 【水産関係施設】

- ・ 漁民研修センターについては、平成30年度に実施した老朽化調査の結果、利用を継続するのであれば大規模修繕が必要である旨報告を受けている。現利用者からは継続して施設を利用したい旨要望を受けているが、年間を通しての利用率は低く、施設の改修費用も多額となるため、今後、剥落防止措置を施したうえで、施設の存続廃止について検討していく。
- ・ あわび館については、施設機器関連の老朽化が進んでおり、また、利活用について今後の方向性を問われているところである。令和2年度に利活用に関するアンケートを広く町民に実施し、令和3年度に検討委員会で協議を行ったうえで、それらを反映させた施設改修及び運営を行っていくこととしている。
- ・ アワビ種苗センターについては、外壁や腰壁等の老朽化が進んでおり、修繕の必要がある。佐世保市宇久栽培センターとの機能分担について協議を進めていることから、その結果に応じた改修もしくは建替えを検討していく。

### 【農業関係施設】

- ・ 農業水利関連施設及び堆肥製造施設については、農業振興の基盤となる施設のため、現状を維持しつつ、適時修繕を行い、長寿命化を図ることとする。
- ・ 獣医師住宅については、当面は適時修繕を行い、現状を維持していくが、獣医師2名体制を目指すに当たり、薬剤庫と住宅を分ける必要があるため、他の既存施設の状況を見ながら、薬剤庫機能の移転を検討していく。
- ・ 前方農村婦人の家については、利用している前方婦人会と相談しながら、施設の部屋ごとの利用形態について検討していく。現状で一部農林系の倉庫として利用している。(令和2年台風9号で家畜市場農林倉庫が全壊したため)

### ③今後10年間の事業計画

単位：千円

No.	施設名	項目	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	合計
1	柿の浜海水浴場関連施設(シャワー室・更衣室・トイレ等)	工事種別 金額											0
2	古民家島暮らし体験交流館 こんどう邸(親家)	工事種別 金額											0
3	古民家島暮らし体験交流館 はまた邸(先小松)	工事種別 金額									大規模修繕③ 1,500		1,500
4	古民家島暮らし体験交流館 まつなが邸(鮎真・日月庵)	工事種別 金額	長寿命化改修 14,900										14,900
5	地産地消古民家レストランふじまつ	工事種別 金額							大規模修繕② 7,500				7,500
6	古民家島暮らし体験交流館 たもと邸(小白山)	工事種別 金額									大規模修繕③ 3,300		3,300
7	古民家島暮らし体験交流館 近藤運男邸(一期庵一合庵)	工事種別 金額	大規模修繕③ 8,500										8,500
8	野崎島自然学塾村 宿泊室棟	工事種別 金額										大規模修繕② 31,000	31,000
9	野崎島ビジターセンター	工事種別 金額											0
10	浜崎鼻ゴルフ場管理棟	工事種別 金額											0
11	浜崎鼻公衆便所	工事種別 金額											0
12	漁民研修センター	工事種別 金額											0
13	あわび館	工事種別 金額		大規模修繕① 40,000									40,000
14	アワビ種苗センター	工事種別 金額			大規模修繕① 27,000								27,000
15	岳の内揚水機場	工事種別 金額											0
16	歌崎揚水機場	工事種別 金額			大規模修繕③ 3,000								3,000
17	水管理システム施設中央管理事務所	工事種別 金額											0
18	堆肥舎 格納庫棟	工事種別 金額											0
19	小値賀町獣医師住宅	工事種別 金額											0
20	前方農村婦人の家	工事種別 金額											0
21	小値賀町農産物加工場	工事種別 金額											0
合計			23,400	40,000	30,000	0	0	0	7,500	0	1,500	34,300	136,700

## (8) 社会教育施設

### ①方向性判断表

No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	建物 評価点	サービス 評価点	方向性判断フロー 結果(類型)	今後10年間の方向性の検討結果	
								存廃	方向性
1	小値賀町離島開発総合センター	社会教育施設	教育委員会	1974年	1.6	2.7	①存続	存続	更新検討
2	斑地区住民センター	社会教育施設	教育委員会	1972年	1.1	1.7	①存続	存続	更新検討
3	浜津地区住民センター	社会教育施設	教育委員会	1976年	1.2	1.7	①存続	存続	更新検討
4	柳地区住民センター	社会教育施設	教育委員会	1977年	1.2	1.3	③存続・廃止	存続	継続維持
5	納島地区住民センター	社会教育施設	教育委員会	1979年	1.0	1.3	④廃止	存続	更新検討
6	六島公民館	社会教育施設	教育委員会	1980年	1.0	1.7	②存続・廃止	存続	継続維持
7	中村地区住民センター	社会教育施設	教育委員会	1980年	1.0	1.7	②存続・廃止	存続	継続維持
8	小値賀町歴史民俗資料館	社会教育施設	教育委員会	1988年	2.0	2.3	①存続	存続	継続維持
9	小値賀町ふれあいプラザ	社会教育施設	教育委員会	1991年	2.1	3.0	①存続	存続	継続維持
10	小値賀町総合運動公園体育館	社会体育施設	教育委員会	1995年	2.3	3.0	①存続	存続	継続維持
11	総合運動公園 多目的グラウンド倉庫WC	社会体育施設	教育委員会	1995年	2.3	-	①存続	存続	継続維持
12	小値賀町若者交流センター	社会体育施設	教育委員会	1997年	2.3	1.7	①存続	存続	継続維持

## ②方向性について

- ・ 離島開発総合センターについては、利用率も高く重要な施設であるが、建設から47年以上経過し建物全体で老朽化が進行している。今後は、必要な機能を見直し規模縮小も踏まえ建て替えを検討していく。
- ・ 地区住民センターについては、現状を維持しつつ、長寿命化へ向けて、必要な修繕工事を実施していく。
- ・ 斑住民センター及び納島住民センターについては、災害時の避難所としての機能も必要になるため、高台への建て替えを進めていく。
- ・ ふれあいプラザ（図書館）については、利用率も高いため、現状を維持しつつ、計画期間において、施設の大規模改修（バリアフリー化含む）をする。
- ・ 小値賀町歴史民俗資料館については、郷土の歴史文化を伝える貴重な社会教育施設であり、また町内外者の利用率も高いため、現状を維持しつつ、長寿命化へ向けて、必要な修繕工事を実施していく。
- ・ 総合体育館については、避難所にも指定されているため、防災対策を強化し、長寿命化へ向けて、必要な改修工事を実施していく。
- ・ 総合運動公園倉庫については、維持管理コストも低いため、現状を維持し、必要があれば修繕を実施していく。
- ・ 若者交流センターについては、利用率が低いだが、指定避難所として重要な防災拠点となっているため、現状を維持しつつ、長寿命化へ向けて、必要な修繕工事を実施していく。

### ③今後10年間の事業計画

単位：千円

No.	施設名	項目	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	合計
1	小値賀町離島開発総合センター	工事種別 金額						270,000 建替え(規模縮小)					270,000
2	斑地区住民センター	工事種別 金額			64,000 建替え(規模縮小)								64,000
3	浜津地区住民センター	工事種別 金額							64,000 建替え(規模縮小)				64,000
4	柳地区住民センター	工事種別 金額											0
5	納島地区住民センター	工事種別 金額					28,000 建替え(規模縮小)						28,000
6	六島公民館	工事種別 金額											0
7	中村地区住民センター	工事種別 金額											0
8	小値賀町歴史民俗資料館	工事種別 金額								40,000 長寿命化改修			40,000
9	小値賀町ふれあいプラザ	工事種別 金額					22,000 大規模修繕②						22,000
10	小値賀町総合運動公園体育館	工事種別 金額		105,000 大規模修繕②									105,000
11	総合運動公園 多目的グラウンド	工事種別 金額											0
12	小値賀町若者交流センター	工事種別 金額	6,200 大規模修繕③										6,200
合計			6,200	105,000	64,000	0	50,000	270,000	64,000	40,000	0	0	599,200

## (9) その他施設

### ① 方向性判断表

No.	施設名	施設分類	所管課	建築年度	建物 評価点	サービス 評価点	方向性判断フロー 結果(類型)	今後10年間の方向性の検討結果	
								存廃	方向性
1	船瀬海水浴場サービスハウス	漁港施設	建設課	2003年	2.5	-	①存続	存続	利用検討
2	短期滞在住宅	住宅	総務課	1966年	0.5	1.7	②存続・廃止	存続	継続維持
3	宮崎町②空家活用住宅	住宅	総務課	1959年	0.5	2.0	②存続・廃止	存続	継続維持
4	セミナーハウス	その他	総務課	1991年	1.5	1.0	③存続・廃止	存続	継続維持
5	岳の内トイレ	その他	総務課	2004年	2.5	-	①存続	存続	継続維持
6	漁協横公衆便所	その他	総務課	1982年	1.9	-	①存続	存続	更新検討
7	地域活動支援センター憩いの家	その他	総務課	1979年	1.0	2.0	②存続・廃止	存続・廃止	今後検討
8	土地改良区・担い手公社事務所	その他	総務課	1991年	1.5	3.0	①存続	存続・廃止	今後検討
9	旧前方駐在所	その他	総務課	1984年	1.5	2.5	①存続	存続	継続維持
10	旧前方保育所	その他	総務課	1967年	0.5	-	②存続・廃止	存続	継続維持
11	旧斑小学校 管理教室棟	その他	総務課	1970年	0.5	-	②存続・廃止	存続・廃止	今後検討
12	旧斑小学校 体育館	その他	総務課	1976年	1.0	-	②存続・廃止	存続・廃止	今後検討
13	旧斑小学校 給食室	その他	総務課	1971年	1.0	1.7	①存続	存続・廃止	今後検討

## ②方向性について

・船瀬海水浴場サービスハウスは、平成 15 年度にレストランとして共用を開始した施設で、これまでに 2 名のテナントの利用があったが、2 名ともに経営が長続きせず、未利用となっていた。このような中、平成 27 年度に内装を水産加工場用に改修し、現在に至っている。今後は、施設使用について、広く利用者を募ることで、よりよい活用法を見出す。

・短期滞在住宅に関しては、利用率こそ低いが、移住希望者が小値賀の雰囲気を知ることでミスマッチを減らすことができる、住居を探すために滞在するなど、移住政策において重要な役割を果たしているため、往来通り運用していく。今後、移住者へ紹介できる住宅が増えてきたら運用方法について検討していく。

・セミナーハウスに関しては、利用率は低いが、今後地域づくりインターン生、大学連携、お試し地域おこし協力隊、地域おこし協力隊インターン事業等に活用し、利用率を上げつつ、若い世代の関係人口を増加させるための拠点施設とするため現状を維持する。

・漁協横公衆便所に関しては、躯体の一部で爆裂が進んでいるほか、トイレのドアもささくれだっており、危ない状態である。そのため、施設を取り壊し、利便性及び安全性を向上させた施設を新築する。

・憩いの家及び担い手公社事務所に関しては、現在は貸事務所として用されているが、今後は民間への譲渡も検討していく。

・旧前方駐在所は、屋根、外壁、内装について全体的に経年劣化が目立つので、令和 6 年に長寿命化改修を行い、往来通り移住者向け定住促進住宅として運用する。

・旧斑小学校関係の施設は、利用希望者がおり、管理コストが低いため現状を維持するが、危険性が見つかった場合は取り壊しを検討する。

### ③今後10年間の事業計画

単位：千円

No.	施設名	項目	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	合計
1	船瀬海水浴場サービスハウス	工事種別 金額				大規模修繕② 8,000							8,000
2	短期滞在住宅	工事種別 金額				長寿命化改修 6,000							6,000
3	宮崎町②空家活用住宅	工事種別 金額											0
4	セミナーハウス	工事種別 金額											0
5	岳の内トイレ	工事種別 金額											0
6	漁協横公衆便所	工事種別 金額		建替え 1,850									1,850
7	地域活動支援センター憩いの家	工事種別 金額											0
8	土地改良区・担い手公社事務所	工事種別 金額											0
9	旧前方駐在所	工事種別 金額				長寿命化改修 6,000							6,000
10	旧前方保育所	工事種別 金額											0
11	旧斑小学校 管理教室棟	工事種別 金額											0
12	旧斑小学校 体育館	工事種別 金額											0
13	旧斑小学校 給食室	工事種別 金額											0
合計			0	1,850	0	20,000	0	0	0	0	0	0	8,000

## 今後検討を行う施設リスト

今後、多機能化・統合・転用・廃止等が検討課題に挙がっている施設をまとめました。以下に定めた期限までに最終的な施設の方針を決定することとします。

### (1) 5年後(令和7年度末)までに方針を決定

施設類型	施設名
医療・保健施設	医師住宅 A、B
医療・保健施設	診療所
医療・保健施設	健康管理センター
消防施設	第1～10消防分団詰所
福祉施設	白浜海水浴場管理棟
衛生・清掃施設	小値賀町ごみ焼却場
衛生・清掃施設	不燃物プラットホーム
衛生・清掃施設	資源物保管用ストックヤード
産業施設	浜崎鼻公衆便所
産業施設	浜崎鼻ゴルフ場管理棟
産業施設	漁民研修センター
産業施設	あわび館
産業施設	あわび種苗センター
産業施設	小値賀町獣医師住宅
産業施設	前方農村婦人の家
社会教育施設	小値賀町離島開発総合センター
社会教育施設	浜津地区住民センター
社会教育施設	納島地区住民センター
その他施設	地域活動センター憩いの家
その他施設	土地改良区・担い手公社事務所

### (2) 10年後(令和12年度末)までに方針を決定

施設類型	施設名
庁舎・交通施設	野崎待合所
衛生・清掃施設	小値賀町し尿処理場
産業施設	古民家島暮らし体験交流館(全5件)
産業施設	地産地消古民家レストランふじまつ
社会教育施設	柳地区住民センター

施設類型	施設名
その他施設	旧前方保育所
その他施設	斑小学校

## 9 今後に向けて

---

今回個別施設計画を策定しましたが、当町の公共施設マネジメントの体制に関しては、まだまだ不十分な点も多くあるため、今後点検や修繕工事を進めて行く中で、適宜体制及び計画の改善を実施していきます。

具体的には以下の点に取り組みます。

### 1. 公共施設等総合管理計画の見直し

---

平成 28 年度の策定から 5 年目を迎える小値賀町公共施設等総合管理計画の見直しを令和 3 年度に実施します。今回策定した個別施設計画において、最新の基礎的データを基に今後の行政サービス及び財政運営の在り方が整理されました。これらに関して基本的理念を再構築すると共に、より鮮明な個々の施設の対応方針の確立につながるような、より実効性の高い計画の策定を目指します。

### 2. 庁内組織体制の強化

---

公共施設等総合管理計画の見直しに際し、庁内で公共施設マネジメント委員会を立ち上げ、各施設の管理担当課が連携し、小値賀町が今後目指すべき公共施設マネジメントの姿を再検討します。さらに、各課及び係の責任の所在や裁量の範囲を明確にし、問題 (Problem) → 計画 (Plan) → 実行 (Do) → 評価 (Check) → 改善 (Action) の PDCA サイクルが有機的に機能する体制の構築を目指します。

### 3. 町民参加

---

公共施設マネジメントは、町民にかかる公共サービスに直接関係する施設の在り方を問うものであるため、町民を巻き込んだ公共施設マネジメント体制の構築を目指します。

アンケートや利用者への聞き取りを通じて町民意向を把握し、計画の実施・見直しに活用します。さらに住民説明会やワークショップの開催等を通して、町民合意の形成や、公共施設マネジメントへの理解を深めて行けるよう努めます。

また、今後公共施設を管理する上で行政のマンパワー不足が発生することが予想されます。そこで、行政が活用できない施設に関しては、地域活性化のために地域の管理運営団体により活用できる施設として、積極的に管理運営委託、さらには譲渡していくことも検討していきます。

また、公共施設にかかる日常的なメンテナンスに地域住民の力を活用できるような仕組みづくりに関しても今後検討していきます。

#### 4. 個別施設計画の見直し

---

個別施設計画に関しても 5 年ごとに計画内容を見直すこととしていますが、小値賀町公共施設等総合管理計画の見直し及び公共施設マネジメント体制が整っていく過程で、必要な変更に関しては、適宜計画に反映させていく予定です。

## 第2章 施設カルテ

### (1) 庁舎・交通施設

#### (1) 小値賀町役場庁舎

##### ① 施設の概要

施設名称	小値賀町役場庁舎		
所在地	笛吹郷 2376-1 / 宮崎町	所管課	総務課
施設分類	庁舎	構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 / 3階
建築年度	平成1年(1989年)	建築費	522,189,820円
耐用年数	50年	目標使用年数	80年
延床面積	2441.63㎡	耐震化	○
設置目的・役割	事務所、窓口、議場、会議室、防災無線放送室、公用車車庫	避難所	—
付帯施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気車庫棟 平成1年 150.5㎡</li> <li>・倉庫棟 平成1年 105㎡</li> </ul>		
外観			

##### ② 利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	22,599人	22,599人	22,692人	22,692人	22,320人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15
稼働日数	243日	243日	244日	244日	240日
稼働率	67%	67%	67%	67%	67%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	3,703,995	3,681,152	3,892,496	3,324,102	2,871,304
修繕・工事費	888,064	1,073,185	4,990,972	2,687,750	1,577,710
委託費	2,167,560	2,430,000	2,521,800	2,521,800	2,625,329
合計	6,759,619	7,184,337	11,405,268	8,533,652	7,074,343

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 24 年	役場庁舎改修工事 (空調設備更新、電気設備工事、玄関工事、議場録音設備更新、内装補修工事)	96,999,000 円
平成 29 年	役場庁舎屋根周り防水工事	4,104,000 円
平成 30 年	役場庁舎高圧ケーブル取替工事	1,015,200 円
平成 30 年	役場庁舎 3 階第 1 会議室床張替工事	750,600 円

⑤利用状況と課題

利用状況	窓口への来庁、会議への参加等で多くの住民が利用している。 非常時の防災拠点としても機能。
施設状況(躯体)	築 30 年以上経過しているが、経年劣化の影響とみられる雨漏りが発生しており、修繕工事を実施しつつ施設管理を行っている。
施設状況(躯体以外)	築 30 年以上経過していることから、近年空調設備やトイレの修繕費用が膨らんでいる。 非常用発電施設において、年 1 回のメンテナンスを行っており、現在は故障もなく稼働しているが、法定対応年数を経過しており、部品の製造もされておらず更新の時期となっている。
現状・課題	3階建てだが、エレベーターがないため、体に障害がある方や高齢の方が2階や3階を利用しづらい状況である。バリアフリー化が課題。 【平成 30 年度老朽化調査実施】

## (2)小値賀港新ターミナル

### ①施設の概要

施設名称	小値賀港新ターミナル		
所在地	笛吹郷 2791-13 / 蛭子町	所管課	総務課
施設分類	交通施設	構造	鉄骨コンクリート / 1階
建築年度	平成 15 年(2003 年)	建築費	228,900,000 円
耐用年数	38 年	目標使用年数	80 年
延床面積	869.75 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	待合所・観光案内所	避難所	—
付帯施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小値賀港新ターミナルフェリー通路 平成 15 年 36.95 m<sup>2</sup></li> <li>・小値賀港新ターミナル高速艇通路 平成 15 年 44.34 m<sup>2</sup></li> </ul>		
外観			

### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	85,393 人	87,512 人	88,839 人	85,239 人	84,983 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	4:00~20:00	4:00~20:00	4:00~20:00	4:00~20:00	4:00~20:00
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	2,201,664	2,334,272	2,600,455	2,552,103	2,644,851
修繕・工事費	124,100	1,695,660	1,001,520	547,016	261,360
委託費	1,048,800	919,200	968,880	968,880	1,009,504
合計	3,374,564	4,949,132	4,570,855	4,067,999	3,915,715

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 28 年	高速船乗り場及び正面玄関自動ドア部品取替え工事	1,350,000 円
平成 29 年	小値賀港新ターミナルビル待合所整備工事	965,520 円

⑤利用状況と課題

利用状況	旅客船を利用する町内外の方が毎日利用している。 アイランドツーリズム協会、九州商船小値賀共運組、野母商船の事務所としても活用。
施設状況(躯体)	築 15 年を経過し、簡易な修繕が年々増えてきている。 現在はボーディングブリッジの工事を行い、増設されている。 潮風の影響か自動ドアの修繕がここ数年多発している。 野母商船事務所内の雨漏りが顕著。理由が不明。
施設状況(躯体以外)	通路の屋根のシートが劣化でほぼ剥がれている。
現状・課題	海沿いにあるため、通常の建物よりも劣化の進み具合が激しい。 【令和元年度老朽化調査実施】

### (3) 離島待合所(笛吹)

#### ① 施設の概要

施設名称	離島待合所(笛吹)		
所在地	笛吹郷 2791-3 / 蛭子町	所管課	総務課
施設分類	交通施設	構造	鉄筋コンクリート造/1階
建築年度	昭和 55 年(1980 年)	建築費	6,080,000 円
耐用年数	47 年	目標使用年数	80 年
延床面積	129.53 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	事務所・待合所	避難所	—
付帯施設			
外観			

#### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	6,352	6,728	6,519	8,097	7,952
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	6:30~18:15	6:30~18:15	6:30~18:15	6:30~18:15	6:30~18:15
稼働日数	339 日	341 日	340 日	351 日	351 日
稼働率	92.9%	93.4%	93.2%	96.2%	96.2%

#### ③ 維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	90,021	95,908	108,518	104,189	106,887
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	90,021	95,908	108,518	104,189	106,887

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	大島・六島・野崎の住民及び観光客の待合所として、利用されている。
施設状況(躯体)	築 37 年以上経過しており、経年劣化による雨漏りが発生しており、建て替えの検討も視野にいれている。
施設状況(躯体以外)	特になし。
現状・課題	屋根の雨漏りがあり、修理が必要。 課題は今後、建て替えを行うべきかどうか。 【令和元年度老朽化調査実施】

#### (4)柳港離島待合所

##### ①施設の概要

施設名称	柳港離島待合所		
所在地	柳郷 755-3 / 柳東	所管課	総務課
施設分類	交通施設	構造	無筋コンクリート造 / 1階
建築年度	昭和 57 年(1982 年)	建築費	2,000,000 円
耐用年数	38 年	目標使用年数	80 年
延床面積	18 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	待合所	避難所	—
付帯施設			
外観			

##### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	1,567 人	1,545 人	1,678 人	1,559 人	1,773 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	6:30~18:15	6:30~18:15	6:30~18:15	6:30~18:15	6:30~18:15
稼働日数	339 日	341 日	340 日	339 日	339 日
稼働率	92.9%	93.4%	93.2%	92.9%	92.9%

##### ③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	28,500	28,500	28,500	28,500	32,060
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	28,500	28,500	28,500	28,500	32,060

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	主に納島住民が利用している。
施設状況(躯体)	築 36 年以上経過しているが、修繕工事を実施しつつ施設管理を行っている。
施設状況(躯体以外)	特になし。
現状・課題	壁にひび割れがあり塗装が薄くなっているが、現状は問題なし。 課題も特になし。

(5)野崎待合所

①施設の概要

施設名称	野崎待合所		
所在地	野崎郷 / 野崎	所管課	総務課
施設分類	交通施設	構造	木造 / 1階
建築年度	平成元年(1989年)	建築費	1,749,000円
耐用年数	22年	目標使用年数	60年
延床面積	11.9㎡	耐震化	—
設置目的・役割	待合所	避難所	—
付帯施設			
外観			

②利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	2,094人	2,492人	2,368人	3,485人	3,104人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	6:30~18:15	6:30~18:15	6:30~18:15	6:30~18:15	6:30~18:15
稼働日数	339日	341日	340日	351日	351日
稼働率	92.9%	93.4%	93.2%	96.2%	96.2%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	世界遺産登録により、利用客が増えているが、ビジターセンターの設立により利用客は減少している。
施設状況(躯体)	築 30 年以上経過しているが、修繕工事を実施しつつ施設管理を行っていく。
施設状況(躯体以外)	特になし。
現状・課題	台風にも耐えており、木造建でよくここまで持っていると思う。 ビジターセンターとの集約化について検討を行う。

(6)大島離島待合所

①施設の概要

施設名称	大島離島待合所		
所在地	大島郷 1-1 /大島	所管課	総務課
施設分類	交通施設	構造	木造 / 1 階
建築年度	平成 3 年(1991 年)	建築費	3,399,000 円
耐用年数	22 年	目標使用年数	60 年
延床面積	129.53 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	待合所	避難所	—
付帯施設			
外観			

②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	3,399 人	3,383 人	3,590 人	3,859 人	4,172 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	6:30~18:15	6:30~18:15	6:30~18:15	6:30~18:15	6:30~18:15
稼働日数	339 日	341 日	340 日	339 日	339 日
稼働率	92.9%	93.4%	93.2%	92.9%	92.9%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	28,500	28,500	28,500	28,500	28,590
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	28,500	28,500	28,500	28,500	28,590

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	大島住民の生活航路の足となる町営船「はまゆう」の大島待合所であり、利用者も多い。
施設状況(躯体)	築 28 年以上経過しており壁にひび割れがあるが、修繕工事を実施しつつ施設管理を行っていく。
施設状況(躯体以外)	男子トイレが一基、利用ができない状態である。
現状・課題	壁にひび割れ、塗装の色あせなどあるが、まだまだ利用には問題ない。

## (7)斑バス待合所

### ①施設の概要

施設名称	斑バス待合所		
所在地	班島郷 2-3 / 斑浦	所管課	総務課
施設分類	交通施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	昭和 58 年 (1983 年)	建築費	2,750,000 円
耐用年数	50 年	目標使用年数	80 年
延床面積	21 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	詰所・寄り場	避難所	—
付帯施設			
外観			

### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	11,304	11,268	11,300	11,300	11,300
修繕・工事費	0	8,100	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	11,304	19,368	11,300	11,300	11,300

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	斑住民の方でバス利用者の方が主に利用している。
施設状況(躯体)	築 37 年が経過しているが、現状では特に目立った修繕発生箇所はない。
施設状況(躯体以外)	なし。
現状・課題	現状特に課題はない。

## (2) 医療・保健施設

### (1) 医師住宅 A

#### ① 施設の概要

施設名称	医師住宅 A		
所在地	笛吹郷 1756-4 / 宮崎町	所管課	総務課
施設分類	医療・保健施設	構造	木造 / 2 階
建築年度	昭和 59 年 (1984 年)	建築費	15,482,000 円
耐用年数	22 年	目標使用年数	60 年
延床面積	107.61 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	住宅	避難所	—
付帯施設			
外観			

#### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	1 人	1 人	10 人	72 人	79 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365 日	366 日	339 日	261 日	260 日
稼働率	100%	100%	92.9%	71.4%	71.2%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	130,398	145,242	176,397	331,821	334,069
修繕・工事費	60,372	0	0	0	15,000
委託費	0	0	0	0	0
合計	190,770	145,242	176,397	331,821	349,069

※光熱水費は医師住宅 A と B の合算

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	診療所の勤務医師が利用するため、光熱水費については診療所が負担している。
施設状況(躯体)	状態としては特に問題なし。
施設状況(躯体以外)	2 階の和室に雨漏りが見られたが、令和 2 年度に修繕済み。現在は問題なし。
現状・課題	特になし。

## (2) 医師住宅 B

### ① 施設の概要

施設名称	医師住宅 B		
所在地	笛吹郷 1756-14 / 宮崎町	所管課	総務課
施設分類	医療・保健施設	構造	木造 / 2 階
建築年度	昭和 59 年 (1984 年)	建築費	15,482,000 円
耐用年数	22 年	目標使用年数	60 年
延床面積	107.61 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	住宅	避難所	—
付帯施設			
外観			

### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	28 人	35 人	25 人	22 人	16 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	130,398	145,242	176,397	331,821	334,069
修繕・工事費	152,200	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	282,598	145,242	176,397	331,821	334,069

※光熱水費は医師住宅 A と B の合算

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	診療所の勤務医師が利用するため、光熱水費については診療所が負担している。
施設状況(躯体)	状態としては特に問題なし。
施設状況(躯体以外)	ガレージが老朽化により開閉不可。
現状・課題	特になし。

### (3) 医療保健職員住宅(A棟)

#### ① 施設の概要

施設名称	医療保健職員住宅(A棟)		
所在地	笛吹郷 2698-3 / 宮崎町	所管課	総務課
施設分類	医療・保健施設	構造	木造 / 1階
建築年度	平成 23 年(2011 年)	建築費	10,999,000 円
耐用年数	22 年	目標使用年数	60 年
延床面積	62.1 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	住宅	避難所	—
付帯施設			
外観			

#### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	良好。
施設状況(躯体)	良好。
施設状況(躯体以外)	なし。
現状・課題	なし。

#### (4) 医療保健職員住宅(B棟)

##### ① 施設の概要

施設名称	医療保健職員住宅(B棟)		
所在地	笛吹郷 2698-3 / 宮崎町	所管課	総務課
施設分類	医療・保健施設	構造	木造 / 1階
建築年	平成 23 年(2011 年)	建築費	10,999,000 円
耐用年数	22 年	目標使用年数	60 年
延床面積	62.1 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	住宅	避難所	—
付帯施設			
外観			

##### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	199,800	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	199,800	0

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
	なし	

⑤利用状況と課題

利用状況	良好。
施設状況(躯体)	良好。
施設状況(躯体以外)	なし。
現状・課題	なし。

(5) 医療保健職員住宅(C棟)

① 施設の概要

施設名称	医療保健職員住宅(C棟)		
所在地	笛吹郷 2698-3 / 宮崎町	所管課	総務課
施設分類	医療・保健施設	構造	木造 / 1階
建築年度	平成 23 年(2011 年)	建築費	10,999,000 円
耐用年数	22 年	目標使用年数	60 年
延床面積	62.1 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	住宅	避難所	—
付帯施設			
外観			

② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	9,720	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	9,720	0

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	良好。
施設状況(躯体)	良好。
施設状況(躯体以外)	なし。
現状・課題	なし。

(6) 医療保健職員住宅(D棟)

① 施設の概要

施設名称	医療保健職員住宅(D棟)		
所在地	笛吹郷 2698-3 / 宮崎町	所管課	総務課
施設分類	医療・保健施設	構造	木造 / 1階
建築年度	平成 23 年(2011 年)	建築費	10,999,000 円
耐用年数	22 年	目標使用年数	60 年
延床面積	62.1 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	住宅	避難所	—
付帯施設			
外観			

② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	良好。
施設状況(躯体)	良好。
施設状況(躯体以外)	なし。
現状・課題	なし。

## (7) 診療所

### ① 施設の概要

施設名称	診療所		
所在地	笛吹郷 1757-8 / 宮崎町	所管課	診療所
施設分類	医療・保健施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 2階
建築年度	昭和 59 年(1984 年)	建築費	230,808,000 円
耐用年数	39 年	目標使用年数	80 年
延床面積	1,236.5 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	診療所	避難所	—
付帯施設	・同建物内に健康管理センターあり		
外観			

### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	18,635 人	18,362 人	16,677 人	16,540 人	17,017 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

### ③ 維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	3,822,134	3,707,690	4,168,899	3,855,995	3,377,965
修繕・工事費	1,125,185	410,285	1,366,826	714,473	347,984
委託費	692,940	692,940	692,940	692,940	702,582
合計	5,640,259	4,810,915	6,228,665	5,263,408	4,428,531

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 27 年	高圧受電設備修理	511,920
平成 29 年	厨房給湯器修理	518,400

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	地域住民にとって無くてはならない重要な医療機関として、多くの方が診療外来や入院等で利用されている。
施設状況(躯体)	小値賀診療所は、昭和 59 年度に開設され 35 年が経過し、雨漏りや塩害によるコンクリートの爆裂なども目立ってきており、老朽化が進み深刻な状態となっている。
施設状況(躯体以外)	給排水施設改修工事やCT室増設などの改修を行ってきたが、施設内には段差があり、またトイレの洋式化が一部に留まるなど、高齢者等にやさしい施設とはなっていない。
現状・課題	当診療所は島の医療機関として地域医療の中心担ってきており、その役割は極めて重要である。 施設の維持更新が求められる中、将来にわたり島内唯一の医療機関として島民に安心して安全な利用を提供できる新診療所の建設に向けて建築工事に取り組んでいる。

## (8) 健康管理センター

### ① 施設の概要

施設名称	健康管理センター		
所在地	笛吹郷 1757-8 / 宮崎町	所管課	住民課
施設分類	医療・保健施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 2 階
建築年度	昭和 59 年 (1984 年)	建築費	37,007,000 円
耐用年数	50 年	目標使用年数	80 年
延床面積	475.86 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	町民の健康管理、指導	避難所	-
付帯施設			
外観			

### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	1,197 人	697 人	600 人	516 人	267 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15
稼働日数	243 日	243 日	244 日	244 日	240 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

### ③ 維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	395,710	374,310	415,804	371,638	324,979
修繕・工事費	10,100	63,720	159,066	0	17,800
委託費	409,005	436,080	437,005	431,706	395,768
合計	814,815	874,110	1,011,875	803,344	738,547

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	乳児や児童等、子どもの予防接種、妊婦相談、健康教室等。 健康増進に係る講演会等。
施設状況(躯体)	塩害の影響か、事務室や和室等の窓が開かない。
施設状況(躯体以外)	湿気等によるカビがひどく、腐食して棚が崩れたりしている。 令和2年度に実施した定期点検の際に老朽化により空調の修繕が必要であると診断を受けた。
現状・課題	換気扇等に鳥が巣を作り糞害もひどく衛生上も好ましくないため、防護柵をつけるか塞いでしまうかの措置が必要。2階建てで、エレベーター等もなく、体に障害がある人にとっては利用しづらいため、バリアフリー化が必要。空調も老朽化している。

### (3) 消防施設

#### (1) 斑在消防詰所

##### ① 施設の概要

施設名称	斑在消防詰所		
所在地	班島郷 859 / 斑在	所管課	総務課
施設分類	消防・防災施設	構造	無筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	昭和 14 年 (1939 年)	建築費	100,000 円
耐用年数	34 年	目標使用年数	90 年
延床面積	17.39 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	消防防災施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

##### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	—	—	13,161	13,368	13,408
修繕・工事費	—	—	0	0	0
委託費	—	—	0	0	0
合計	—	—	13,161	13,368	13,408

※平成28年度以前は分団詰所ごとに予算化されておらず、消防施設費として予算が1本化されていたため、各分団詰所の維持・管理費用について算出ができない。

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

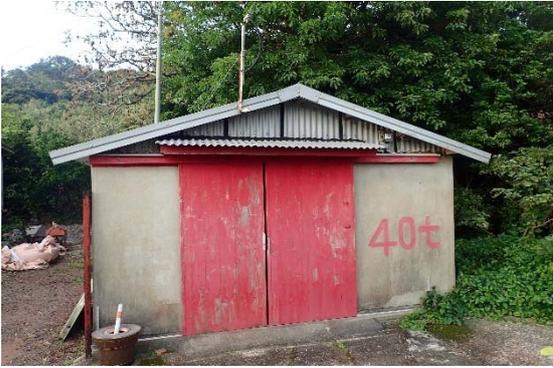
実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	斑自衛消防隊が消防活殿の拠点として使用している。 消防活動に必要な資機材を格納している施設であることから、斑地区に必要不可欠な施設である。
施設状況(躯体)	躯体に問題はみられない。
施設状況(躯体以外)	躯体以外にも問題はみられない。
現状・課題	昭和56年の新耐震基準以前に建築されている。 斑地区の防災拠点として重要な役割を果たしているため、今後も施設を維持管理していきながら、施設の大規模な改修や修繕等については、地域の実情に合わせ検討していく必要がある。

## (2)大島消防詰所

### ①施設の概要

施設名称	大島消防詰所		
所在地	大島郷 102-2／大島	所管課	総務課
施設分類	消防・防災施設	構造	木造／1階
建築年度	昭和 14 年(1939 年)	建築費	95,000 円
耐用年数	17 年	目標使用年数	90 年
延床面積	25.76 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	消防防災施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	—	—	—	—	—
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

### ③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	—	—	3,710	3,696	3,816
修繕・工事費	—	—	0	0	0
委託費	—	—	0	0	0
合計	—	—	3,710	3,696	3,816

※平成28年度以前は分団詰所ごとに予算化されておらず、消防施設費として予算が1本化されていたため、各分団詰所の維持・管理費用について算出ができない。

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	大島自衛消防隊が消防活動の拠点として使用している。 消防活動に必要な資機材を格納している施設であることから、大島地区に必要不可欠な施設である。
施設状況(躯体)	躯体に問題はみられない。
施設状況(躯体以外)	躯体以外に問題はみられない。
現状・課題	昭和56年の新耐震基準以前に建築されている。 二次離島である大島地区の防災拠点として、重要な役割を果たしているため、今後も施設を維持管理していきながら、大規模な改修や修繕等については、地域の実情に合わせ検討していく必要がある。

### (3) 納島消防詰所

#### ① 施設の概要

施設名称	納島消防詰所		
所在地	納島郷 59 / 納島	所管課	総務課
施設分類	消防・防災施設	構造	木造 / 1 階
建築年度	昭和 14 年 (1939 年)	建築費	95,000 円
耐用年数	17 年	目標使用年数	90 年
延床面積	36.74 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	消防防災施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

#### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

#### ③ 維持・管理費用

(単位: 円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	—	—	2,372	2,489	2,500
修繕・工事費	—	—	0	0	0
委託費	—	—	0	0	0
合計	—	—	2,372	2,489	2,500

※平成28年度以前は分団詰所ごとに予算化されておらず、消防施設費として予算が1本化されていたため、各分団詰所の維持・管理費用について算出ができない。

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	納島自衛消防隊が消防活動の拠点として使用している。 消防活動に必要な資機材を格納している施設であることから、納島地区に必要不可欠な施設である。
施設状況(躯体)	令和2年9月の台風9号、台風10号により屋根や外壁に損傷がみられるため修繕が必要である。
施設状況(躯体以外)	令和2年9月の台風9号、台風10号により詰所のシャッターが破損したため、修繕が必要である。
現状・課題	昭和56年の新耐震基準以前に建築されている。 令和2年9月の台風9号、台風10号により施設が被害を受けており、修繕が必要な状態である。二次離島である納島地区の消防拠点として重要な役割を果たしているため、今後も施設を維持管理していきながら、大規模な改修や修繕等については、地域の実情に合わせ検討していく必要がある。

#### (4) 第1分団消防詰所

##### ① 施設の概要

施設名称	第1分団消防詰所		
所在地	笛吹郷 1951-18 / 木下町	所管課	総務課
施設分類	消防・防災施設	構造	木造 / 1階
建築年度	昭和53年(1978年)	建築費	2,300,000円
耐用年数	17年	目標使用年数	60年
延床面積	55.12 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	消防防災施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

##### ② 利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	40件	40件	40件	40件	40件
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365日	366日	365日	365日	365日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

##### ③ 維持・管理費用

(単位:円)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
光熱水費	—	—	63,952	66,233	65,657
修繕・工事費	—	—	0	43,200	0
委託費	—	—	0	0	0
合計	—	—	63,952	109,433	65,657

※平成28年度以前は分団詰所ごとに予算化されておらず、消防施設費として予算が1本化されていたため、各分団詰所の維持・管理費用について算出ができない。

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 20 年	詰所屋根改修工事	1,401,750 円

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	第1分団所属の消防団員が、消防活動の拠点として使用している。 消防活動に必要な資機材等を格納している施設であることから、地域に必要不可欠な施設である。
施設状況(躯体)	平成 20 年度に屋根改修工事を行っている。
施設状況(躯体以外)	軽微な修繕を実施しつつ施設を維持、管理している。令和2年度にシャッターを更新した。
現状・課題	昭和56年の新耐震基準以前に建築されている。 地域の防災拠点として重要な役割を果たしており、今後も施設を維持管理していく必要がある。また、施設の大規模な改修や修繕等については、地域の実情に合わせ検討していく。

## (5) 第2分団消防詰所

### ① 施設の概要

施設名称	第2分団消防詰所		
所在地	笛吹郷 1537-78 / 浦町	所管課	総務課
施設分類	消防・防災施設	構造	木造 / 2階
建築年度	昭和49年度(1974年)	建築費	2,300,000円
耐用年数	17年	目標使用年数	60年
延床面積	54㎡(1階27㎡、2階27㎡)	耐震化	—
設置目的・役割	消防防災施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

### ② 利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	40件	40件	40件	40件	40件
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365日	366日	365日	365日	365日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

### ③ 維持・管理費用

(単位:円)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
光熱水費	—	—	52,332	53,104	53,222
修繕・工事費	—	—	0	0	0
委託費	—	—	0	0	0
合計	—	—	52,332	53,104	53,222

※平成28年度以前は分団詰所ごとに予算化されておらず、消防施設費として予算が1本化されていたため、各分団詰所の維持・管理費用について算出ができない。

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	第2分団所属の消防団員が、消防活動の拠点として使用している。消防活動に必要な資機材等を格納している施設であることから、地域に必要不可欠な施設である。
施設状況(躯体)	大規模な修繕は行っていないが、軽微な修繕を実施しつつ施設を維持管理している。
施設状況(躯体以外)	シャッターとその戸袋が錆びており、経過観察していく。
現状・課題	昭和56年の新耐震基準以前に建築されている。 2階建ての施設であり、1階はポンプ車等の格納スペース、2階は団員の待機スペースとなっている。地域の防災拠点として重要な役割を果たしているが、施設の立地条件が芳しくないため、今後施設の維持管理について、施設の移設を含め地域の実情に合わせ検討していく必要がある。

## (6) 第 3 分団消防詰所

### ①施設の概要

施設名称	第 3 分団消防詰所		
所在地	笛吹郷 1446-4 / 笛吹在	所管課	総務課
施設分類	消防・防災施設	構造	木造 / 1 階
建築年度	昭和 59 年 (1984 年)	建築費	4,282,000 円
耐用年数	17 年	目標使用年数	60 年
延床面積	50.5 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	消防防災施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	40 件	40 件	40 件	40 件	40 件
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

※令和元年度より第 10 分団と合併

### ③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	—	—	41,010	40,192	63,393
修繕・工事費	—	—	0	0	0
委託費	—	—	0	0	0
合計	—	—	41,010	40,192	63,393

※平成28年度以前は分団詰所ごとに予算化されておらず、消防施設費として予算が1本化されていたため、各分団詰所の維持・管理費用について算出ができない

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	第3分団所属の消防団員が、消防活動の拠点として使用している。 消防活動に必要な資機材等を格納している施設であることから、地域に必要不可欠な施設である。
施設状況(躯体)	大規模な修繕は行っていないが、軽微な修繕を実施しつつ施設を維持管理している。
施設状況(躯体以外)	シャッターとその戸袋に経年劣化による錆のため更新等を検討する必要がある。
現状・課題	旧10分団と合併した平成31年4月以降、年末警戒等の消防活動の際は当該施設を拠点として使用している。 地域の防災拠点として重要な役割を果たしており、今後も施設を維持管理していく必要がある。また、施設の大規模な改修や修繕等については、地域の実情に合わせ検討していく。

(7) 第4分団消防詰所

① 施設の概要

施設名称	第4分団消防詰所		
所在地	中村郷 502-6 / 中村	所管課	総務課
施設分類	消防・防災施設	構造	木造 / 1階
建築年度	昭和62年(1987年)	建築費	5,000,000円
耐用年数	17年	目標使用年数	60年
延床面積	51㎡	耐震化	○
設置目的・役割	消防防災施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

② 利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	40件	40件	40件	40件	40件
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365日	366日	365日	365日	365日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③ 維持・管理費用

(単位:円)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
光熱水費	—	—	47,636	48,973	48,584
修繕・工事費	—	—	0	0	0
委託費	—	—	0	0	0
合計	—	—	47,636	48,973	48,584

※平成28年度以前は分団詰所ごとに予算化されておらず、消防施設費として予算が1本化されていたため、各分団詰所の維持・管理費用について算出ができない

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	第4分団所属の消防団員が、消防活動の拠点として使用している。消防活動に必要な資機材等を格納している施設であることから、地域に必要不可欠な施設である。
施設状況(躯体)	大規模な修繕は行っていないが、軽微な修繕を実施しつつ施設を維持管理している。
施設状況(躯体以外)	床下換気口(施設正面)のカバーが外れている。また、施設裏の <sup>ひし</sup> 庇が腐食しているため修繕が必要である。
現状・課題	地域の防災拠点として重要な役割を果たしており、今後も施設を維持管理していく必要がある。また、施設の大規模な改修や修繕等については、地域の実情に合わせ検討していく。

(8) 第5分団消防詰所

① 施設の概要

施設名称	第5分団消防詰所		
所在地	柳郷 680-1 / 柳	所管課	総務課
施設分類	消防・防災施設	構造	木造 / 1階
建築年度	昭和58年(1983年)	建築費	4,550,000円
耐用年数	17年	目標使用年数	60年
延床面積	50.36 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	消防防災施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

② 利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	40件	40件	40件	40件	40件
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365日	366日	365日	365日	365日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③ 維持・管理費用

(単位:円)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
光熱水費	—	—	41,091	45,617	53,273
修繕・工事費	—	—	0	0	0
委託費	—	—	0	0	0
合計	—	—	41,091	45,617	53,273

※平成28年度以前は分団詰所ごとに予算化されておらず、消防施設費として予算が1本化されていたため、各分団詰所の維持・管理費用について算出ができない。

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	第5分団所属の消防団員が、消防活動の拠点として使用している。消防活動に必要な資機材等を格納している施設であることから、地域に必要不可欠な施設である。
施設状況(躯体)	外壁が全体的に薄くなっており、一部に破損がみられるため修繕が必要である。
施設状況(躯体以外)	大規模な修繕は行っていないが、軽微な修繕を実施しつつ施設を維持管理している。
現状・課題	地域の防災拠点として重要な役割を果たしており、今後も施設を維持管理していく必要がある。また、施設の大規模な改修や修繕については、地域の実情に合わせ検討していく。

## (9) 第6分団消防詰所

### ① 施設の概要

施設名称	第6分団消防詰所		
所在地	浜津郷 242-3 / 浜津	所管課	総務課
施設分類	消防・防災施設	構造	木造
建築年度	昭和55年(1980年)	建築費	5,189,000円
耐用年数	17年	目標使用年数	60年
延床面積	42.88㎡	耐震化	—
設置目的・役割	消防防災施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

### ② 利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	40件	40件	40件	40件	40件
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365日	366日	365日	365日	365日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

### ③ 維持・管理費用

(単位:円)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
光熱水費	—	—	74,528	36,944	36,032
修繕・工事費	—	—	0	10,800	500
委託費	—	—	0	0	0
合計	—	—	74,528	47,744	36,532

※平成28年度以前は分団詰所ごとに予算化されておらず、消防施設費として予算が1本化されていたため、各分団詰所の維持・管理費用について算出ができない。平成29年度の光熱水費には畑管水道料が含まれている

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	第6分団所属の消防団員が、消防活動の拠点として使用している。 消防活動に必要な資機材等を格納している施設であることから、地域に必要不可欠な施設である。
施設状況(躯体)	大規模な修繕は行っていないが、軽微な修繕を実施しつつ施設を維持管理している。
施設状況(躯体以外)	西側通路に地盤沈下がみられる。また畳についても張替えの時期にきており対応が必要である。
現状・課題	昭和56年の新耐震基準以前に建築されている。 地域の防災拠点として重要な役割を果たしており、今後も地域に必要な施設である。また、施設の移設も含め大規模な改修や修繕等については、地域の実情に合わせ検討していく。 【令和2年度老朽化調査実施】

## (10)第7分団消防詰所

### ①施設の概要

施設名称	第7分団消防詰所		
所在地	前方郷 3902-2/相津	所管課	総務課
施設分類	消防・防災施設	構造	木造/1階
建築年度	昭和56年(1981年)	建築費	4,200,000円
耐用年数	17年	目標使用年数	60年
延床面積	50.36㎡	耐震化	○
設置目的・役割	消防防災施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

### ②利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	40件	40件	40件	40件	40件
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365日	366日	365日	365日	365日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

### ③維持・管理費用

(単位:円)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
光熱水費	—	—	28,880	29,765	30,106
修繕・工事費	—	—	0	19,440	0
委託費	—	—	0	0	0
合計	—	—	28,880	49,205	30,106

※平成28年度以前は分団詰所ごとに予算化されておらず、消防施設費として予算が1本化されていたため、各分団詰所の維持・管理費用について算出ができない。

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	第7分団所属の消防団員が、消防活動の拠点として使用している。消防活動に必要な資機材等を格納している施設であることから、地域に必要不可欠な施設である。
施設状況(躯体)	大規模な修繕は行っていないが、軽微な修繕を実施しつつ施設を維持管理している。
施設状況(躯体以外)	西側の縦樋が経年劣化により破損しているため修繕が必要である。また、西側の窓がひび割れており、更新が必要となっている。
現状・課題	地域の防災拠点として重要な役割を果たしており、今後も施設を維持管理していく必要がある。また、施設の大規模な改修や修繕については、地域の実情に合わせ検討していく。

(11)第8分団消防詰所

①施設の概要

施設名称	第8分団消防詰所		
所在地	前方郷 3641-1 / 前方後目	所管課	総務課
施設分類	消防・防災施設	構造	木造 / 1階
建築年度	平成14年(1939年)	建築費	8,295,000円
耐用年数	17年	目標使用年数	60年
延床面積	65.09 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	消防防災施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

②利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	40件	40件	40件	40件	40件
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365日	366日	365日	365日	365日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

※平成29年度より第9分団と合併

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
光熱水費	—	—	64,128	61,880	62,289
修繕・工事費	—	—	0	0	0
委託費	—	—	0	0	0
合計	—	—	64,128	61,880	62,289

※平成28年度以前は分団詰所ごとに予算化されておらず、消防施設費として予算が1本化されていたため、各分団詰所の維持・管理費用について算出ができない。

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	第8分団所属の消防団員が、消防活動の拠点として使用している。 消防活動に必要な資機材等を格納している施設であることから、地域に必要不可欠な施設である。
施設状況(躯体)	大規模な修繕は行っていないが、軽微な修繕を実施しつつ施設を維持管理している。
施設状況(躯体以外)	大規模な修繕は行っていないが、軽微な修繕を実施しつつ施設を維持管理している。
現状・課題	旧9分団と合併した平成29年4月以降、年末警戒等の消防活動の際は当該施設を拠点として使用している。 地域の防災拠点として重要な役割を果たしており、今後も施設を維持管理していく必要がある。また、施設の大規模な改修や修繕等については、地域の実情に合わせ検討していく。

(12)第9分団消防詰所

①施設の概要

施設名称	第9分団消防詰所		
所在地	前方郷 2499-2/唐見崎	所管課	総務課
施設分類	消防・防災施設	構造	木造/1階
建築年度	昭和58年(1983年)	建築費	4,550,000円
耐用年数	17年	目標使用年数	60年
延床面積	32.6㎡	耐震化	○
設置目的・役割	消防防災施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

②利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	40件	40件	40件	40件	40件
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365日	366日	365日	365日	365日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

※平成29年度より第8分団と合併

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
光熱水費	—	—	15,540	15,540	15,590
修繕・工事費	—	—	0	0	0
委託費	—	—	0	0	0
合計	—	—	15,540	15,540	15,590

※平成28年度以前は分団詰所ごとに予算化されておらず、消防施設費として予算が1本化されていたため、各分団詰所の維持・管理費用について算出ができない

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	旧9分団所属の消防団員が消防活動の拠点として使用している。 消防活動に必要な資機材等を格納している施設であることから、地域に必要不可欠な施設である。
施設状況(躯体)	経年劣化により外壁が一部破損しているため修繕が必要である。
施設状況(躯体以外)	施設南側の雨戸とその戸袋が破損しているため修繕が必要である。
現状・課題	平成29年4月から第8分団と合併しているが、地域(主に唐見崎)の防災拠点としての役割を果たしており、今後も施設を維持管理していく必要がある。また、施設の大規模な改修や修繕については、地域の実情に合わせ検討していく。

### (13)第 10 分団消防詰所

#### ①施設の概要

施設名称	第 10 分団消防詰所		
所在地	笛吹郷 594-1 / 大浦	所管課	総務課
施設分類	消防・防災施設	構造	木造 / 1 階
建築年度	昭和 54 年 (1979 年)	建築費	3,546,000 円
耐用年数	17 年	目標使用年数	60 年
延床面積	42.87 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	消防防災施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

#### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	40 件	40 件	40 件	40 件	40 件
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

※令和元年度より第 3 分団と合併

#### ③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	—	—	47,245	48,627	28,590
修繕・工事費	—	—	0	0	0
委託費	—	—	0	0	0
合計	—	—	47,245	48,627	28,590

※平成28年度以前は分団詰所ごとに予算化されておらず、消防施設費として予算が1本化されていたため、各分団詰所の維持・管理費用について算出ができない。

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	旧10分団所属の消防団員が、消防活動の拠点として使用している。消防活動に必要な資機材等を格納している施設であることから、地域に必要不可欠な施設である。
施設状況(躯体)	大規模な修繕は行っていないが、軽微な修繕を実施しつつ施設を維持管理している。
施設状況(躯体以外)	シャッターが劣化しているため更新を検討する必要がある。
現状・課題	昭和56年の新耐震基準以前に建築されている。 平成31年4月から第3分団と合併しているが、旧10分団の消防車両や資機材を格納している。地域(主に大浦地区)の防災拠点としての役割を果たしており、今後も施設を維持管理していく必要がある。また、施設の大規模な改修や修繕については、地域の実情に合わせ検討していく。

(14)第1分団消防詰所トイレ

①施設の概要

施設名称	第1分団消防詰所トイレ		
所在地	笛吹郷 1951-18/木下町	所管課	総務課
施設分類	消防・防災施設	構造	鉄筋コンクリート造/1階
建築年度	平成8年(1996年)	建築費	1,648,000円
耐用年数	38年	目標使用年数	80年
延床面積	3㎡	耐震化	○
設置目的・役割	公衆トイレ	避難所	—
付帯施設			
外観			

②利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365日	366日	365日	365日	365日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
光熱水費	—	—	12,960	12,960	13,000
修繕・工事費	—	—	0	0	0
委託費	—	—	0	0	0
合計	—	—	12,960	12,960	13,000

※平成28年度以前は分団詰所ごとに予算化されておらず、消防施設費として予算が1本化されていたため、各分団詰所の維持・管理費用について算出ができない。

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	公園の前に設置されていることもあり、多くの人々が利用している。
施設状況(躯体)	軽微な修繕を実施しつつ施設を維持管理している。
施設状況(躯体以外)	一部窓が割れているため修繕が必要である。
現状・課題	施行から20年以上経過し、利用価値も高いことから、老朽化対策や長寿命化対策を適切に実施していく必要がある。

## (4) 福祉施設

### (1) こども園舎

#### ① 施設の概要

施設名称	こども園舎		
所在地	笛吹郷 2461-3 / 松香丘	所管課	福祉事務所
施設分類	こども園	構造	鉄筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	平成 5 年 (1993 年)	建築費	226,984,000 円
耐用年数	47 年	目標使用年数	80 年
延床面積	681 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	こども園	避難所	—
付帯施設	・倉庫 平成 5 年 35 m <sup>2</sup> ・グラウンド体育倉庫 平成 3 年 10 m <sup>2</sup>		
外観			

#### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	804 人	884 人	925 人	776 人	815 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	7:30~18:30	7:30~18:30	7:30~18:30	7:30~18:30	7:30~18:30
稼働日数	283 日	283 日	293 日	289 日	285 日
稼働率	77.5%	77.5%	80.3%	79.2%	78.1%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	2,025,965	2,143,205	2,165,721	1,706,208	1,917,844
修繕・工事費	527,630	362,464	576,348	1,830,384	554,324
委託費	0	0	0	0	0
合計	2,553,595	2,505,669	2,742,069	3,536,592	2,472,168

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 30 年	高圧受電設備取替	1,728,000 円
平成 30 年	屋根の修繕	23,387,400 円
平成 31 年	空調設備、内装の修繕	41,676,120 円

⑤利用状況と課題

利用状況	幼保連携型認定こども園を運営中。
施設状況(躯体)	H29 公共施設老朽化調査実施済。指摘事項については、全て H30～R1 での改修により改善されている。
施設状況(躯体以外)	高圧受電設備の土台コンクリが完全に割れている。中の設備更新は完了しており緊急ではないが、今後対応が必要。
現状・課題	平成 30 年～令和元年に屋根・空調・内装の大規模改修を行っている。 今後は水回り等の修繕がでてくるとされる。 【平成 29 年度老朽化調査実施】

## (2) 白浜海水浴場関連施設(シャワー室・トイレ)

### ①施設の概要

施設名称	白浜海水浴場関連施設(シャワー室・トイレ)		
所在地	浜津郷 1767-2 / 浜津後目	所管課	福祉事務所
施設分類	児童福祉施設	構造	木造 / 1階
建築年度	平成 13 年(2001 年)	建築費	4,755,450 円
耐用年数	22 年	目標使用年数	60 年
延床面積	43.38 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	公衆トイレ、シャワー	避難所	—
付帯施設	・あずま屋 平成 13 年 23.04 m <sup>2</sup>		
外観			

### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	不明	不明	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365 日	366 日	0 日	0 日	0 日
稼働率	100%	100%	0%	0%	0%

### ③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	2,810	2,580	1,290	5,530	3,880
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	2,810	2,580	1,290	5,530	3,880

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	砂浜自体は全く利用者がいないわけではないが、利用者も少ないことから、浜津地区と協議のうえ平成 29 年より施錠しており、開放していない。(管理棟横の水道のみ夏場は開栓)
施設状況(躯体)	海岸にあるため、金属部分を中心に痛みが激しい。扉も 6 つ全てが開かなかったりノブが取れていたりと使用できる状態にない。扉以外の部分については酷い劣化は見られない。
施設状況(躯体以外)	海岸一斉清掃時に地区住民が草刈等しているのみ。
現状・課題	今後、再整備を行うのか、利用見込みがないとのことで撤去等するか地区とも協議しながら検討していく必要がある。

### (3)小値賀町地域福祉センター

#### ①施設の概要

施設名称	小値賀町地域福祉センター		
所在地	笛吹郷 2367 / 宮崎町	所管課	福祉事務所
施設分類	老人福祉施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 2 階
建築年度	平成 6 年度 (1994 年)	建築費	523,240,000 円
耐用年数	47 年	目標使用年数	80 年
延床面積	1967.64 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	地域福祉センター	避難所	○
付帯施設	・プロパン庫 平成 6 年 12.44 m <sup>2</sup>		
外観			

#### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	7,265 人	6,789 人	5,440 人	4,765 人	5,382 人
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	8:30~17:30	8:30~17:30	8:30~17:30	8:30~17:30	8:30~17:30
稼働日数	364 日	363 日	363 日	363 日	364 日
稼働率	99.7%	99.5%	99.5%	99.5%	99.7%

#### ③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	212,652	121,000
委託費	2,277,000	2,637,000	2,593,000	2,724,000	3,435,000
合計	2,277,000	2,637,000	2,593,000	2,936,652	3,556,000

※光熱水費・軽微な修繕は指定管理者が支弁

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 21 年	高圧気中開閉器取替	693,000 円
平成 23 年	特殊浴(機械浴)設備改修工事	8,610,000 円
平成 23 年	空調設備改修工事	1,669,500 円
平成 26 年	エレベーター改修工事	8,964,000 円
平成 30 年	浴室・空調・照明修繕	67,250,520 円
平成 31 年	外壁、トイレ改修工事	34,841,400 円

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	デイサービスでの利用を除くと、H27・829 人、H28・859 人、H29・1,068 人、H30・881 人、R1・538 人となっている。小値賀町社会福祉協議会に管理を委託している(~R2)。
施設状況(躯体)	H29 公共施設老朽化調査実施済。修繕が必要な箇所については H30 ~R2 の大規模改修で修繕済み。
施設状況(躯体以外)	躯体以外の設備については、劣化・故障した物から修繕をしている。
現状・課題	ボイラー等、建築以来修繕や取替をしていない部分については劣化が進んでおり、軽微な故障も頻発している。 【平成 29 年度老朽化調査実施】

#### (4)小値賀町高齢者生活福祉センター(たんぽぽ荘)

##### ①施設の概要

施設名称	小値賀町高齢者生活福祉センター(たんぽぽ荘)		
所在地	笛吹郷 2368-2 / 宮崎町	所管課	福祉事務所
施設分類	老人福祉施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 2階
建築年度	平成13年(2001年)	建築費	160,627,929円
耐用年数	47年	目標使用年数	80年
延床面積	966.6 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	生活支援ハウス	避難所	—
付帯施設			
外観			

##### ②利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	7,012人	6,573人	6,436人	6,581人	6,216人
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	して管理
運営時間	24時間	24時間	24時間	24時間	24時間
稼働日数	365日	366日	365日	365日	365日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

※光熱水費・軽微な修繕は指定管理者が支弁

##### ③維持・管理費用

(単位:円)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	271,728	576,548
委託費	3,910,000	3,910,000	3,910,000	3,910,000	3,910,000
合計	3,910,000	3,910,000	3,910,000	4,181,728	4,486,548

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	生活支援ハウスとして運営。小値賀町社会福祉協議会が管理を委託している(～R2)。
施設状況(躯体)	R1 公共施設老朽化調査実施済。細かい汚れや痛みはあるが、早急に修繕等対応が必要な部分はない。
施設状況(躯体以外)	空調やボイラー、エレベーター等に故障が増えており、故障したものから修繕や取替をしている状況。
現状・課題	外壁等はまだしばらく問題ないと老朽化調査の際に報告を受けているが、内部については空調の劣化や機器の故障等が頻発している。 【令和元年度老朽化調査実施】

## (5) 前方ふれあい館

### ① 施設の概要

施設名称	前方ふれあい館		
所在地	前方郷 3643-1 / 前方後目	所管課	福祉事務所
施設分類	老人福祉施設	構造	木造
建築年度	平成 13 年(2001 年)	建築費	31,343,000 円
耐用年数	22 年	目標使用年数	60 年
延床面積	114.13 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	介護予防拠点	避難所	○
付帯施設			
外観			

### ② 利用状況（土日祝日・12/29～1/3 は休館日）

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	318 人	306 人	253 人	216 人	215 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	24 日	23 日	22 日	23 日	24 日
稼働率	6.6%	6.3%	6.0%	6.3%	6.6%

### ③ 維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	0	299,000
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

※光熱水費は介護予防サービスの委託団体が支弁

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	平日のみ開館。直営ではあるが、介護予防事業で社協が 2 週に 1 回利用している以外は利用がほとんどないため、光熱水費等は社協が負担している。その他に、選挙の投票所や災害時の指定避難場所として利用している。
施設状況(躯体)	水回り等で劣化による破損もあったが、修繕済み。
施設状況(躯体以外)	施設周囲の側溝蓋がない。
現状・課題	早急に修繕が必要な部分はない。災害時等にも利用する施設であるので、細かい部分についても修繕を行っていく。

## (6)大島和楽苑

### ①施設の概要

施設名称	大島和楽苑		
所在地	大島郷 4-1 / 大島	所管課	福祉事務所
施設分類	老人福祉施設	構造	木造 / 1 階
建築年度	平成 12 年 (2000 年)	建築費	18,979,800 円
耐用年数	22 年	目標使用年数	60 年
延床面積	95.2 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	介護予防拠点	避難所	—
付帯施設			
外観			

### ②利用状況（土日祝日・12/29～1/3 は休館日）

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	397 人	463 人	342 人	255 人	250 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	57 日	58 日	43 日	34 日	34 日
稼働率	15.6%	15.9%	11.8%	9.3%	9.3%

### ③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

※光熱水費は介護予防サービスの委託団体が支弁

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	直営ではあるが、介護予防事業で社協が 2 週に 1 回利用しており、光熱水費等は社協が負担している。また、月に 1 回離島往診でも使用している。
施設状況(躯体)	修繕が必要なほどの劣化はほとんど見られない。
施設状況(躯体以外)	修繕が必要なほどの劣化はほとんど見られない。
現状・課題	早急に修繕が必要な部分はない。今後大島地区の住民の減少に伴い利用人数も減少することが見込まれている。

## (5) 衛生・清掃施設

### (1) 小値賀町葬斎場

#### ① 施設の概要

施設名称	小値賀町葬斎場		
所在地	笛吹郷 885 / 笛吹在	所管課	建設課
施設分類	衛生施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	平成 3 年 (1991 年)	建築費	209,290,000 円
耐用年数	50 年	目標使用年数	80 年
延床面積	547 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	火葬、改葬、告別式、通夜会場	避難所	—
付帯施設	・霊灰塔 平成 3 年 6 m <sup>2</sup>		
外観			

#### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	58 件	63 件	67 件	55 件	72 件
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00
稼働日数	58 日	63 日	67 日	55 日	72 日
稼働率	15.9%	17.2%	18.4%	15.1%	19.7%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	642,129	677,488	487,389	380,221	290,240
修繕・工事費	803,819	1,304,880	3,108,300	2,799,360	2,907,440
委託費	385,560	385,560	385,560	385,560	387,480
合計	1,831,508	2,367,928	3,981,249	3,565,141	3,585,160

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成29年	葬斎場補修工事(誘引送風機、火葬台車)	2,949,000 円
平成30年	葬斎場設備修繕工事(ろ号炉耐火物、No.1 キアポンプユニット)	1,942,000 円
令和元年	葬斎場設備修繕工事(い号炉耐火物)	1,585,000 円

⑤利用状況と課題

利用状況	島内唯一の火葬場として利用。近年は、町民の高齢化により通夜使用が増加傾向にある。
施設状況(躯体)	経年劣化による老朽化により、雨漏りが見受けられる。
施設状況(躯体以外)	経年劣化により、機器の故障が多発しており、修繕費用が膨らんでいる。
現状・課題	令和元年度に老朽化調査を行い、その結果に基づいて修繕工事を計している。 【令和元年度老朽化調査実施】

## (2)小値賀町ごみ焼却場

### ①施設の概要

施設名称	小値賀町ごみ焼却場		
所在地	笛吹郷 57 / 笛吹在	所管課	建設課
施設分類	清掃施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 2 階
建築年度	平成 4 年 (1992 年)	建築費	456,000,000 円
耐用年数	38 年	目標使用年数	80 年
延床面積	451.68 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	可燃ごみの焼却	避難所	—
付帯施設	・排ガス処理設備室棟 平成 11 年 34.78 m <sup>2</sup> ・車庫 平成 4 年 24.5 m <sup>2</sup>		
外観			

### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	2,611 人	2,543 人	2,468 人	2,401 人	2,342 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00
稼働日数	316 日	286 日	336 日	329 日	315 日
稼働率	86.5%	78.3%	92.1%	90.1%	86.3%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	3,293,452	4,843,733	4,946,212	5,162,606	5,041,111
修繕・工事費	4,159,404	42,003,938	2,060,834	4,942,286	6,364,863
委託費	3,342,600	3,638,520	3,409,560	4,176,360	3,650,560
合計	10,795,456	50,486,191	10,416,606	14,281,252	15,056,534

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成27年	ごみ焼却場ガス冷却水加圧ポンプ補修	1,566,000 円
平成28年	ごみ焼却場大規模改修工事	39,280,000 円
平成30年	焼却場排ガス設備修繕工事	3,456,000 円
令和元年	ごみ焼却場温度調整用空気予熱器補修工事	5,104,000 円

⑤利用状況と課題

利用状況	島内唯一の、可燃ごみ焼却場として利用。
施設状況(躯体)	建年劣化による老朽化により、雨漏りが見受けられる。
施設状況(躯体以外)	経年劣化による、機器の故障が多発しており、修繕費用が膨らんでいる。
現状・課題	施設の大規模改修や新設には、多大の時間及び費用がかかることから、近接自治体との共同処理を目指して、関係機関との協議、検討を進めている。

### (3)不燃物プラットホーム

#### ①施設の概要

施設名称	不燃物プラットホーム		
所在地	笛吹郷 57 / 笛吹在	所管課	建設課
施設分類	清掃施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	平成 4 年 (1992 年)	建築費	10,009,640 円
耐用年数	38 年	目標使用年数	80 年
延床面積	61.50 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	空缶のプレス	避難所	—
付帯施設	・不燃物処理設備室 平成 4 年 80 m <sup>2</sup>		
外観			

#### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	2,611 人	2,543 人	2,468 人	2,401 人	2,342 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00
稼働日数	243 日	243 日	244 日	244 日	240 日
稼働率	66.6%	66.6%	66.8%	66.8%	65.8%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	32,000	48,000	49,000	52,000	50,000
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	32,000	48,000	49,000	52,000	50,000

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	島内唯一の、空缶プレス場(空缶リサイクル)として利用。
施設状況(躯体)	経年劣化による老朽化により、壁にクラック等が見受けられる。
施設状況(躯体以外)	特に異常なし。
現状・課題	隣の焼却場と同じ建物内にあるが、将来ごみ処理広域化により焼却場を廃止しても、この施設は使い続ける事になる。

#### (4)ストックヤード

##### ①施設の概要

施設名称	ストックヤード		
所在地	笛吹郷 57 / 笛吹在	所管課	建設課
施設分類	清掃施設	構造	鉄骨造 / 1 階
建築年度	平成 13 年 (2001 年)	建築費	24,039,155 円
耐用年数	31 年	目標使用年数	60 年
延床面積	199. 24 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	資源物(リサイクル)の保管、梱包	避難所	—
付帯施設			
外観			

##### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	2,611 人	2,543 人	2,468 人	2,401 人	2,342 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00
稼働日数	243 日	243 日	244 日	244 日	240 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	73,499	85,215	92,832	102,278	106,595
修繕・工事費	0	0	100,980	156,983	217,093
委託費	8,640	8,640	8,640	8,640	8,720
合計	82,139	93,855	202,452	267,901	332,408

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	資源物(リサイクル品)の保管場所及び梱包作業場所として利用。
施設状況(躯体)	経年劣化による老朽化により、雨漏りが見受けられる。
施設状況(躯体以外)	特に異常なし。
現状・課題	現在、老朽化調査を実施しているが、雨漏りが酷いので、補修工事に多大な経費を要する見込み。 【令和 2 年度老朽化調査実施】

## (5) 資源物保管用ストックヤード

### ① 施設の概要

施設名称	資源物保管用ストックヤード		
所在地	笛吹郷 1368-1 / 小浜町	所管課	建設課
施設分類	清掃施設	構造	鉄骨造 / 1 階
建築年度	昭和 63 年 (1988 年) (平成 25 年購入)	建築費	1,480,000 円
耐用年数	31 年	目標使用年数	60 年
延床面積	271.32 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	資源物(リサイクル)の保管	避難所	—
付帯施設			
外観			

### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	資源物(リサイクル品)の保管場所として利用。
施設状況(躯体)	経年劣化による老朽化により、外壁剥離が見受けられる。
施設状況(躯体以外)	外構部舗装の一部剥離が見受けられる。。
現状・課題	現在、老朽化調査を実施しているが、壁の破損が数か所あり、修繕に係る費用が多くなる事が見込まれる。 【令和 2 年度老朽化調査実施】

(6)小値賀町し尿処理場

①施設の概要

施設名称	小値賀町し尿処理場		
所在地	笛吹郷 57 / 笛吹在	所管課	建設課
施設分類	清掃施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 3 階
建築年度	平成 6 年 (1994 年)	建築費	63,194,096 円
耐用年数	38 年	目標使用年数	80 年
延床面積	1,151 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	し尿処理	避難所	—
付帯施設			
外観			

②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	748 人	648 人	599 人	526 人	520 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00
稼働日数	359 日	360 日	359 日	359 日	359 日
稼働率	98.4%	98.6%	98.4%	98.4%	98.4%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	4,463,958	4,077,261	4,494,179	4,688,499	4,542,198
修繕・工事費	3,060,691	4,619,916	318,320	6,698,414	3,605,998
委託費	3,466,584	395,064	3,665,304	7,533,284	396,312
合計	14,231,233	9,092,241	8,477,803	18,920,197	8,544,508

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成27年	し尿処理場流量計更新	3,240,000 円
平成27年	し尿処理場破砕機更新	1,459,000 円
平成28年	し尿処理場排水ポンプ修繕	1,296,000 円
平成30年	し尿処理場施設修繕工事	5,676,000 円
令和元年	し尿処理場施設修繕工事	2,200,000 円

⑤利用状況と課題

利用状況	下水道の普及により、使用者数は減少傾向にあるが、脱水・乾燥施設はし尿処理場にしかないため、下水や浄化槽汚泥の脱水乾燥も、この施設で行っている。
施設状況(躯体)	経年劣化による老朽化により、雨漏りが見受けられる。
施設状況(躯体以外)	経年劣化による、機器の故障が多発しており、修繕費用が膨らんでいる。
現状・課題	下水道の普及により、汲み取りし尿が減少傾向にある中で、当該施設の大規模改修や新設には、多大の時間及び費用がかかる事から、将来は、下水道処理場にし尿処理場の機能を持たせて、本施設の廃止も視野に検討が必要である。

## (6) 水道施設

### (1) 中村第一浄水場機械室

#### ① 施設の概要

施設名称	中村第一浄水場機械室		
所在地	中村郷 342 / 中村	所管課	建設課
施設分類	水道施設	構造	無筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	昭和 55 年 (1980 年)	建築費	20,366,000 円
耐用年数	34 年	目標使用年数	60 年
延床面積	190 ㎡	耐震化	—
設置目的・役割	電気通信・水質管理・資材置場	避難所	—
付帯施設			
外観			

#### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	常時	常時	常時	常時	常時
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	575,166	549,040	597,911	556,709	565,494
修繕・工事費	0	0	2,555,280	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	575,166	549,040	3,153,191	556,709	565,494

※電気代動力

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 29 年	屋根防水改修工事	2,555,280

⑤利用状況と課題

利用状況	中村第一浄水場の自動運転制御を行っている。
施設状況(躯体)	築 40 年以上経過しているが、平成 29 年の雨漏れによる屋根防水改修工事を実施している。鉄骨中脚部に劣化が見受けられる。
施設状況(躯体以外)	築 40 年以上経過していることから、今後の維持管理が重要となる。電気系統の劣化が見受けられる。
現状・課題	耐震化されていないので、詳細な調査を要する。 壁面にひび割れなどを確認、経過観察としている。 【令和 2 年度老朽化調査実施】

## (2) 中村第二浄水場空気調整室

### ① 施設の概要

施設名称	中村第二浄水場空気調整室		
所在地	中村郷 345-2 / 中村	所管課	建設課
施設分類	水道施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	平成 13 年 (2001 年)	建築費	5,425,000 円
耐用年数	38 年	目標使用年数	80 年
延床面積	12 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	電気通信・水質管理	避難所	—
付帯施設	電気薬注室 平成 13 年 23 m <sup>2</sup>		
外観			

### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	常時	常時	常時	常時	常時
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	420,100	369,956	389,655	428,174	425,953
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	420,100	369,956	389,655	428,174	425,953

※電気代動力

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	中村第二浄水場の自動運転制御を行っている。
施設状況(躯体)	築 15 年以上経過しているが、特に修繕が必要な箇所はない。
施設状況(躯体以外)	築 15 年以上経過していることから、今後の維持管理が重要となる。
現状・課題	今のところなし。

### (3) 中村送水ポンプ室

#### ① 施設の概要

施設名称	中村送水ポンプ室		
所在地	中村郷 344 / 中村	所管課	建設課
施設分類	水道施設	構造	無筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	昭和 39 年 (1964 年)	建築費	4,300,000 円
耐用年数	34 年	目標使用年数	60 年
延床面積	37 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	電気通信・ポンプ制御	避難所	—
付帯施設	・薬注滅菌室 平成 11 年 13 m <sup>2</sup>		
外観			

#### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	常時	常時	常時	常時	常時
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	1,752,430	1,661,563	1,797,452	1,834,936	1,771,358
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	1,752,430	1,661,563	1,797,452	1,834,936	1,771,358

※笛吹低部送水分電気料

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	送水ポンプの自動運転制御を行っている。
施設状況(躯体)	築 50 年以上経過しているが、特に修繕が必要な箇所はない。
施設状況(躯体以外)	築 50 年以上経過していることから、今後の維持管理が重要となる。 電気系統の劣化が見受けられる。
現状・課題	現状目立った破損などはないが、小規模的な修繕が予想される。 耐震化されていないので、詳細な調査を要する。 【令和 2 年度老朽化調査】

#### (4)上の坂ポンプ・電気計装室

##### ①施設の概要

施設名称	上の坂ポンプ・電気計装室		
所在地	笛吹郷 1971 / 宮崎町	所管課	建設課
施設分類	水道施設	構造	無筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	昭和 61 年 (1986 年)	建築費	2,300,000 円
耐用年数	34 年	目標使用年数	60 年
延床面積	23 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	電気通信・ポンプ制御	避難所	—
付帯施設			
外観			

##### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	常時	常時	常時	常時	常時
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

##### ③維持・管理費用

※ポンプ電気料 (単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	533,589	523,118	595,740	646,086	659,291
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	533,589	523,118	598,740	646,086	659,291

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	取水ポンプ及び送水ポンプの自動運転制御を行っている。
施設状況(躯体)	築 30 年以上経過しているが、特に修繕が必要な箇所はない。
施設状況(躯体以外)	築 30 年以上経過していることから、今後の維持管理が重要となる。
現状・課題	今のところなし。

(5) 前方配水池電気計測室

① 施設の概要

施設名称	前方配水池電気計測室		
所在地	前方郷 3452 / 前方後目	所管課	建設課
施設分類	水道施設	構造	無筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	平成 10 年 (1987 年)	建築費	3,556,000 円
耐用年数	34 年	目標使用年数	60 年
延床面積	13 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	電気通信・水質管理	避難所	—
付帯施設			
外観			

② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	常時	常時	常時	常時	常時
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③ 維持・管理費用

(単位: 円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	64,427	64,388	67,772	70,767	70,210
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	64,427	64,388	67,772	70,767	70,210

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	配水池の電気制御及び水質管理を行っている。
施設状況(躯体)	築 20 年以上経過しているが、特に修繕が必要な箇所はない。
施設状況(躯体以外)	築 20 年以上経過していることから、今後の維持管理が重要となる。
現状・課題	今のところなし。

## (6) 柳配水池電気計装室

### ① 施設の概要

施設名称	柳配水池電気計装室		
所在地	柳郷 998 / 柳西	所管課	建設課
施設分類	水道施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	平成 11 年 (1999 年)	建築費	3,078,000 円
耐用年数	38 年	目標使用年数	80 年
延床面積	13	耐震化	○
設置目的・役割	電気通信・水質管理	避難所	—
付帯施設			
外観			

### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	常時	常時	常時	常時	常時
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

### ③ 維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	69,219	65,899	55,465	51,253	53,327
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	69,219	65,899	55,465	51,253	53,327

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	配水池の電気制御及び水質管理を行っている。
施設状況(躯体)	築 20 年以上経過しているが、特に修繕が必要な箇所はない。
施設状況(躯体以外)	築 20 年以上経過していることから、今後の維持管理が重要となる。
現状・課題	門扉の錆付きが見受けられる。

## (7) 赤尾ポンプ・電気計装室

### ① 施設の概要

施設名称	赤尾ポンプ・電気計装室		
所在地	浜津郷 696 / 浜津後目	所管課	建設課
施設分類	水道施設	構造	無筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	昭和 42 年 (1967 年)	建築費	1,200,000 円
耐用年数	34 年	目標使用年数	60 年
延床面積	12 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	電気通信・ポンプ制御	避難所	—
付帯施設			
外観			

### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	常時	常時	常時	常時	常時
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

### ③ 維持・管理費用

※ポンプ電気料 (単位: 円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	368,196	349,002	393,873	419,507	450,680
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	368,196	349,002	393,873	419,507	450,680

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	送水ポンプの自動運転制御を行っている。
施設状況(躯体)	築 50 年以上経過しており、外壁の劣化が見受けられる。 コンクリート屋根・壁面にひび割れなど確認でき、経過観察とする。
施設状況(躯体以外)	築 50 年以上経過していることから、今後の維持管理が重要となる。
現状・課題	現状目立った破損などはないが、小規模的な修繕が予想される。

(8) 浜津配水池電気計装室

① 施設の概要

施設名称	浜津配水池電気計装室		
所在地	浜津郷 412 / 浜津後目	所管課	建設課
施設分類	水道施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	平成 10 年 (1998 年)	建築費	3,388,000 円
耐用年数	38 年	目標使用年数	80 年
延床面積	13 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	電気通信・水質管理	避難所	—
付帯施設			
外観			

② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	常時	常時	常時	常時	常時
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③ 維持・管理費用

(単位: 円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	56,802	58,013	61,474	64,369	67,816
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	56,802	58,013	61,474	64,369	67,816

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	配水池の電気制御及び水質管理を行っている。
施設状況(躯体)	築 20 年以上経過しているが、特に修繕が必要な箇所はない。
施設状況(躯体以外)	築 20 年以上経過していることから、今後の維持管理が重要となる。 外部引込開閉器周り電線管破損が確認できるので、対応検討中である。
現状・課題	今のところなし。

(9) 斑配水池電気計装室

① 施設の概要

施設名称	斑配水池電気計装室		
所在地	班島郷 737-1 / 斑在	所管課	建設課
施設分類	水道施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	平成 10 年 (1998 年)	建築費	3,707,000 円
耐用年数	38 年	目標使用年数	80 年
延床面積	13 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	電気通信・水質管理	避難所	—
付帯施設			
外観			

② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	常時	常時	常時	常時	常時
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③ 維持・管理費用

(単位: 円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	41,948	36,550	39,032	40,723 円	42,199 円
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	41,948	36,550	39,032	40,723 円	42,199 円

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	配水池の電気制御及び水質管理を行っている。
施設状況(躯体)	築 20 年以上経過しているが、特に修繕が必要な箇所はない。
施設状況(躯体以外)	築 20 年以上経過していることから、今後の維持管理が重要となる。
現状・課題	今のところなし。

## (7) 産業施設

### (1) 柿の浜海水浴場関連施設(シャワー室・更衣室・トイレ等)

#### ① 施設の概要

施設名称	柿の浜海水浴場関連施設(シャワー室・更衣室・トイレ等)		
所在地	柳郷 2014-1 / 柳東	所管課	産業振興課
施設分類	観光施設	構造	木造 / 1階
建築年度	平成 14 年(2002 年)	建築費	7,350,000 円
耐用年数	22 年	目標使用年数	60 年
延床面積	61.08 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	海水浴場利用者休憩兼監視 シャワー・トイレ・ウッドデッキ	避難所	—
付帯施設			
外観			

#### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	104 日	104 日	104 日	104 日	104 日
稼働率	28.5%	28.5%	28.5%	28.5%	28.5%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	40,625	47,643	45,860	57,652	48,119
修繕・工事費	372,600	0	0	0	32,000
委託費	0	0	0	0	27,000
合計	413,225	47,643	45,860	57,652	107,119

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 26 年	柿の浜海水浴場整備工事(監視棟、シャワー棟)	1,836,000

⑤利用状況と課題

利用状況	例年7月 20 日頃～8 月末にかけて、柿の浜で海水浴やマリンスポーツを楽しむ町民、観光客等が利用している。 シャワー室・更衣室・トイレ・ウッドデッキ・倉庫からなる施設
施設状況(躯体)	築 15 年以上経過しているが、躯体そのものはしっかりしている。定期的な点検を欠かさず実施する。
施設状況(躯体以外)	窓枠等に若干の腐食がみられる
現状・課題	休憩スペースとしても活用されているが、利用者の増加により手狭に感じてきた。ソーシャルディスタンスの確保が重要となった昨今、日除け場所の増設も検討したい。

## (2)古民家島暮らし体験交流館 こんどう邸(親家)

### ①施設の概要

施設名称	古民家島暮らし体験交流館 こんどう邸(親家)		
所在地	柳郷 772-2/柳西	所管課	産業振興課
施設分類	観光施設	構造	木造/2階
建築年度	嘉永3年(1850年) (平成22年改修)	建築費	30,712,500円(改修費)
耐用年数	22年	目標使用年数	—
延床面積	278.05㎡	耐震化	—
設置目的・役割	宿泊施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

### ②利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	263人	127人	213人	179人	159人
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	24時間	24時間	24時間	24時間	24時間
稼働日数	133日	56日	53日	49日	46日
稼働率	36.4%	15.3%	14.5%	13.4%	12.6%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	81,000	0	0
委託費	97,163	97,163	97,163	114,443	114,683
合計	97,163	97,163	178,163	114,443	114,683

※光熱水費は指定管理事業者が負担

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
H26	古民家こんどう邸(親家)屋根改修工事	4,179,600

⑤利用状況と課題

利用状況	一年を通じて観光客に利用されているが、最も稼働しているのは8月・9月である。ただし、年間稼働率は 16.7%と古民家の平均稼働率(26.0%)を下回っている。
施設状況(躯体)	古民家としてオープンし 10 年経過しているが、躯体そのものはしっかりしている。外壁塗装の剥がれが年々悪化している。
施設状況(躯体以外)	襖や畳、建具等に不具合がみられる。また入口につながる石垣の崩壊が進みつつあるため、R2 年度に修復工事を実施する。
現状・課題	建物そのものはしっかりしているものの様々な箇所の傷みが激しい。指定管理者と情報を共有し、適切な施設の維持管理を行い、快適な利用環境を提供することで稼働率向上につなげたい。

### (3)古民家島暮らし体験交流館 はまだ邸(先小路)

#### ①施設の概要

施設名称	古民家島暮らし体験交流館 はまだ邸(先小路)		
所在地	笛吹郷 1600-1 /先小路	所管課	産業振興課
施設分類	観光施設	構造	木造/2階
建築年度	明治38年(1905年) (平成22年改修)	建築費	16,537,500円(改修費)
耐用年数	22年	目標使用年数	—
延床面積	94.92㎡	耐震化	—
設置目的・役割	宿泊施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

#### ②利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	134人	106人	238人	165人	229人
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	24時間	24時間	24時間	24時間	24時間
稼働日数	42日	29日	114日	81日	113日
稼働率	11.5%	7.9%	31.2%	22.2%	30.9%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	429,840	48,600	0	0
委託費	8,640	8,640	8,640	433,480	41,270
合計	8,640	438,480	57,240	433,480	41,270

※光熱水費は指定管理事業者が負担

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	4月～11月まで満遍なく稼働しており、年間稼働率は 31.5%と古民家の平均稼働率(26.0%)を上回っている。当町の傾向として宿泊施設は 2 名での利用が多いため、古民家でも 2～3 名規模施設の稼働が多くなっている。
施設状況(躯体)	古民家としてオープンし 10 年経過しているが、躯体そのものはしっかりしている。
施設状況(躯体以外)	襖や畳、建具等に不具合がみられる。
現状・課題	建物そのものはしっかりしているものの様々な箇所の傷みが激しい。指定管理者と情報を共有し、適切な施設の維持管理を行い、快適な利用環境を提供することで稼働率向上につなげたい。

(4)古民家島暮らし体験交流館 まつなが邸(鮑集・日月庵)

①施設の概要

施設名称	古民家島暮らし体験交流館 まつなが邸(鮑集・日月庵)		
所在地	笛吹郷 1396 /小浜町	所管課	産業振興課
施設分類	観光施設	構造	木造/1階
建築年	明治9年(1876年) (平成22年改修)	建築費	54,147,198 円(改修費)
耐用年数	22年	目標使用年数	—
延床面積	245.21 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	宿泊施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

②利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	631人	305人	642人	443人	661人
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	24時間	24時間	24時間	24時間	24時間
稼働日数	262日	118日	252日	185日	261日
稼働率	71.7%	32.3%	69.0%	50.7%	71.5%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	653,400	0	0
委託費	147,876	147,876	147,876	169,476	169,756
合計	147,876	147,876	801,276	169,476	169,756

※光熱水費は指定管理事業者が負担

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	一年を通じて観光客に利用されているが、最も稼働しているのは8月である。鮑集が 31.2%、日月庵が 41.7%と、古民家ステイで最も稼働率が高い。
施設状況(躯体)	古民家としてオープンし 10 年経過しているが、躯体そのものはしっかりしている。しかし、平成 24 年の台風により発生した雨漏りは抜本的対策ができていない状況。土壁の剥離も進行しており対策が必要。
施設状況(躯体以外)	襖や畳、建具等に不具合がみられる。
現状・課題	建物そのものはしっかりしているものの、様々な箇所の傷みが激しい。特に雨漏りは年々深刻化しており、客室部分まで浸食が進んでいるため、早急な対応が必要である。指定管理者と情報を共有し、適切な施設の維持管理を行い、快適な利用環境を提供することで稼働率向上につなげたい。 【平成 29 年度老朽化調査実施】

(5) 地産地消古民家レストランふじまつ

① 施設の概要

施設名称	地産地消古民家レストランふじまつ		
所在地	前方郷 3694-1 / 筒井浦	所管課	産業振興課
施設分類	観光施設	構造	木造 / 2階
建築年	嘉永4年(1851年) (平成22年改修)	建築費	57,687,000 円(改修費)
耐用年数	22年	目標使用年数	—
延床面積	421.87 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	食堂	避難所	—
付帯施設			
外観			

② 利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	1,166人	1,698人	2,209人	2,543人	2,313人
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	11:00 ~22:00	11:00 ~22:00	11:00 ~22:00	11:00 ~22:00	11:00 ~22:00
稼働日数	108日	165日	219日	218日	186日
稼働率	29.5%	45.2%	60.0%	59.7%	51.0%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	106,283		0	0
委託費	75,600	75,600	75,600	75,600	76,060
合計	75,600	181,883	75,600	75,600	76,060

※光熱水費は指定管理業者が負担

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
令和 2 年	古民家レストラン維持補修工事	未確定

⑤利用状況と課題

利用状況	観光客だけでなく、町民の法事等の利用も多い。利用者数は年々増加傾向である。
施設状況(躯体)	古民家としてオープンし 10 年経過しているが、躯体そのものはしっかりしている。トップライト部分の雨漏りについては対応が必要(令和2年度に修繕工事实施)。
施設状況(躯体以外)	襖や畳、建具等に不具合がみられる。雨戸の収納スペースが無いため、対応が必要である(令和2年度に改修工事实施)。
現状・課題	建物そのものはしっかりしているものの、様々な箇所の傷みが激しい。指定管理者は、観光客だけでなく、町民のニーズを取り込んだり、「イサキの棒寿司」といった新商品を開発したりと、利用率向上に取り組んでいる。指定管理者と情報を共有し、適切な施設の維持管理を行う。 【平成 29 年度老朽化調査実施】

(6) 古民家島暮らし体験交流館 たもと邸(小白山)

① 施設の概要

施設名称	古民家島暮らし体験交流館 たもと邸(小白山)		
所在地	浜津郷 29-1 / 浜津前目	所管課	産業振興課
施設分類	観光施設	構造	木造 / 2 階
建築年度	昭和 2 年(1927 年) (平成 22 年改修)	建築費	25,032,000 円(改修費)
耐用年数	22 年	目標使用年数	—
延床面積	217.72 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	宿泊施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	287 人	160 人	251 人	237 人	332 人
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	54 日	28 日	43 日	46 日	58 日
稼働率	14.8%	7.7%	11.8%	12.6%	15.8%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	129,600	0	0
委託費	165,689	165,689	165,689	187,289	187,569
合計	165,689	165,689	295,289	187,289	187,569

※光熱水費は指定管理事業者が負担

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	古民家ステイで最も定員数が多い施設(8 名)である。そのため稼働率は最も低い(16.7%)。(利用形態としては 2 名利用が最も多いため)。
施設状況(躯体)	古民家としてオープンし 10 年経過しているが、躯体そのものはしっかりしている。
施設状況(躯体以外)	襖や畳、建具等に不具合がみられる。
現状・課題	建物そのものはしっかりしているものの様々な箇所の傷みが激しい。指定管理者と情報を共有し、適切な施設の維持管理を行い、快適な利用環境を提供することで稼働率向上につなげたい。

(7)古民家島暮らし体験交流館 近藤達男邸(一期庵一会庵)

①施設の概要

施設名称	古民家島暮らし体験交流館 近藤達男邸(一期庵一会庵)		
所在地	柳郷 771-1 / 柳西	所管課	産業振興課
施設分類	観光施設	構造	木造 / 2階
建築年度	不明(平成 23 年改修)	建築費	30,670,500 円(改修費)
耐用年数	22 年	目標使用年数	—
延床面積	192.87 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	宿泊施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	246 人	111 人	214 人	188 人	205 人
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	119 日	50 日	101 日	83 日	96 日
稼働率	32.6%	13.7%	27.6%	22.7%	26.3%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	162,000	0	0
委託費	10,800	10,800	10,800	821,880	148,173
合計	10,800	10,800	172,800	821,880	148,173

※光熱水費は指定管理事業者が負担

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	一年を通じて観光客に利用されているが、最も稼働しているのは8月である。ただし、年間稼働率は一期庵一会庵平均して 14.95%と古民家の平均稼働率(26.0%)を下回っている。
施設状況(躯体)	古民家としてオープンし 10 年経過しているが、躯体そのものはしっかりしているが、外壁の剥がれが悪化している。
施設状況(躯体以外)	襖や畳、建具等に不具合がみられる。
現状・課題	建物そのものはしっかりしているものの様々な箇所の傷みが激しい。指定管理者と情報を共有し、適切な施設の維持管理を行い、快適な利用環境を提供することで稼働率向上につなげたい。 【令和元年度老朽化調査実施】

(8)野崎島自然学塾村 宿泊室棟

①施設の概要

施設名称	野崎島自然学塾村 宿泊室棟		
所在地	野崎郷 663-1 / 野崎	所管課	産業振興課
施設分類	観光施設	構造	木造 / 1階
建築年度	昭和 39 年 (1964 年) (昭和 63 年改修)	建築費	50,000,000 円 (改修費)
耐用年数	22 年	目標使用年数	100 年
延床面積	490.71 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	休憩所・宿泊施設	避難所	—
付帯施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習棟 平成 1 年 359.51 m<sup>2</sup> ・炊事棟 平成 2 年 38.89 m<sup>2</sup></li> <li>・調理室棟 平成 20 年 69.56 m<sup>2</sup> ・トイレ浴室棟 平成 1 年 50.31 m<sup>2</sup></li> <li>・屋外トイレシャワー棟 平成 2 年 50.31 m<sup>2</sup></li> <li>・シャワールーム棟 平成 20 年 57.96 m<sup>2</sup></li> </ul>		
外観			

②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	4,101 人	2,869 人	2,609 人	3,490 人	2,735 人
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	24 時間				
稼働日数	256 日	255 日	261 日	268 日	239 日
稼働率	70.1%	69.9%	71.5%	73.4%	65.5%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	62,440	129,276	295,488	24,840	0
委託費	3,910,986	3,663,566	3,852,026	3,184,000	3,670,000
合計	3,973,426	3,792,842	4,147,514	3,208,840	3,670,000

※光熱水費は指定管理事業者が負担

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 19 年	厨房、シャワー室増築工事	33,812,100 円
平成 20 年	自然学塾村水道工事	871,500 円
平成 21 年	宿泊室改修工事	3,904,950 円
平成 21 ~ 22 年	学塾屋根・外壁・渡り廊下等改修工事	56,799,750 円
平成 22 年	自火報受信機取替工事	592,725 円

⑤利用状況と課題

利用状況	一年を通じて利用されているが、最も稼働しているのはサマーシーズンである7~8月、次いで大型連休のある5月となっている。利用者数はここ数年減少気味である。
施設状況(躯体)	平成元年のオープンから30年が経過し、特に外壁塗装の悪化が激しい。雨漏りやシロアリの被害も見られる。(令和2年度及び3年度に野崎島自然学塾村維持補修工事実施予定)
施設状況(躯体以外)	令和元年の大雨でグラウンドに大きな陥没が発生しており、早急な復旧が必要(県による復旧工事が令和3年度に実施される予定)。
現状・課題	様々な箇所の傷みが激しい。適切な改修・維持管理を行い、指定管理者とともに新たな活用方法を検討し、稼働率向上につなげたい。 【令和元年度老朽化調査実施】

## (9) 野崎島ビジターセンター

### ① 施設の概要

施設名称	野崎島ビジターセンター		
所在地	野崎島郷 192 / 野崎	所管課	産業振興課
施設分類	観光施設	構造	木造 / 1 階
建築年度	平成 28 年 (2016 年)	建築費	46,726,200 円
耐用年数	15 年	目標使用年数	60 年
延床面積	123.18 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	案内所	避難所	-
付帯施設	なし		
外観			

### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	-	-	3,366	4,941	3,917
運営方式	-	-	直営	直営	指定管理
運営時間	-	-	8:15~15:00	8:15~15:00	8:15~15:00
稼働日数	-	-	352	352	352
稼働率	-	-	96.4%	96.4%	96.4%

### ③ 維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	-	-	190,509	162,648	0
修繕・工事費	-	-	0	137,484	308,000
委託費	-	-	64,500	493,020	303,650
合計	-	-	255,009	793,152	611,650

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	野崎島での遵守事項や安全確保のアナウンスのほか、自然環境や歴史文化の周知等を行うための施設であり、町内外の来島者に利用されている
施設状況(躯体)	平成28年度に建設しており、令和3年2月時点では大きな修繕が必要な箇所は存在しない。
施設状況(躯体以外)	平成28年度に建設しており、令和3年2月時点では大きな修繕が必要な箇所は存在しない。
現状・課題	開館時間が町営船「はまゆう」の運行時間とリンクしているため、閉館後の来島者を把握できていない。

(10) 浜崎鼻ゴルフ場管理棟

① 施設の概要

施設名称	浜崎鼻ゴルフ場管理棟		
所在地	浜津郷 1728-5 / 浜津後目	所管課	産業振興課
施設分類	観光施設	構造	木造 / 1 階
建築年度	平成元年 (1989 年)	建築費	4,532,000 円
耐用年数	24 年	目標使用年数	60 年
延床面積	48 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	ゴルフ場管理棟	避難所	—
付帯施設			
外観			

② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③ 維持・管理費用

(単位: 円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	22,531	22,990	21,994	20,850	21,252
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	23,143	23,143	23,143	23,143	13,000
合計	45,674	46,133	45,137	43,993	34,252

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	浜崎鼻キャンプ場利用者のための管理棟だったが、現在はゴルフプレイヤーが利用している。
施設状況(躯体)	平成元年に新築して以来、躯体はしっかりしている。
施設状況(躯体以外)	新築から 30 年が経過し、劣化が進行している。
現状・課題	浜崎鼻のキャンプ場としての利用がほぼなくなり、キャンプ場管理棟としてのニーズもほぼゼロになっている。現在の主な利用団体である「浜友会」と管理についての覚書を令和3年4月に取り交わす予定。

(11) 浜崎鼻公衆便所

① 施設の概要

施設名称	浜崎鼻公衆便所		
所在地	浜津郷 1729-3 / 浜津後目	所管課	産業振興課
施設分類	公園施設	構造	無筋コンクリート造 / 1階
建築年度	昭和40年(1965年)	建築費	900,000円
耐用年数	34年	目標使用年数	60年
延床面積	9 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	浜崎鼻利用者用公衆便所	避難所	—
付帯施設			
外観			

② 利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24時間	24時間	24時間	24時間	24時間
稼働日数	365日	366日	365日	365日	365日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	15,540	15,540	15,540	15,540	15,590
修繕・工事費	0	0	0	10,800	0
委託費	23,142	23,142	23,142	23,142	13,000
合計	38,682	38,682	38,682	49,482	28,590

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	浜崎鼻利用者用の公衆便所だが、キャンプ利用者はほぼ無く、もっぱらゴルフプレイヤーが利用している。
施設状況(躯体)	躯体はしっかりしているが入口上部等に一部劣化・剥離がみられる。
施設状況(躯体以外)	特に問題なし。
現状・課題	特に問題なし。

## (12) 漁民研修センター

### ① 施設の概要

施設名称	漁民研修センター		
所在地	笛吹郷 2790 / 蛭子町	所管課	産業振興課
施設分類	水産施設	構造	鉄筋コンクリート / 3 階
建築年度	昭和 56 年 (1981 年)	建築費	98,700,000 円
耐用年数	38 年	目標使用年数	80 年
延床面積	952.4 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	会議室、研修室	避難所	—
付帯施設			
外観			

### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	43 件	43 件	45 件	46 件	42 件
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00
稼働日数	43 日	43 日	45 日	46 日	42 日
稼働率	11.8%	11.8%	12.3%	12.6%	11.5%

### ③ 維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	208,429	236,785	213,085	223,181	223,345
修繕・工事費	61,040	15,120	79,488	121,996	0
委託費	48,600	48,600	48,600	97,200	98,100
合計	318,069	300,505	341,173	442,377	321,445

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 25 年	漁民研修センター下水道工事	1,365,000 円

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	各種漁業者団体等の役員会、総会、説明会等で主に漁業関係者が利用している。
施設状況(躯体)	築35年以上が経過しており、経年劣化による雨漏り、躯体面・軒裏などの鉄筋の爆裂や柱のクラック等が発生している。
施設状況(躯体以外)	天井・床材に劣化が見られ、調理室の内装及び機器類が老朽化している。
現状・課題	建物全体の老朽化が進んでおり、危険な状態となっている。特に躯体面、軒裏などは常態化した雨水侵入の影響から、鉄筋爆裂や縦クラックが生じており深刻な状況である。 【平成 30 年度老朽化調査実施】

### (13)あわび館

#### ①施設の概要

施設名称	あわび館		
所在地	笛吹郷 2791-3/蛭子町	所管課	産業振興課
施設分類	水産施設	構造	鉄筋コンクリート造/2階
建築年度	平成8年(1996年)	建築費	278,954,900円
耐用年数	38年	目標使用年数	80年
延床面積	759.41㎡	耐震化	○
設置目的・役割	事務所、展示室、売店、 水産加工室	避難所	—
付帯施設			
外観			

#### ②利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	3,763人	3,432人	2,948人	2,842人	3,743人
運営方式	委託	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	8:00~16:30	8:00~16:30	8:00~16:30	8:30~16:30	8:00~16:30
稼働日数	313日	318日	313日	313日	313日
稼働率	85.7%	87.1%	85.7%	85.7%	85.7%

#### ③維持・管理費用

(単位:円)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
光熱水費	1,182,387	1,100,999	1,100,108	1,586,197	1,281,153
修繕・工事費	1,579,493	1,637,604	1,273,105	151,416	348,612
合計	2,761,880	2,738,603	2,374,213	1,737,613	1,629,765

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 24 年	あわび館外壁改修工事	3,699,150 円

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	休憩所やコミュニティスペースとして、主に来島客が使用している。アワビ・サザエ等の直売所として町民の利用も多い。
施設状況(躯体)	築20年以上が経過し、経年劣化による雨漏れが発生している。外壁改修工事により目立った劣化は見られないが、軒先や梁の一部に鉄筋爆裂が見られる。
施設状況(躯体以外)	築20年以上が経過していることから、内装や床材等に劣化が見られる。空調設備も故障により稼働していない。水槽関連設備についても老朽化が見られ、修繕工事等を実施しながら管理を継続している。
現状・課題	老朽化により各種設備修繕費用が年々増加傾向にある。フェリーターミナルに近い立地から、来島客の休憩所(コミュニティ施設)としての利用価値が高いため、適切な改修等を実施していく必要がある。 【平成 30 年度老朽化調査実施】

(15)アワビ種苗センター

①施設の概要

施設名称	アワビ種苗センター		
所在地	班島郷 934-38/班浦	所管課	産業振興課
施設分類	水産施設	構造	木造/1階
建築年度	平成5年(1993年)	建築費	126,910,000円
耐用年数	15年	目標使用年数	60年
延床面積	519.6㎡	耐震化	○
設置目的・役割	種苗生産・研究	避難所	—
付帯施設	・アワビ種苗センター倉庫(ワカメ加工場) 平成6年 34.6㎡ ・アワビ種苗センターポンプ倉庫 平成5年 25.7㎡		
外観			

②利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	-	-	-	-	-
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:00~16:30	8:00~16:30	8:00~16:30	8:00~16:30	8:00~16:30
稼働日数	365日	366日	365日	365日	365日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
光熱水費	1,620,797	1,487,522	1,551,125	1,691,345	1,664,639
修繕・工事費	1,918,360	1,904,194	1,754,294	1,572,362	2,506,560
委託費	379,296	379,296	379,296	379,296	382,808
合計	3,918,453	3,771,012	3,684,715	3,643,003	4,554,007

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 21 年	アワビ種苗センター貯水槽修理	540,000 円
平成 26 年	水中ポンプ取替修繕	594,000 円
平成 28 年	取水ポンプ取替修繕	615,600 円
平成 29 年	水中ポンプ取替修繕	662,040 円
令和元年	海水用水中ポンプ取替修繕	674,300 円

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	アワビ種苗を生産、放流することにより資源量の増加を図っている。また、藻場回復対策として、海藻養殖、種苗生産試験を実施している。
施設状況(躯体)	築25年以上が経過しており、屋根、外壁、腰壁などの老朽化が進んでいる。屋根の一部で雨漏りが発生し、腰壁は爆裂している。修繕工事等を実施しながら管理を継続している。
施設状況(躯体以外)	築25年以上が経過していることから、取水関係設備(ポンプ等)の修繕費用が年々増加傾向にある。また、日々のメンテナンスにかかる労力負担も大きくなっている。
現状・課題	構造材(木造)については、今後も利用できるが、屋根、腰壁、取水関係設備については、改修が必要である。 【平成 30 年度老朽化調査実施】

(16) 岳の内揚水機場

① 施設の概要

施設名称	岳の内揚水機場		
所在地	笛吹郷 2237 / 大浦	所管課	産業振興課
施設分類	農業施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	平成 11 年 (1999 年)	建築費	12,276,000 円
耐用年数	38 年	目標使用年数	80 年
延床面積	79.2 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	農業用水の農地への配水のため配水槽に揚水する施設	避難所	—
付帯施設	・岳の内調整池 平成 11 年 119,800 m <sup>3</sup> ・番岳配水槽 平成 11 年 80 m <sup>3</sup>		
外観			

② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
運営方式	委託	委託	委託	委託	委託
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
委託料	12,861,000	8,900,000	8,300,000	8,158,000	5,800,000
内光熱水費	660,654	653,388	913,070	783,254	823,373
内修繕・工事費	0	0	0	0	0
内電機保安委託費	372,492	368,172	368,172	368,172	368,172
内数合計	1,033,146	1,021,560	1,281,242	1,151,426	1,191,545

※土地改良施設は、全体を土地改良区に委託しており、委託料は施設全体の委託料額。

光熱水費と修繕・工事費については、土地改良区の決算書から当該施設分を抜き出して記載。

委託料は、殿崎と岳の内揚水機場の電気保安協会委託料の 1/2 とした。

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	周年、揚水ポンプが稼働している。
施設状況(躯体)	築 20 年が経過しており、外壁の塗装が剥がれている部分がある。 機器搬入口のドアが腐食してきているが、今のところ開閉等に影響はない。併設されているポンプ小屋の屋根が老朽化し雨漏りしている。
施設状況(躯体以外)	築 20 年が経過しており、ポンプや配電盤に時折故障が見られる。計画的な部品交換が必要である。
現状・課題	町の西側半分に農業用水を送るための大切な施設であり、園芸品目における根幹でもあるため、ポンプや配電盤が故障する前に、計画的に交換することが必要である。特に揚水ポンプは、度々停止する等の不具合が発生しており、早期の対応が必要である。

(17) 殿崎揚水機場

① 施設の概要

施設名称	殿崎揚水機場		
所在地	前方郷 2337-3/木場	所管課	産業振興課
施設分類	農業施設	構造	鉄筋コンクリート造/1階
建築年度	平成11年(1999年)	建築費	11,462,250 円
耐用年数	38年	目標使用年数	80年
延床面積	73.95 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	農業用水の農地への配水のため配水槽に揚水する施設	避難所	—
付帯施設	・殿崎ファームポンド 平成11年 1500 m <sup>3</sup>		
外観			

② 利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	—	—	—	—	—
運営方式	委託	委託	委託	委託	委託
運営時間	24時間	24時間	24時間	24時間	24時間
稼働日数	365日	366日	365日	365日	365日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
委託料	12,861,000	8,900,000	8,300,000	8,158,000	5,800,000
内光熱水費	1,519,878	1,419,776	1,827,882	1,588,216	1,638,418
内修繕・工事費	0	0	0	0	0
内電機保安委託費	372,492	368,172	368,172	368,172	368,172
内数合計	1,892,370	1,787,948	2,196,054	1,956,388	2,006,590

※土地改良施設は、全体を土地改良区に委託しており、委託料は施設全体の委託料額。

光熱水費と修繕・工事費については、土地改良区の決算書から当該施設を抜き出して記載。

委託料は、殿崎と岳の内揚水機場の電気保安協会委託料の 1/2 とした。

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	周年、揚水ポンプが稼働している。
施設状況(躯体)	築 20 年が経過しており、また海岸線にあるため、腐食が進んでいる。特に機器搬入口は開閉が不可能になっている。
施設状況(躯体以外)	築 20 年が経過しており、ポンプや配電盤に時折故障が見られる。計画的な部品交換が必要である。
現状・課題	機器搬入口が腐食により開閉不可能になっているため、内部機器への影響を防ぐためにも早急な対応が必要である。 町全体の水道の給水にも関わる重要な施設であるため、ポンプや配電盤が故障する前に、計画的に交換することが必要である。 同時期に整備した岳の内揚水機場の揚水ポンプに不具合が発生しているため、早期の対応が必要である。

(18)水管理システム施設中央管理事務所

①施設の概要

施設名称	水管理システム施設中央管理事務所		
所在地	笛吹郷 2385-2/宮崎町	所管課	産業振興課
施設分類	農業施設	構造	鉄筋コンクリート造/2階
建築年度	平成12年(2000年)	建築費	12,600,000 円
耐用年数	50年	目標使用年数	80年
延床面積	70 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	野崎ダムや岳の内調整池等の水位、流量の監視システムの管理事務所	避難所	—
付帯施設			
外観			

②利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	—	—	—	—	—
運営方式	委託	委託	委託	委託	委託
運営時間	24時間	24時間	24時間	24時間	24時間
稼働日数	365日	366日	365日	365日	365日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
委託料	12,861,000	8,900,000	8,300,000	8,158,000	5,800,000
内光熱水費	397,176	376,753	395,774	407,017	413,392
内修繕・工事費	0	0	0	0	0
内数合計	397,176	376,753	395,774	407,017	413,392

※土地改良施設は、全体を土地改良区に委託しており、委託料は施設全体の委託料額。

光熱水費と修繕・工事費については、土地改良区の決算書から当該施設分を抜き出して記載。

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	周年、監視システムが稼働している。
施設状況(躯体)	外壁に一部ひび割れを確認している。
施設状況(躯体以外)	築 20 年が経過しており、システムに時折故障が見られる。計画的な部品交換が必要である。
現状・課題	野崎ダム及び岳の内調整池の監視システムであり、重要な施設である。 故障により、給水が滞る等の事態にはならないものの、湯水時の状況把握等が困難となるため、計画的に部品を交換する必要あり。

(18)堆肥舎(格納庫棟外3施設)

①施設の概要

施設名称	堆肥舎 格納庫棟外3施設		
所在地	笛吹郷 260-1/大浦	所管課	産業振興課
施設分類	農業施設	構造	木造/1階
建築年	平成14年度(2004年)	建築費	112,919,430円
耐用年数	15年	目標使用年数	60年
延床面積	150㎡	耐震化	○
設置目的・役割	堆肥製造に使用する機械の格納庫	避難所	—
付帯施設	・管理棟 平成14年度 30㎡ ・通気型製品庫 平成14年度 1870㎡ ・攪拌式堆肥棟 平成14年度 965.6㎡		
外観			

②利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	—	—	—	—	—
運営方式	委託	委託	委託	委託	委託
運営時間	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00
稼働日数	243日	243日	244日	244日	240日
稼働率	66.5%	66.5%	66.8%	66.8%	65.7%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
委託費	6,000,000	7,075,000	4,054,000	4,838,000	4,877,000
内光熱水費	929,134	960,092	924,259	970,515	763,920
内修繕・工事費	1,154,212	0	930,484	0	0
内電気保安委託費	174,960	184,032	184,032	184,032	185,736
内数合計	2,258,306	1,144,124	2,038,775	1,154,547	949,656

※堆肥施設全体を担い手公社に委託しており、委託料は施設全体の委託料額。

光熱水費と修繕・工事費、電機保安委託費は、担い手公社の決算書から当該施設分を抜き出して記載。

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 27 年	ブローア修理	1,154,212 円
平成 29 年	攪拌機 ローター一羽交換	930,484 円

⑤利用状況と課題

利用状況	受託業者である担い手公社作業員が堆肥を製造。牛糞や野草の搬入、堆肥を購入する住民も多数利用している。
施設状況(躯体)	外壁に破損がある。
施設状況(躯体以外)	攪拌機が故障中であり、令和3年度に大規模な修繕を実施する予定である。
現状・課題	施設自体は、老朽化しているものの、使用には問題がない状態。 攪拌機は令和3年度に修繕を実施するが、その他の機械も老朽化してきており、計画的な修繕・更新が必要となる。

(19)小値賀町獣医師住宅

①施設の概要

施設名称	小値賀町獣医師住宅		
所在地	中村郷 80-6 / 松香丘	所管課	産業振興課
施設分類	住宅	構造	木造 / 2 階
建築年度	平成 5 年 (1993 年)	建築費	11,870,000 円
耐用年数	22 年	目標使用年数	60 年
延床面積	118.34 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	家畜診療所獣医師の居宅 及び家畜診療所	避難所	-
付帯施設			
外観			

②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	1 人	1 人	1 人	1 人	1 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	272 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	74.5%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	18,588
修繕・工事費	0	0	0	1,092,100	375,620
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	1,092,100	394,208

※光熱水費については、27～30 年は居住者が負担。

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成30年度	フロ取替、床の張替え、屋根の修理等。	1,092,100 円

⑤利用状況と課題

利用状況	小値賀町家畜診療所獣医師の居宅として使用していたが、R2.4 月から、応援獣医師の待機場所として使用している。 また、小値賀町家畜診療所としての届出を行っており、薬剤の保管場所としても使用している。
施設状況(躯体)	築 25 年以上経過しており、外壁に錆が見られる。 基礎に亀裂が見られる。
施設状況(躯体以外)	築 25 年以上が経過しているため、台所、建具等の劣化が見られる。 床下の排気口の金具が錆で朽ちている。(板でふさいでいる。)
現状・課題	現在は居住している獣医師が不在のため、応援診療の獣医師の待機場所として使用。 平成 30 年、31 年度に床の張替え、雨漏り修繕等により、特に問題はないが、築 25 年以上が経過しており、経年劣化が見られる。

(20) 前方農村婦人の家

① 施設の概要

施設名称	前方農村婦人の家		
所在地	前方郷 3574-1 / 前方後目	所管課	産業振興課
施設分類	農業施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 1階
建築年度	昭和 53 年 (1978 年)	建築費	43,500,000 円
耐用年数	47 年	目標使用年数	80 年
延床面積	421.4 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	前方地区婦人会による共同活動の拠点	避難所	—
付帯施設			
外観			

② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	15~20 件/年間(人数は用途によって様々。記録なし)				
運営方式	前方婦人会に管理委任				
運営時間	特段の定めなし				
稼働日数	15~20 日/年間				
稼働率	4~5% (365 日で計算)				

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	133,417	133,123	123,087	122,819	131,536
修繕・工事費	0	5,000	0	7,560	10,450
委託費	0	0	0	0	0
合計	133,417	138,123	123,087	130,379	141,986
内婦人会負担金	33,386	34,214	32,224	33,063	33,979

※管理は前方婦人会に委任しているが、維持管理費用は町負担。維持管理費用の 30%を婦人会が負担。

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	前方婦人会が管理しており、地域や個人の行事(法事等)の折に、主に調理場が利用されている。
施設状況(躯体)	築 40 年以上が経過しており、外壁に多数のひび割れが見られる。また、内部にもいたるところに、壁のひび割れや天井の破損、床の老朽化等が見られる。
施設状況(躯体以外)	施設備品は、老朽化しているものの、使用できる状況。 図書室のブラインドが故障、和室のフスマが破れている。
現状・課題	年間 15～20 件程度の利用はあっており、前方婦人会が管理しているが、利用件数は減少してきており、婦人会も会員数の減少や高齢化のため、管理負担の軽減が求められている。当面は婦人会が管理していくことで合意しているが、施設自体も老朽化しているため、施設の在り方について婦人会と協議していく必要がある。

(21)小値賀町農産物加工場

①施設の概要

施設名称	小値賀町農産物加工場		
所在地	中村郷 76-1 / 松香丘	所管課	産業振興課
施設分類	農産物加工施設	構造	木造 / 1 階
建築年度	平成 28 年 (2016 年)	建築費	94,824,000 円 (全施設合計)
耐用年数	15 年	目標使用年数	60 年
延床面積	208.68 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	農産物加工施設	避難所	—
付帯施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原料集出荷場 平成 28 年 240 m<sup>2</sup></li> <li>・選別作業場 平成 28 年 223 m<sup>2</sup></li> <li>・干場ビニールハウス 平成 28 年 273 m<sup>2</sup> (2 棟)</li> </ul>		
外観			

②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)			—	—	—
運営方式			指定管理	指定管理	指定管理
運営時間			8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00
稼働日数			244 日	244 日	240 日
稼働率			66.8%	66.8%	65.7%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
建物共済保険料			244,801	119,097	180,216
管理運営経費			19,961,110	19,316,244	21,852,063
内光熱水費			958,550	493,760	1,076,188
内修繕・工事費			8,682	90,766	65,548
内数合計			967,232	584,526	1,141,736

※農産物加工場は、指定管理施設として、担い手公社と協定中(H29～R3)。

指定管理料の支払いはなく、経費は指定管理者である担い手公社が支払い。町は建物共済保険料のみ支払い。

管理運営経費は、指定管理者の決算書から転記。

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	農産物加工品を製造するために利用している。指定管理者による運営のほか、地域住民の加工品製造利用や教育分野、観光分野と連携した加工体験等の利用も行われている。
施設状況(躯体)	特に問題なし。
施設状況(躯体以外)	特に問題なし。
現状・課題	施設及び付帯設備には、特に問題なし。

## (8) 社会教育施設

### (1) 小値賀町離島開発総合センター

#### ① 施設の概要

施設名称	小値賀町離島開発総合センター		
所在地	笛吹郷 2371-1 / 宮崎町	所管課	教育委員会
施設分類	社会教育施設	構造	鉄筋コンクリート / 3 階
建築年度	昭和 49 年 (1974 年)	建築費	259,835,000 円
耐用年数	47 年	目標使用年数	80 年
延床面積	1452.88 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	社会教育の振興、集会所、 教委事務室、他	避難所	○
付帯施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離島開発総合センター倉庫 昭和 49 年 52 m<sup>2</sup></li> <li>・離島開発総合センター上の坂倉庫 平成 10 年 48.6 m<sup>2</sup></li> </ul>		
外観			

#### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	14,685 人	13,628 人	13,882 人	14,512 人	9,834 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30~22:00	8:30~22:00	8:30~22:00	8:30~22:00	8:30~22:00
稼働日数	352 日	355 日	353 日	348 日	348 日
稼働率	96.4%	97.2%	96.7%	95.3%	95.3%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	2,401,507	2,423,030	2,536,293	2,162,192	1,635,689
修繕・工事費	872,933	505,960	2,934,694	2,056,920	839,330
委託費	1,782,736	1,810,600	1,988,800	1,988,800	2,005,400
合計	5,057,176	4,739,590	7,459,787	6,207,912	4,480,419

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 22 年	耐震・バリアフリー化工事	76,403,984 円
平成 29 年	総合センター町民ホール舞台幕工事	2,457,000 円
平成 30 年	離島開発総合センター会議室反響対策工事	1,512,000 円

⑤利用状況と課題

利用状況	社会教育の場として各種社会教育団体の活動に利用されているほか、会議、集会、行事、イベントの会場として利用されている。 2 階の一部を教育委員会事務室としても利用している。
施設状況(躯体)	建設から 45 年以上経過し、建物全体で老朽化が進行している。壁のひび割れや鉄筋の爆裂などが多数見られ、窓廻りでも塩害がみられる。屋根防水層の劣化、シーリングの劣化も発生している。 平成 23 年度に耐震工事及びバリアフリー工事が行われている。
施設状況(躯体以外)	機械室及びステージ裏の機材搬出用の鉄の扉が腐食により開閉に支障がある。 ステージ吊り物関係の設備についても老朽化しており交換の時期になっている。
現状・課題	建物全体で経年劣化が進行しているため、大規模な改修又は建て替えが必要。 【令和元年度老朽化調査実施】

## (2) 斑地区住民センター

### ① 施設の概要

施設名称	斑地区住民センター		
所在地	斑島郷 2-2 / 斑浦	所管課	教育委員会
施設分類	社会教育施設	構造	鉄筋コンクリート / 2 階
建築年度	昭和 47 年 (1972 年)	建築費	12,555,000 円
耐用年数	50 年	目標使用年数	80 年
延床面積	233 ㎡	耐震化	—
設置目的・役割	集会所	避難所	—
付帯施設			
外観			

### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	50 件	50 件	50 件	50 件	50 件
運営方式	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	50 日	50 日	50 日	50 日	50 日
稼働率	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	8,640	8,640	8,640	8,640	8,720
合計	8,640	8,640	8,640	8,640	8,640

※光熱水費及び小規模な修繕は地区負担

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
令和 2 年	エアコン取替工事	850,000 円

⑤利用状況と課題

利用状況	斑地区の集会所として地域行事や会合などに利用されている。
施設状況(躯体)	建設から 48 年経過し、屋根防水層の劣化により、一部がはがれている。建物全体に爆裂によるクラックが発生しているほか、窓廻りからの雨水の侵入跡が多数確認できる。
施設状況(躯体以外)	令和 2 年度にエアコンの取替工事を行った。
現状・課題	建物全体で経年劣化がみられるため大規模改修または建て替えが必要である。 斑地区に指定避難所がないため避難所としての整備も検討する必要がある。 【平成 29 年度老朽化調査実施】

### (3) 浜津地区住民センター

#### ① 施設の概要

施設名称	浜津地区住民センター		
所在地	浜津郷 330 / 浜津後目	所管課	教育委員会
施設分類	社会教育施設	構造	鉄筋コンクリート / 2 階
建築年度	昭和 51 年 (1976 年)	建築費	18,900,000 円
耐用年数	50 年	目標使用年数	80 年
延床面積	234 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	集会所	避難所	—
付帯施設			
外観			

#### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	45 件	45 件	45 件	45 件	45 件
運営方式	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	45 日	45 日	45 日	45 日	45 日
稼働率	12.3%	12.3%	12.3%	12.3%	12.3%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	23,760	0	0
委託費	25,920	25,920	25,920	25,920	26,160
合計	25,920	25,920	49,680	25,920	26,160

※光熱水費及び小規模な修繕は地区負担

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	浜津地区の集会所として地域行事や会合等に利用されている。
施設状況(躯体)	建設から 43 年が経過。 建物全体でクラックや鉄筋爆裂が発生している。 2 階集会室及び 1 階和室に雨漏れ跡が確認できる。 塩害により窓サッシ等に隙間がみられる。
施設状況(躯体以外)	内壁のクロスが数か所はがれている。 雨漏れにより一部で天井板の脱落がみられる。
現状・課題	建物全体で経年劣化がみられるため改修が必要。 【平成 29 年度老朽化調査実施】

#### (4) 柳地区住民センター

##### ①施設の概要

施設名称	柳地区住民センター		
所在地	柳郷 776 / 柳西	所管課	教育委員会
施設分類	社会教育施設	構造	鉄筋コンクリート / 2 階
建築年度	昭和 52 年 (1977 年)	建築費	27,900,000 円
耐用年数	50 年	目標使用年数	80 年
延床面積	393.84 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	集会所	避難所	—
付帯施設			
外観			

##### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	30 件	30 件	30 件	30 件	30 件
運営方式	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	30 日	30 日	30 日	30 日	30 日
稼働率	8.2%	8.2%	8.2%	8.2%	8.2%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	1,134,000	0	13,500	0	0
委託費	49,680	49,680	49,680	49,680	50,140
合計	1,183,680	49,680	63,180	49,680	50,140

※光熱水費及び小規模な修繕は地区負担

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 27 年	柳地区住民センターベランダ修繕工事	1,134,000 円

⑤利用状況と課題

利用状況	柳地区の集会所として地域行事や会合等に利用されている。
施設状況(躯体)	建設から 42 年経過。 建物全体でクラックや鉄筋爆裂が発生している。 外部及び内部にクラックが数か所見られ雨水が侵入した跡がみられる。柱にもクラックがあり、一部で地盤沈下している可能性がある。
施設状況(躯体以外)	塩害及び老朽化によりアルミサッシに隙間がみられる。
現状・課題	建物全体で経年劣化がみられるため改修が必要。 【平成 29 老朽化調査実施】

(5) 納島地区住民センター

① 施設の概要

施設名称	納島地区住民センター		
所在地	納島郷 20-1 / 納島	所管課	教育委員会
施設分類	社会教育施設	構造	木造 / 2 階
建築年度	昭和 54 年 (1979 年)	建築費	14,450,000 円
耐用年数	24 年	目標使用年数	60 年
延床面積	171.22 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	集会所	避難所	—
付帯施設			
外観			

② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	30 件	30 件	30 件	30 件	30 件
運営方式	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	30 日	30 日	30 日	30 日	30 日
稼働率	8.2%	8.2%	8.2%	8.2%	8.2%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	321,516	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	321,516	0

※光熱水費及び小規模な修繕は地区負担

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	納島地区の集会所として地域行事や会合等に利用されている。
施設状況(躯体)	1 階部分が鉄筋コンクリート造の倉庫になっており、2 階が木造の集会所となっている。 鉄筋コンクリート部分にはクラックや鉄筋爆裂が多数発生している。 2 階木造部分の躯体については比較的健全な状態である。
施設状況(躯体以外)	アルミサッシの老朽化が著しく、平成30年度に戸車の修繕と雨戸の取替工事を行った。
現状・課題	建物全体で経年劣化がみられるため部分的な改修が必要。納島地区に指定避難所がないため避難所としての整備も検討する必要がある。 【平成 29 年度老朽化調査実施】

## (6)六島公民館

### 施設の概要

施設名称	六島公民館		
所在地	六島郷 17-1 / 六島	所管課	教育委員会
施設分類	社会教育施設	構造	木造 / 1 階
建築年度	昭和 55 年 (1980 年)	建築費	270,000 円
耐用年数	24 年	目標使用年数	60 年
延床面積	119.3 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	集会所	避難所	○
付帯施設			
外観			

### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	25 件	25 件	20 件	12 件	12 件
運営方式	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	25 日	25 日	20 日	12 日	12 日
稼働率	6.8%	6.8%	5.5%	3.3%	3.3%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

※光熱水費及び小規模な修繕は地区負担

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	六島地区の集会所として地域行事や会合等に利用されてきたが、現在、住民が 1 名となっている。
施設状況(躯体)	建設から 40 年経過。 建物全体の構造部材は寸法が大きく健全な状態であるが、屋根瓦や外装版には経年劣化がみられる。
施設状況(躯体以外)	腐食により雨戸に穴が開いている。 アルミサッシも劣化が進行している。 トイレが汲み取り式トイレになっている。
現状・課題	屋根、外装、雨戸、アルミサッシの改修が必要な状態である。 使用頻度が低いため、改修については慎重に判断する必要がある。 【平成 30 年度老朽化調査実施】

(7) 中村地区住民センター

① 施設の概要

施設名称	中村地区住民センター		
所在地	中村郷 753-1 / 中村	所管課	教育委員会
施設分類	社会教育施設	構造	鉄筋コンクリート / 1 階
建築年度	昭和 55 年 (1980 年)	建築費	19,780,000 円
耐用年数	50 年	目標使用年数	80 年
延床面積	187.25 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	集会所	避難所	—
付帯施設	・倉庫 (増設) 平成 26 年 面積 23.4 m <sup>2</sup>		
外観			

② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	40 件	40 件	40 件	40 件	40 件
運営方式	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定	指定管理協定
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	40 日	40 日	40 日	40 日	40 日
稼働率	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

※光熱水費及び小規模な修繕は地区負担

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	中村地区の集会所として地域行事や会合等に利用されている。
施設状況(躯体)	建設から 39 年が経過。 建物外部に多少のクラックが発生しているが雨漏りは発生していない。屋根の防水層も健全な状態であるが一部で劣化し始めている。
施設状況(躯体以外)	ステージ床フローリングの劣化、 玄関ホールの塩化ビニールシートの劣化有り。
現状・課題	施設の延命化のため部分的な改修が必要。 【平成 30 年度老朽化調査実施】

## (8)小値賀町歴史民俗資料館

### ①施設の概要

施設名称	小値賀町歴史民俗資料館		
所在地	笛吹郷 1931 / 木ノ下町	所管課	教育委員会
施設分類	社会教育施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 2階
建築年度	昭和 63 年 (1988 年)	建築費	77,792,000 円
耐用年数	50 年	目標使用年数	80 年
延床面積	360 ㎡	耐震化	○
設置目的・役割	歴史民俗資料館	避難所	—
付帯施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧小田家(木造) 江戸中期頃 622.9 ㎡</li> <li>・倉庫(木造) 江戸期 49.19 ㎡</li> </ul>		
外観			

### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	2,094 人	1,881 人	1,652 人	1,490 人	1,772 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00
稼働日数	303 日	294 日	297 日	299 日	305 日
稼働率	83.0%	80.5%	81.4%	81.9%	83.6%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	528,129	513,176	626,987	766,591	641,385
修繕・工事費	66,660	452,160	522,525	18,580	0
委託費	358,560	358,560	358,560	369,360	402,380
合計	953,349	1,323,896	1,508,072	1,154,531	1,043,765

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 23 年	歴史民俗資料館補修工事	607,400 円

⑤利用状況と課題

利用状況	年間 300 日前後開館し、1 階部分は展示室として公開している。 2階部分には資料収蔵庫を完備し、資料の保管と管理を行っている。
施設状況(躯体)	建物本体についてはクラックなど目立った傷みは確認されないが、内装や各所建具類などには経年による老朽箇所が多く見られる。 窓枠などの劣化が進んでおり、文化財害虫が侵入することがある。
施設状況(躯体以外)	電気配線や空調機器類などに度々不具合が生じるなど、老朽化が進んでいる。また空調機は展示室までの空調ダクトと一体型であるため、交換の際は新たな改修工事が発生し、高額となる可能性がある。 原因は不明であるが 1 階便所は慢性的に汚水の臭いがする。
現状・課題	築後 30 年以上が経過しているため、様々な部分で老朽化が進んでいる。 【令和 2 年度老朽化調査実施】

(9)小値賀町ふれあいプラザ

①施設の概要

施設名称	小値賀町ふれあいプラザ		
所在地	笛吹郷 2461-3 / 松香丘	所管課	教育委員会
施設分類	社会教育施設	構造	鉄筋コンクリート / 1 階
建築年度	平成 3 年(1991 年)	建築費	170,541,581 円
耐用年数	47 年	目標使用年数	80 年
延床面積	1,017 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	図書館	避難所	—
付帯施設			
外観			

②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	11,786 人	10,313 人	10,009 人	8,785 人	7,399 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	10:00~18:00	10:00~18:00	10:00~18:00	10:00~18:00	10:00~18:00
稼働日数	292 日	293 日	293 日	291 日	282 日
稼働率	80.0%	80.3%	80.3%	79.7%	77.3%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	1,247,324	1,247,831	1,244,105	1,058,090	836,034
修繕・工事費	149,828	119,100	126,092	504,316	196,900
委託費	282,960	292,032	492,912	492,912	497,476
合計	1,680,112	1,658,963	1,863,109	2,055,318	1,530,410

#### ④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 20 年	ふれあいプラザ整備事業	37,764,450 円
平成 26 年	小値賀ふれあいプラザ空調機器設備工事	12,884,400 円

#### ⑤利用状況と課題

利用状況	文化・情報の発信拠点施設である図書館として、年間 290 日前後開館。町内外者の赤ちゃんから高齢者まで幅広く利用されている。
施設状況(躯体)	建物全体については、クラックやシーリングの劣化、建物周辺盛り土の不同沈下、雨漏りなど、老朽箇所が多数見られる。
施設状況(躯体以外)	築年数の経過に伴う老朽化による雨漏りがあり、天井部分のカビや腐食が見られる。図書館移転前の数年間、施設利用が無かったため、水道水に赤さびが混じっている。
現状・課題	築後 30 年近く経過しているため、様々な部分で老朽化が進んでおり、今後、計画的に改善を検討する。その際は、施設のバリアフリー化にも取り組む。 資料保存及び、利用者が安全に利用できるよう改修が必要。

(10)小値賀町総合運動公園体育館

①施設の概要

施設名称	小値賀町総合運動公園体育館		
所在地	前方郷 265-1 / 前方後目	所管課	教育委員会
施設分類	社会体育施設	構造	鉄筋コンクリート / 2 階
建築年度	平成 7 年 (1995 年)	建築費	1,216,468,000 円
耐用年数	47 年	目標使用年数	80 年
延床面積	2630.34 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	体育館	避難所	○
付帯施設			
外観			

②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	7,128 人	7,301 人	7,775 人	8,985 人	7,392 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00
稼働日数	345 日	344 日	342 日	346 日	345 日
稼働率	94.5%	94.2%	93.7%	94.8%	94.5%

※職員数には運動公園管理人数を記載

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	1,371,491	1,539,628	1,485,676	1,317,861	1,206,635
修繕・工事費	961,854	355,490	815,724	660,154	749,951
委託費	641,088	641,088	641,088	641,088	647,524
合計	2,974,433	2,536,206	2,942,488	2,619,103	2,604,110

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 27 年	総合運動公園自火報設備修繕	823,824

⑤利用状況と課題

利用状況	体育協会や各種スポーツ団体が定期的に利用しており、利用者数も7,000～8,000 人程度で推移している。
施設状況(躯体)	建設から25年経過しており、屋上の防水シートが剥がれるなど経年劣化が進行している。建物外壁もクラックや鉄筋爆裂、タイルの損傷など多数発生している。 雨漏れ跡も多数確認できる。
施設状況(躯体以外)	アリーナがつり天井になっており耐震面では既存不適格の状況。 通路のビニールシートに浮きが発生している。 アルミサッシ枠の腐食が多数みられる。 ステージ吊り物(絞り緞帳)の故障有り。
現状・課題	屋根防水の大規模改修が必要な状態である。 指定避難所に指定されているため非構造部材(天井)の改修も必要である。 【平成 30 年度老朽化調査実施】

(11)総合運動公園 多目的グラウンド倉庫 WC

①施設の概要

施設名称	総合運動公園 多目的グラウンド倉庫 WC		
所在地	前方郷 265-1 / 前方後目	所管課	教育委員会
施設分類	社会教育施設	構造	鉄筋コンクリート / 1 階
建築年度	平成 7 年 (1995 年)	建築費	18,805,094 円
耐用年数	38 年	目標使用年数	80 年
延床面積	72 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	倉庫	避難所	—
付帯施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テニスコート倉庫 平成 6 年 10 m<sup>2</sup></li> <li>・ふれあい広場(倉庫 WC 棟) 平成 7 年 72 m<sup>2</sup></li> <li>・ふれあい広場(受水槽ポンプ室) 平成 7 年 11.9 m<sup>2</sup></li> </ul>		
外観			

②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	不明	不明	不明	不明	不明
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00
稼働日数	—	—	—	—	—
稼働率	—	—	—	—	—

※利用者数の把握は困難なため不明

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	—	—	—	—	—
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

※光熱水費はグラウンド、体育館、テニスコートに含まれるため把握できていない

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	テニスコート及びグラウンドの倉庫として利用されている。 グラウンド倉庫にはトイレも設置されている。
施設状況(躯体)	外部の経年劣化が確認できるが健全な状態である。
施設状況(躯体以外)	ドアに錆が発生し、開閉が若干重いが異常はない。
現状・課題	なし。

(12)小値賀町若者交流センター

①施設の概要

施設名称	小値賀町若者交流センター		
所在地	前方郷 354/前方後目	所管課	教育委員会
施設分類	社会教育施設	構造	鉄筋コンクリート/1階
建築年	平成9年(1997年)	建築費	185,000,000円
耐用年数	47年度	目標使用年数	80年
延床面積	699㎡	耐震化	○
設置目的・役割	宿泊施設	避難所	○
付帯施設	・若者交流センター(プロパン庫、汚水槽) 平成9年 30㎡		
外観			

②利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	2,554人	2,828人	2,576人	3,482人	1,724人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00	9:00~22:00
稼働日数	57日	74日	74日	124日	42日
稼働率	15.6%	20.3%	20.3%	34.0%	11.5%

※職員数には運動公園管理人数を記載

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	1,013,695	1,071,439	1,245,903	1,588,666	857,118
修繕・工事費	1,585,734	1,035,180	250,300	314,050	455,600
委託費	368,240	419,240	498,240	372,240	357,100
合計	2,967,669	2,525,859	1,994,443	2,274,956	1,669,818

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 27 年	若者交流センター厨房床張替修繕	848,613 円
平成 28 年	若者交流センターボイラー修繕	810,000 円

⑤利用状況と課題

利用状況	簡易宿泊所としてスポーツ合宿等に利用されるほか、厨房や食堂は町内者の様々な活動に利用されている。
施設状況(躯体)	外部及び内部に多少のクラックが確認されるが雨漏り等は発生していない。 屋根材(アスファルトシングル葺)が一部浮いている。
施設状況(躯体以外)	食堂・研修室・休憩室のエアコン、浴室Aの給湯器が老朽化しており交換時期が近付いている。
現状・課題	特になし。 【令和元年度老朽化調査実施】

## (9) その他施設

### (1) 船瀬海水浴場サービスハウス

#### ① 施設の概要

施設名称	船瀬海水浴場サービスハウス		
所在地	中村郷 1178-18 / 中村	所管課	建設課
施設分類	漁港施設	構造	鉄筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	平成 15 年 (2003 年)	建築費	36,221,400 円
耐用年数	41 年	目標使用年数	80 年
延床面積	75.81 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	店舗	避難所	-
付帯施設			
外観			

#### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	-	1 人	1 人	1 人	1 人
運営方式	直営	賃貸	賃貸	賃貸	賃貸
運営時間	-	-	-	-	-
稼働日数	-	150 日	150 日	150 日	150 日
稼働率	-	41.1%	41.1%	41.1%	41.1%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	70,307	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	70,307	0	0	0	0

※平成 28 年度～令和元年度の光熱水費は借主の支払い

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	平成 22 年 10 月以降レストラン経営者の廃業により、現在は水産加工場として利用されている。
施設状況(躯体)	建設後 15 年以上経過しているが、比較的健全な状況を保っている。
施設状況(躯体以外)	外部ウッドデッキが腐食し危険であるため、令和 2 年 7 月に修繕を行った。
現状・課題	水産加工については試験的な事業で家賃を取っていない。今後、継続的な利用も含めてテナントの公募を行う。

## (2)短期滞在住宅

### ①施設の概要

施設名称	短期滞在住宅		
所在地	笛吹郷 1647 / 蛭子町	所管課	総務課
施設分類	住宅	構造	木造 / 2 階
建築年度	昭和 41 年 (1966 年) (平成 27 年取得)	建築費	-円
耐用年数	22 年	目標使用年数	60 年
延床面積	1F51.37 m <sup>2</sup> 2F36.09 m <sup>2</sup>	耐震化	-
設置目的・役割	移住希望者用のお試し住宅	避難所	-
付帯施設			
外観			

### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	-	1 件 2 名	6 件 7 名	4 件 6 名	4 件 5 名
運営方式	-	直営	直営	直営	直営
運営時間	-	-	-	-	-
稼働日数	-	90 日	180 日	120 日	120 日
稼働率	-	24.7%	49.3%	32.8%	32.8%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	1,318	0
修繕・工事費	0	0	0	0	13,000
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	1,318	13,000

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 27 年度	補修工事	1,196,526 円

⑤利用状況と課題

利用状況	移住のお試し用施設として、年に数組が利用している。
施設状況(躯体)	利用する分には問題ないが、川の上にたっているため、老朽化調査では脆弱性を指摘されている。 ただし現代ではなかなか見られない古民家であるため、補修・補強次第でまだ利用できるとの判断。
施設状況(躯体以外)	なし。
現状・課題	普通の民家であるため、大幅な工事をすることは想定していない。 【平成 30 年度老朽化調査実施】

### (3)宮崎町②空家活用住宅

#### ①施設の概要

施設名称	宮崎町②空家活用住宅		
所在地	笛吹郷 2385-6 / 宮崎町	所管課	総務課
施設分類	住宅	構造	木造 / 2階
建築年度	昭和 34 年 (1959 年) (平成 30 年取得)	建築費	- 円
耐用年数	22 年	目標使用年数	90 年
延床面積	96.95 m <sup>2</sup>	耐震化	-
設置目的・役割	移住者用住宅	避難所	-
付帯施設			
外観			

#### ②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	-	-	-	1 人	1 人
運営方式	-	-	-	直営	直営
運営時間	-	-	-	24 時間	24 時間
稼働日数	-	-	-	8 日	365 日
稼働率	-	-	-	2.2%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	—	—	—	0	0
修繕・工事費	—	—	—	0	2,550
委託費	—	—	—	0	0
合計	—	—	—	0	2,550

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 30 年	定住促進住宅改修工事	6,917,456 円

⑤利用状況と課題

利用状況	平成 30 年度に町へ寄付された民家を改修し、UI ターン者用の定住促進住宅として活用している。
施設状況(躯体)	築 60 年を超える木造だが、柱等はしっかりしており、シロアリの被害もない。
施設状況(躯体以外)	改修時に交換しなかった南側の窓はほとんど開かない状態。
現状・課題	建物自体が古いため、今後の維持管理費用が多額になる可能性がある。

#### (4) セミナーハウス

##### ① 施設の概要

施設名称	セミナーハウス		
所在地	笛吹郷 2003 / 宮崎町	所管課	総務課
施設分類	その他	構造	木造 / 1 階
建築年度	平成 3 年 (1991 年) (平成 16 年県より譲渡)	建築費	20,320,000 円
耐用年数	22 年	目標使用年数	60 年
延床面積	105.94 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	学生向け滞在施設	避難所	—
付帯施設			
外観			

##### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	1 人	3 人	8 人	18 人	11 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	7 日	322 日	185 日	15 日	21 日
稼働率	1.9%	88.2%	50.6%	4.1%	5.8%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	49,547	55,702	70,315	63,350	99,540
修繕・工事費	0	0	4,916	80,643	40,000
委託費	0	0	0	0	0
合計	49,547	55,702	75,231	143,993	139,540

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	総務課のインターン事業に関わる学生ほか、水産関係のダイバー事業関係の学生の宿泊で不定期に利用されている。
施設状況(躯体)	家の状態としては特に問題はない。
施設状況(躯体以外)	周囲の草が伸びるため、定期的な草刈りが必要。
現状・課題	現状特に問題はない。

## (5) 岳の内トイレ

### ① 施設の概要

施設名称	岳の内トイレ		
所在地	笛吹郷 2237 / 大浦	所管課	総務課
施設分類	その他	構造	鉄筋コンクリート造 / 1階
建築年度	平成 16 年 (2004 年)	建築費	2,152,950 円
耐用年数	38 年	目標使用年数	60 年
延床面積	13.89 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	公衆トイレ	避難所	—
付帯施設			
外観			

### ② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	71,102	62,579	54,832	54,320	36,417
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	71,102	62,579	54,832	54,320	36,417

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	観光用トイレとして活用されている。
施設状況(躯体)	状態良好。
施設状況(躯体以外)	洗面台の水道故障により水が出ない。
現状・課題	特に問題なし。夏場は蚊が多い。

(6) 漁協横公衆便所

① 施設の概要

施設名称	漁協横公衆便所		
所在地	笛吹郷 2790 / 蛭子町	所管課	総務課
施設分類	その他	構造	鉄筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	昭和 57 年 (1982 年)	建築費	1,530,000 円
耐用年数	38 年	目標使用年数	80 年
延床面積	6 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	公衆トイレ	避難所	—
付帯施設			
外観			

② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	37,970	44,450	38,055	39,886	58,022
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	37,970	44,450	38,055	39,886	58,022

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	島民や観光客などに広く利用されている。
施設状況(躯体)	躯体の一部で爆裂が進んでいるほか、トイレのドアもささくれだっており、危ない状態。
施設状況(躯体以外)	なし。
現状・課題	男子、女子同じ間取りにあり、観光用としてはあまり好ましいつくりではない。

(7) 地域活動支援センター憩いの家

① 施設の概要

施設名称	地域活動支援センター憩いの家		
所在地	笛吹郷 1976-3 / 宮崎町	所管課	総務課
施設分類	その他	構造	木造 / 1 階
建築年度	昭和 54 年 (1979 年)	建築費	-円
耐用年数	24 年	目標使用年数	60 年
延床面積	124.21 m <sup>2</sup>	耐震化	-
設置目的・役割	当初新上五島警察署として建設された。駐在所の場所移転に伴い現在は地域活動支援センターとして障害福祉のために活用	避難所	-
付帯施設	・憩いの家西側倉庫 昭和 54 年 3.31 m <sup>2</sup> ・憩いの家東側倉庫 昭和 54 年 3.31 m <sup>2</sup>		
外観			

② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	-	-	-	-	-
運営方式	賃貸	賃貸	賃貸	賃貸	賃貸
運営時間	8:30-17:00	8:30-17:00	8:30-17:00	8:30-17:00	8:30-17:00
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

※光熱水費は借主が負担

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	NPO法人「おぢかちんぐ」が指定管理を受け、障害福祉施設として活用している。
施設状況(躯体)	屋根のセメント瓦の劣化や突破風による雨腐れ、窓のさび劣化が進行している。あまどい破損は修復済。外装版やモルタル仕上げなどの外壁面全体の老朽化が進んでいる。出入口のアルミサッシの劣化も進んでいる。 内装の劣化が進んでいる部屋がある。換気扇の必要換気量が確保されていない。
施設状況(躯体以外)	経年によるさび劣化が進んでいる。
現状・課題	住居としてではなく事務所としての活用のため、どこまで修繕を行うか検討が必要。 【令和元年度老朽化調査実施】

(8) 土地改良区・担い手公社事務所

① 施設の概要

施設名称	土地改良区・担い手公社事務所		
所在地	笛吹郷 2385-2 / 宮崎町	所管課	総務課
施設分類	その他	構造	木造 / 1 階
建築年度	平成 3 年 (1991 年) (平成 16 年県より譲渡)	建築費	—円
耐用年数	24 年	目標使用年数	60 年
延床面積	244.85 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	事務所	避難所	—
付帯施設			
外観			

② 利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件
運営方式	その他	その他	その他	その他	その他
運営時間	8:30-17:15	8:30-17:15	8:30-17:15	8:30-17:15	8:30-17:15
稼働日数	365 日	366 日	365 日	365 日	365 日
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

※光熱水費及び修繕費は担い手会社が負担。

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	(一財)小値賀町担い手会社と小値賀町土地改良区が利用している。 土日祝は休み。
施設状況(躯体)	特に問題なし
施設状況(躯体以外)	雨天時に下水の臭気が漂っている。
現状・課題	特に問題なし

(9)旧前方駐在所

①施設の概要

施設名称	旧前方駐在所		
所在地	前方郷 4243-3 / 前方後目	所管課	総務課
施設分類	その他	構造	木造
建築年度	昭和 59 年(1984 年) (平成 19 年取得)	建築費	-円
耐用年数	22 年	目標使用年数	60 年
延床面積	66.24 m <sup>2</sup>	耐震化	○
設置目的・役割	お試し居住施設	避難所	-
付帯施設	・旧前方駐在所倉庫 昭和 59 年 3.31 m <sup>2</sup>		
外観			

②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	-	-	-	-	-
稼働日数	365 日	100 日	365 日	365 日	300 日
稼働率	100%	27.4%	100%	100%	82.2%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	550,360	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	550,360	0	0	0

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)
平成 28 年	風呂工事、和室フローリング工事	550,360 円

⑤利用状況と課題

利用状況	移住者用のお試し施設として利用。最長 3 か年。
施設状況(躯体)	平成 28 年に風呂とフローリングの工事を実施。構造軸組部は比較的健全であるが、屋根セメント瓦や外装仕上材等は、経年劣化が進行しており、改善を図るには大規模な改修が必要。
施設状況(躯体以外)	問題なし。
現状・課題	雨漏りあとが散見され、内装材は経年劣化が進んでいる。 【令和元年度老朽化調査実施】

## (10)旧前方保育所

### ①施設の概要

施設名称	旧前方保育所		
所在地	前方郷 3754-2/相津	所管課	総務課
施設分類	その他	構造	無筋コンクリート造/1階
建築年度	昭和43年(1968年)	建築費	5,350,000円
耐用年数	34年	目標使用年数	60年
延床面積	253.7㎡	耐震化	—
設置目的・役割	倉庫	避難所	—
付帯施設			
外観			

### ②利用状況

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
利用者数(件数)	1件	1件	1件	1件	1件
運営方式	—	—	—	—	—
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	—	—	—	—	—
稼働率	—	—	—	—	—

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	—	—	—	—	—
修繕・工事費	—	—	—	—	—
委託費	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	昭和 62 年 3 月より休園。平成 21 年 12 月廃止届。 現在は倉庫として利用されている。 「劇団とんと」が劇で使う小道具などの備品、介護ベッドなど福祉事務所の備品がある。
施設状況(躯体)	老朽化が進み、窓も割れている。
施設状況(躯体以外)	なし。
現状・課題	倉庫としての活用なので、大きな修繕をする予定は今のところない。

(11)旧斑小学校 管理教室棟

①施設の概要

施設名称	旧斑小学校 管理教室棟		
所在地	斑島郷 917 / 斑浦	所管課	総務課
施設分類	その他	構造	鉄筋コンクリート造 / 2 階
建築年度	昭和 46 年 (1971 年)	建築費	39,020,000 円
耐用年数	38 年	目標使用年数	80 年
延床面積	912.75 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	倉庫	避難所	—
付帯施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼成室(児童玄関前) 10 m<sup>2</sup> 昭和 45 年</li> <li>・倉庫(児童玄関前) 14 m<sup>2</sup> 昭和 45 年</li> </ul>		
外観			

②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	—	—	—	—	—
運営方式	—	—	—	—	—
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	—	—	—	—	—
稼働率	—	—	—	—	—

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	0	261,437
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	261,437

※令和元年度までは担い手公社が電気料を支払っていたため、役場での支出なし

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	基本的には倉庫として活用。理科室を六次産業化のための加工調理場として使っていたが、農産物加工場が新たにできたため現在は閉鎖。こども園の荷物、机やロッカーなど学校として機能していたころの備品、歴史的に価値のある石や農機具が保管されている。
施設状況(躯体)	雨漏り等かなり損傷が激しい。
施設状況(躯体以外)	なし。
現状・課題	倉庫としての活用がメインであるため、大幅な補修をする予定はない。

(12)旧斑小学校 体育館

①施設の概要

施設名称	旧斑小学校 体育館		
所在地	斑島郷 722-1 / 斑浦	所管課	総務課
施設分類	その他	構造	鉄骨造 / 1 階
建築年度	昭和 51 年 (1976 年)	建築費	73,800,000 円
耐用年数	31 年	目標使用年数	60 年
延床面積	747 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	倉庫	避難所	—
付帯施設	・旧斑小学校 体育倉庫 昭和 52 年 28 m <sup>2</sup> ・農具倉庫 (体育館横) 昭和 52 年 14 m <sup>2</sup>		
外観			

②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数 (件数)	—	—	1 件	1 件	1 件
運営方式	—	—	—	—	—
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	—	—	—	—	—
稼働率	—	—	—	—	—

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	-	-	-	-	-
修繕・工事費	-	-	-	-	-
委託費	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-

※令和元年度までは担い手公社が電気料を支払っていたため、役場での支出なし

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	倉庫として活用。主に古民家の家財や公有財産に関する資材等を保管。また一部は有料で民間に貸し出しを行っている。
施設状況(躯体)	特に問題はない。
施設状況(躯体以外)	特に問題はない。
現状・課題	体育館としての利用は不可のため、今後も利用可能な間は倉庫として活用していく。

(13)旧斑小学校 給食室

①施設の概要

施設名称	旧斑小学校 給食室		
所在地	斑島郷 919 / 斑浦	所管課	総務課
施設分類	その他	構造	鉄筋コンクリート造 / 1 階
建築年度	昭和 46 年(1971 年)	建築費	8,680,000 円
耐用年数	41 年	目標使用年数	80 年
延床面積	44 m <sup>2</sup>	耐震化	—
設置目的・役割	加工室	避難所	—
付帯施設			
外観			

②利用状況

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
利用者数(件数)	84 人	84 人	98 人	84 人	70 人
運営方式	—	—	—	—	—
運営時間	—	—	—	—	—
稼働日数	14 日	14 日	14 日	14 日	14 日
稼働率	3.8%	3.8%	3.8%	3.8%	3.8%

③維持・管理費用

(単位:円)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
光熱水費	0	0	0	0	0
修繕・工事費	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

※令和元年まで担い手公社が電気料を支払っていたため、役場での支出なし

④施設の修繕・工事履歴

※軽微な修繕工事費(500,000 円以下)は除く

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費(円)

⑤利用状況と課題

利用状況	「みそっ子」が月に数回利用している。
施設状況(躯体)	特に異常なし。
施設状況(躯体以外)	特に異常なし。
現状・課題	1 団体(みそっ子)のみが活用しているが、本校側の老朽化が激しいため、あと十年も利用するのは難しいと思われる。

巻末資料 劣化状況調査表

調査者		調査日	令和	年	月	日 ( )	～
施設名称							

部位		番号	点検項目	不具合の有無	写真No.	緊急性	
外部	通路	1	地盤沈下、アスファルト舗装の陥没、傾斜、著しい段差はありませんか				
		2	スロープの手摺、支持金物の損傷、緩みはありませんか				
		3	門扉の開閉に支障はありませんか				
		4	雨水枡や汚水枡など排水不良・損傷、または清掃不良はありませんか				
		5	その他( )				
	建物周囲 擁壁・塀・フェンス	6	ブロック塀 著しいひび割れ、損傷、傾きはありませんか				
		7	擁壁の劣化及び損傷はありませんか				
		8	ネットフェンス 支柱の傾き、破損、損傷はありませんか				
		9	その他( )				
	設備	10	外灯(発錆、ぐらつき、傾斜、破損)の不具合はありませんか				
		11	散水栓の吐水状況は良好か、赤水は出ていませんか				
		12	その他( )				
	駐車場	13	出入口のミラー、駐車区画を示す白線、車止めが外れていませんか				
		14	その他( )				
	基礎	全周	15	ひび割れ、欠損、コンクリートの著しい劣化、爆裂(鉄筋の腐食による露出)はありませんか			
			16	その他( )			
	外壁	柱・梁・軒裏	17	ひび割れ 劣化状況はありませんか			
			18	浮き、膨れ、剥落等の劣化状況はありませんか			
			19	爆裂、錆汁が出ている劣化状況ありませんか			
			20	鉄部(盤類)著しい発錆、腐食ありませんか			
			21	タイル仕上 ひび割れ、剥離はありませんか			
			22	目地シーリングの破断、腐食はありませんか			
			23	その他( )			

部位		番号	点検項目	不具合の有無	写真No.	緊急性	
外部	屋根・屋上	立平 上場 り・	24	防水層(平場・立上り)の膨れ、めくれ、パラペット等の劣化はありませんか			
			25	ドレン廻りの状況(葉や土砂の堆積)は良好ですか			
			26	その他( )			
		屋根	27	瓦葺きのズレ、損傷、金属屋根に腐食はありませんか			
			28	その他( )			
		金物・その他	29	押え金物 取付状況(外れ、腐食等)はありませんか			
			30	タラップの腐食はありませんか			
			31	トップライトが破損したり漏水になるおそれはありませんか			
			32	その他( )			
	廊下・階段	通路・ 建具・	33	物品等、通行に支障になる物が放置されていませんか			
			34	窓ガラスにひび割れ、損傷はありませんか			
			35	その他( )			
		設備	36	給気口・排気口に著しい騒音や破損が発生していませんか			
			37	分電盤に著しい発錆、変形、腐食はありませんか			
			38	その他( )			
樋		39	縦樋 ドレン廻りの清掃状況 (落葉、泥だまり)は良好ですか				
		40	その他( )				
照明		41	非常用 照明装置は点灯しますか				
		42	その他( )				
手摺り・ 階段		43	手摺りのぐらつき、支持部の緩みはありませんか				
		44	段鼻等 ノンスリップ金物の劣化及び損傷はありませんか				
	45	その他( )					

緊急性: △ 修繕計画の必要性あり ・ × 早急に修繕を行う

コメント欄

調査者		調査日	令和	年	月	日( )	~	
施設名称							階数	

部位	番号	点検項目	不具合の有無	写真No.	緊急性	
内部	玄関扉	46	塩害で腐食が進んでいませんか			
		47	インターフォンは雑音や故障していませんか(ヒヤリング・動作確認)			
		48	開閉スピードは問題ありませんか			
		49	その他( )			
	窓サッシ	50	著しい開閉不良、建具の隙間、クレセント可動状況に問題はありますか			
		51	建具廻りシーリング材の腐食、破断はしていませんか			
		52	その他( )			
	壁・柱・梁・天井	53	雨漏り、クロスの剥がれはありませんか			
		54	柱・梁の著しい割れ、傾き、たわみはありませんか			
		55	ひび割れ、浮き、破断、膨れなどの劣化はしていませんか			
		56	その他( )			
	床	57	著しいひび割れ、劣化、欠損、段差はありませんか			
		58	著しい沈み、床鳴り、摩耗していませんか			
		59	その他( )			
	バルコニー	60	隔て板の破損、非常時に支障のある物品が放置されていませんか			
		61	その他( )			
	電気	62	コンセント、スイッチ、プレートの損傷、変形、破損はありませんか			
		63	照明器具 点灯確認、腐食はしていませんか			
		64	その他( )			
	換気扇	65	キッチン換気扇 作動していますか(動作確認)			
		66	異音、埃の堆積、振動はありませんか			
67		その他( )				

部位	番号	点検項目	不具合の有無	写真No.	緊急性
内部	給水・給湯設備	68	赤水は発生していませんか（ヒヤリング・目視）		
		69	給水管（台所下部・洗面器 下部）からの漏水はありませんか（ヒヤリング・目視）		
		70	流し台の破損、洗面器の割れ、経年劣化していませんか		
		71	その他（ ）		
	トイレ	72	水漏れはありませんか		
		73	換気扇は作動していますか（動作確認）		
		74	その他（ ）		

緊急性： △ 修繕計画の必要性あり ・ × 早急に修繕を行う

コメント欄

# 不具合記録写真

施設名称	
調査日	

不具合の箇所		写真No.
状況		
遠景	接写	
<input type="checkbox"/> 経過観察 <input type="checkbox"/> 修繕計画 <input type="checkbox"/> 早急に修繕の必要あり <input type="checkbox"/> その他(                      )		

不具合の箇所		写真No.
状況		
遠景	接写	
<input type="checkbox"/> 経過観察 <input type="checkbox"/> 修繕計画 <input type="checkbox"/> 早急に修繕の必要あり <input type="checkbox"/> その他(                      )		